

再 評 価 に 係 る 資 料

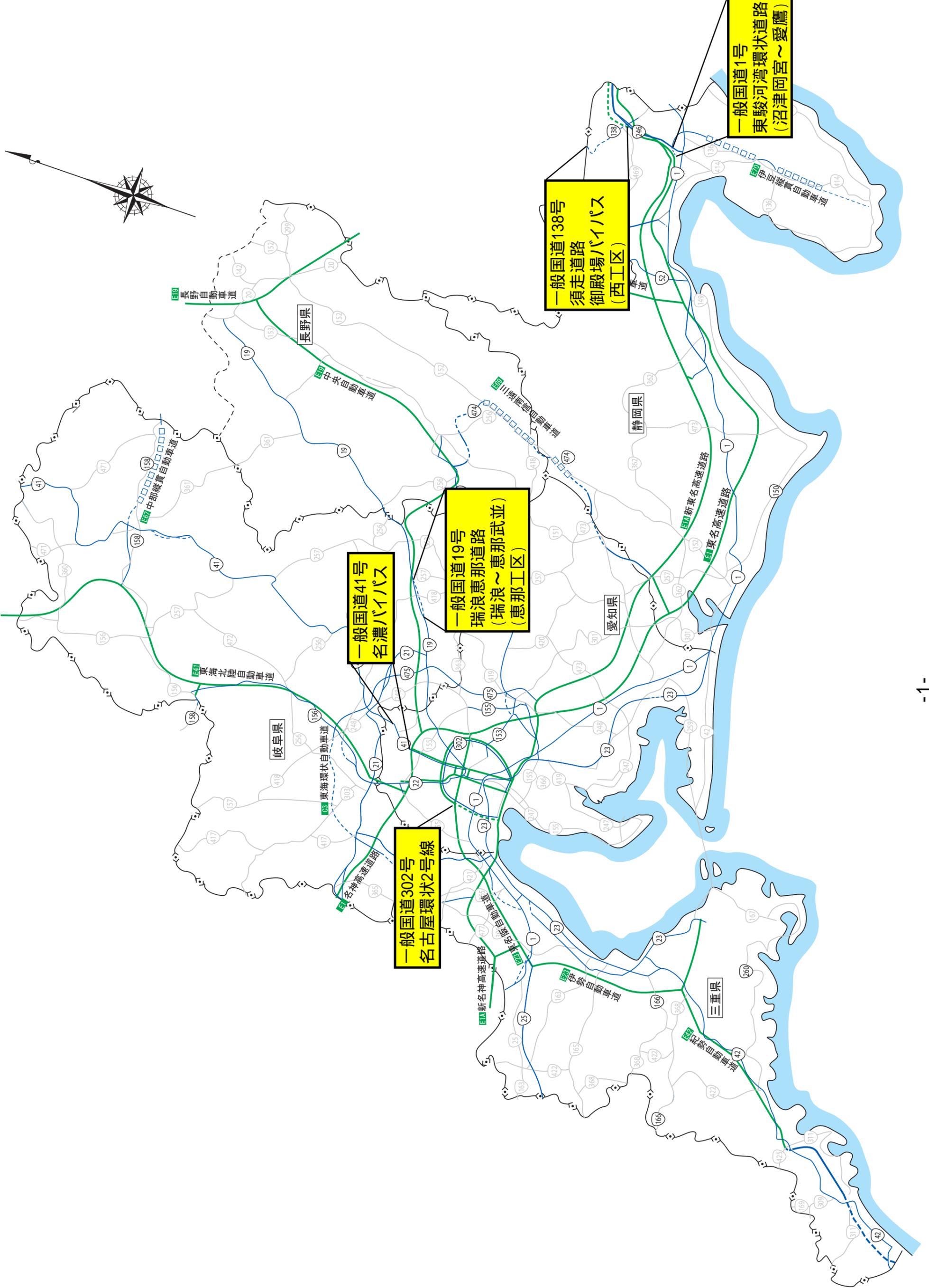
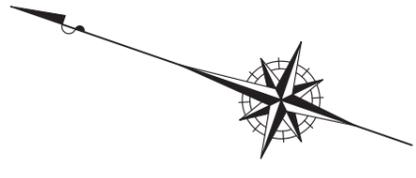
【道路事業】

令和元年 8 月 9 日

国土交通省中部地方整備局

目 次

1. 事業再評価対象事業位置図	1
2. 事業再評価を実施する事業の一覧表（道路事業）	2
3. 費用対効果分析判定表	3
4. 事業再評価対象事業再評価結果原案、B／Cバックデータ	
○一般国道41号 名濃バイパス	7
○一般国道138号 須走道路	28
○一般国道138号 御殿場バイパス（西区間）	49
○一般国道302号 名古屋環状2号線	70
○一般国道1号 東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）	92
○一般国道19号 瑞浪恵那道路（瑞浪～恵那武並）	113
○一般国道19号 瑞浪恵那道路（恵那工区）	132



一般国道41号
名濃バイパス

一般国道19号
瑞浪恵那道路
(瑞浪～恵那武並)
(恵那工区)

一般国道302号
名古屋環状2号線

一般国道138号
須走道路
御殿場バイパス
(西工区)

一般国道1号
東駿河湾環状道路
(沼津岡宮～愛鷹)

事業再評価を実施する事業の一覧表(道路事業)

整理番号	事業種別 ※1	該当項目 ※2	都道府県名	路線番号	箇所名	事業の目的	事業延長(km)	事業化年度	都市計画決定又は変更年度	用地着手年度	工事着手年度	供用済み延長(km)	全体事業費(億円)	事業進捗率(%)	事業を巡る社会情勢等の変化	事業の状況及び今後の見通し	B/C	対応方針(原案)	備考
1	2次	⑤	愛知	41	一般国道41号名濃バイパス	<ul style="list-style-type: none"> 一般国道41号名濃バイパスは、愛知県小牧市村中から犬山市五郎丸に至る延長7.0kmのバイパス。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 <ul style="list-style-type: none"> 交通渋滞の緩和 沿線地域の産業支援 観光支援 	7.0	H25	S45	-	H26	7.0	135	54	<ul style="list-style-type: none"> 国道41号では主要渋滞箇所が12箇所存在し、慢性的に渋滞が発生。 	<ul style="list-style-type: none"> 新宮2交差点から五郎丸交差点までの区間(延長4.6km)について、早期の6車線開通に向けて工事を推進。 	事業全体(2.4) 残事業(4.4)	事業継続	
2	2次	⑤	静岡	138	一般国道138号須走道路	<ul style="list-style-type: none"> 一般国道138号須走道路は、静岡県駿東郡小山町須走と静岡県御殿場市水土野に至る延長約3.8kmのバイパス。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 <ul style="list-style-type: none"> 地域活性化の支援 交通渋滞の緩和 交通事故の削減 災害に強い道路機能の強化 	3.8	H20	H6 H26	H24	H24	1.1	208	58	<ul style="list-style-type: none"> 国道138号は富士山への観光交通等により、須走IC交差点〜ぐみ沢上交差点間において休日に渋滞が発生。 国道138号では、事故危険箇所が4区間存在し、交通事故の約6割は渋滞に起因していると考えられる追突事故となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 駿東郡小山町須走〜御殿場市水土野区間(延長2.7km)は、早期開通に向けて工事を推進。 	事業全体(2.3) 残事業(6.8)	事業継続	
3	2次	⑤	静岡	138	一般国道138号御殿場バイパス(西区間)	<ul style="list-style-type: none"> 一般国道138号御殿場バイパス(西区間)は、静岡県御殿場市水土野と静岡県御殿場市萩原に至る延長約4.3kmのバイパス。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 <ul style="list-style-type: none"> 地域活性化の支援 交通渋滞の緩和 交通事故の削減 災害に強い道路機能の強化 計画的な市街地の開発に貢献 	4.3	H11	H6 H26	H14	H24	1.45	338	50	<ul style="list-style-type: none"> 国道138号は富士山への観光交通等により、須走IC交差点〜ぐみ沢上交差点間において休日に渋滞が発生。 国道138号では、事故危険箇所が4区間存在し、交通事故の約6割は渋滞に起因していると考えられる追突事故となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 御殿場市水土野〜御殿場市ぐみ沢区間(延長2.9km)は、早期開通に向けて工事を推進。 	事業全体(2.3) 残事業(6.2)	事業継続	
4	1次	⑤	愛知	302	一般国道302号名古屋環状2号線	<ul style="list-style-type: none"> 一般国道302号名古屋環状2号線は、愛知県名古屋市中川区富田町を奇襲点とする延長約58.6kmの道路。 下記の2点を主な目的として事業を推進。 <ul style="list-style-type: none"> 物流効率化の支援 災害に強い道路機能の確保 計画的な市街地の開発に貢献 	58.6	S46	S57	S46	S48	59	5,769	94	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市中心部の交通集中により、名古屋環状2号線及びその内側地域において渋滞が発生。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度迄に暫定2車線で全線開通し、残る2車線区間(3区間、延長14.4km)について4車線整備を推進。 	事業全体(2.2) 残事業(3.0)	事業継続	
5	高	②	静岡	1	一般国道1号東駿河湾環状道路(沼津岡宮〜愛鷹)	<ul style="list-style-type: none"> 一般国道1号東駿河湾環状道路(沼津岡宮〜愛鷹)は、静岡県沼津市岡宮〜静岡県沼津市東権路に至る延長約2.6kmの自動車専用道路。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 <ul style="list-style-type: none"> 慢性的な渋滞の緩和 緊急輸送ネットワークの構築 企業活動の支援 	2.6	H27	S62	R1	-	-	230	2	<ul style="list-style-type: none"> 沼津三河エリアは、東西交通が卓越し、国道1号や並行現道を含め、東西軸の交通容量が不足。 	<ul style="list-style-type: none"> 沼津岡宮〜愛鷹間(延長2.6km)について、早期開通に向けて工事を推進。 	事業全体(1.6) 残事業(1.6)	事業継続	
6	2次	②	岐阜	19	一般国道19号瑞浪恵那道路(瑞浪〜恵那武並)	<ul style="list-style-type: none"> 一般国道19号瑞浪恵那道路(瑞浪〜恵那武並)は、岐阜県瑞浪市土岐町〜岐阜県恵那市武並町に至る延長約8.2kmの道路。 下記の3点を主な目的として事業を推進。 <ul style="list-style-type: none"> 交通安全の確保 沿線地域の産業支援 沿線地域の観光支援 	8.2	H27	H26	H28	H29	-	245	7	<ul style="list-style-type: none"> 国道19号には、沿線に立地する工業団地や周辺企業の物流交通、住宅地からの生活交通が集中し、主要渋滞箇所である釜戸町交差点が存在するなど、渋滞が発生。 当該区間は、東濃都市間を連絡する一般国道19号のうち唯一の2車線区間であり、追突事故や正面衝突など重大な事故も多発発生。 	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県瑞浪市土岐町から恵那市武並町(延長8.2km)は、早期開通に向けて工事を推進。 	事業全体(1.5) 残事業(1.7)	事業継続	
7	2次	⑤	岐阜	19	一般国道19号瑞浪恵那道路(恵那区)	<ul style="list-style-type: none"> 一般国道19号瑞浪恵那道路(恵那区)は、岐阜県恵那市武並町〜岐阜県恵那市長島町に至る延長約4.3kmの道路。 下記の3点を主な目的として事業を推進。 <ul style="list-style-type: none"> 交通安全の確保 沿線地域の産業支援 沿線地域の観光支援 	4.3	H30	H26	-	-	-	170	1	<ul style="list-style-type: none"> 国道19号には、沿線に立地する工業団地や周辺企業の物流交通、住宅地からの生活交通が集中し、主要渋滞箇所である釜戸町交差点が存在するなど、渋滞が発生。 当該区間は、東濃都市間を連絡する一般国道19号のうち唯一の2車線区間であり、追突事故や正面衝突など重大な事故も多発発生。 	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県恵那市武並町から恵那市長島町(延長4.3km)は、早期整備に向けて調査・設計を推進。 	事業全体(2.2) 残事業(2.2)	事業継続	

※1. (事業種別) 高規格=高 地域高規格=高 一般1次改築=1次 一般2次改築=2次

※2. (再評価該当項目)

- 事業採択後3年間で経過した時点で未着工の事業
 - 事業採択後5年間で経過した時点で継続中の事業
 - 準備・計画段階で3年間で経過している事業
 - 再評価実施後5年間で経過している事業
 - 社会情勢の急激な変化・技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業
- ※印は国土交通省所管公共事業の再評価実施要領の改定による期間

再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度： 令和元年度

事業名： 一般国道302号 名古屋環状2号線

担当課： 道路計画課

担当課長名： 大西 宵平

項目		判定	
		判断根拠	
		チェック欄	
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
前回評価からの事業費・事業期間の増加			
事業費の増加	事業費の増加が10%以内 (前回:5,681億円→今回:5,769億円 88億円増額(約2%増))	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
事業期間の増加	変更が無い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等			
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更がある (前回:費用便益分析マニュアル(平成20年11月)→費用便益分析マニュアル(平成30年2月))	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量等の減少が10%以内 (前回:16,651,176TE/日→今回:18,034,613TE/日 約8%増加)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化案件はない。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。 (事業全体) 交通量 B/C=1.9 事業費 B/C=2.3 事業期間 B/C=2.1 (残事業費) 交通量 B/C=1.8 事業費 B/C=2.1 事業期間 B/C=2.1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
前回評価で資料の作成を省略していない		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
前回評価で費用対効果分析を省略していない		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
以上より、審議区分： <u>一括</u>		費用対効果分析： <u>実施</u> とする。	

再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度: 令和元年度 事業名: 一般国道1号 東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)
 担当課: 道路計画課 担当課長名: 大西 宵平

項目		判定	チェック欄
判断根拠			
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■	
前回評価からの事業費・事業期間の増加			
事業費の増加	変更が無い	■	<input type="checkbox"/>
事業期間の増加	変更が無い	■	<input type="checkbox"/>
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等			
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更がある (前回:費用便益分析マニュアル(平成20年11月)→費用便益分析マニュアル(平成30年2月))		<input type="checkbox"/>
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量等の減少が10%以内 (前回:3,070,850TE/日→今回:3,339,635TE/日 約9%増加)	■	
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化案件はない。	■	
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。 (事業全体) 交通量 B/C=1.3 事業費 B/C=1.3 事業期間 B/C=1.3	■	
前回評価で資料の作成を省略していない		■	
前回評価で費用対効果分析を省略していない		■	
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	(自由記述)		—
以上より、審議区分: 一括		費用対効果分析: 実施	とする。

再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度: 令和元年度 事業名: 一般国道19号 瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)
 担当課: 道路計画課 担当課長名: 大西 宵平

項目	判定	チェック欄
判断根拠		
事業を巡る社会経済情勢等の変化		
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■
前回評価からの事業費・事業期間の増加		増加無し 10%以内増加
事業費の増加	変更が無い	■ □
事業期間の増加	変更が無い	■ □
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等		
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更がある (前回:費用便益分析マニュアル(平成20年11月)→費用便益分析マニュアル(平成30年2月))	□
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量等の減少が10%以内 (前回:990,268TE/日→今回:1,192,657TE/日 約20%増加)	■
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化案件はない。	■
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている (事業全体) 交通量 B/C=1.3 事業費 B/C=1.3 事業期間 B/C=1.4	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。	■
前回評価で資料の作成を省略していない		■
前回評価で費用対効果分析を省略していない		■
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	-	-
以上より、審議区分: 一括 資料: 省略 費用対効果分析: 実施 とする。		

再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度： 令和元年度 事業名： 一般国道19号 瑞浪恵那道路(恵那工区)
 担当課： 道路計画課 担当課長名： 大西 晋平

項目	判定	チェック欄
事業を巡る社会経済情勢等の変化		
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■
前回評価からの事業費・事業期間の増加		
事業費の増加	変更が無い	■ □
事業期間の増加	変更が無い	■ □
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等		
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更がある (前回：費用便益分析マニュアル(平成20年11月)→費用便益分析マニュアル(平成30年2月))	□
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量等の減少が10%以内 (前回：990,268TE/日→今回：1,192,657TE/日 約20%増加)	■
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化案件はない。	■
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている (事業全体) 交通量 B/C=1.8 事業費 B/C=1.8 事業期間 B/C=1.8	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。	■
前回評価で資料の作成を省略していない		■
前回評価で費用対効果分析を省略していない		■
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	-	-
以上より、審議区分： 一括 資料： 省略 費用対効果分析： 実施 とする。		

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）（原案）

担当課：

担当課長名：

事業名	一般国道41号 <small>めいのう</small> 名濃バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：愛知県小牧市村中 <small>こまき むらなか</small> 至：愛知県犬山市五郎丸 <small>いぬやま ごろうまる</small>	延長	7.0 km		
事業概要					
<p>一般国道41号名濃バイパスは、愛知県小牧市村中から犬山市五郎丸へ至る延長7.0kmのバイパスであり、交通渋滞の緩和、周辺住民や沿線に立地する大規模事業所の高速度道路への利便性向上、観光支援を目的に計画された道路である。</p> <p>名濃バイパスは、名神高速や名古屋高速へのアクセス道路で、交通集中による渋滞が発生するとともに、企業活動にも支障をきたしているなどの多くの課題があり、本事業は、課題解決のために6車線化整備することで、交通の円滑化、物流の効率化等の効果を見込んでいる。</p>					
H25年度事業化		S45年度都市計画決定		H一年度用地着手	
H26年度工事着手					
全体事業費	135億円	事業進捗率	約54%	供用済延長	3.6km
		(平成31年3月末時点)			
計画交通量	55,700台/日				
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 2.4	(残事業)/(事業全体) 83億円/153億円	(残事業)/(事業全体) 361億円/361億円	令和元年	
	(残事業) 4.4	事業費：53億円/123億円 維持管理費：30億円/30億円	走行時間短縮便益：338億円/338億円 走行経費減少便益：23億円/23億円 交通事故減少便益：0.17億円/0.17億円		
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量：B/C=2.1~2.6(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=3.9~4.8(交通量±10%) 事業費：B/C=2.3~2.5(事業費±10%) 事業費：B/C=4.1~4.7(事業費±10%) 事業期間：B/C=2.3~2.4(事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.2~4.5(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 <p>②国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる。 <p>③個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要な観光地（成田山名古屋別院等）へのアクセス向上が期待される。 <p>④無電柱化による美しい町並みの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般国道41号全線が無電柱化の対象となっている。 <p>⑤安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次医療施設（小牧市民病院）へのアクセス向上が見込まれる。 <p>⑥災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県地域防災計画における、第一次緊急輸送道路として位置づけられている。 <p>⑦地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる。 <p>⑧生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 					

関係する地方公共団体等の意見

愛知県知事の意見：

「対応方針（原案）」に対して、異議はありません。

一般国道41号名濃バイパスは、名古屋市と岐阜県中濃地域とを結び、名神高速道路や名古屋高速道路とも一体となって、広域道路ネットワークを形成する大変重要な道路である。また、地元や沿線企業から慢性的な渋滞の緩和や物流の効率化に対する期待も大きいため、早期の6車線化完成に向け、さらに整備を加速するとともに、電線共同溝の整備を推進すること。

なお、事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められたい。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・名濃バイパスの6車線未整備区間では依然として、慢性的に渋滞が発生。朝ピーク時には通勤交通と物流交通が輻輳し、面的にエリア全体で激しい渋滞が発生。

・国道41号沿線地域には、交通の利便性を活かし、国内有数の製造業・運送会社等の大規模事業所が多数立地、さらなる企業進出が予定されており、名神高速小牧ICへのアクセス時間の短縮、速達性の性向上が、物流活動の効率化に大いに貢献。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は約54%、用地取得率は100%（平成31年3月末時点）
- ・小牧市村中～小牧市横内（延長1.3km）は、平成30年2月に6車線開通済み。
- ・小牧市横内～大口町新宮（延長1.1km）は、令和元年5月に6車線開通済み。
- ・大口町新宮～大口町中小口（延長1.2km）は、令和元年8月に6車線開通済み。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・大口町中小口～犬山市五郎丸（延長3.4km）について、早期開通に向けて工事を推進していく。

施設の構造や工法の変更等

・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

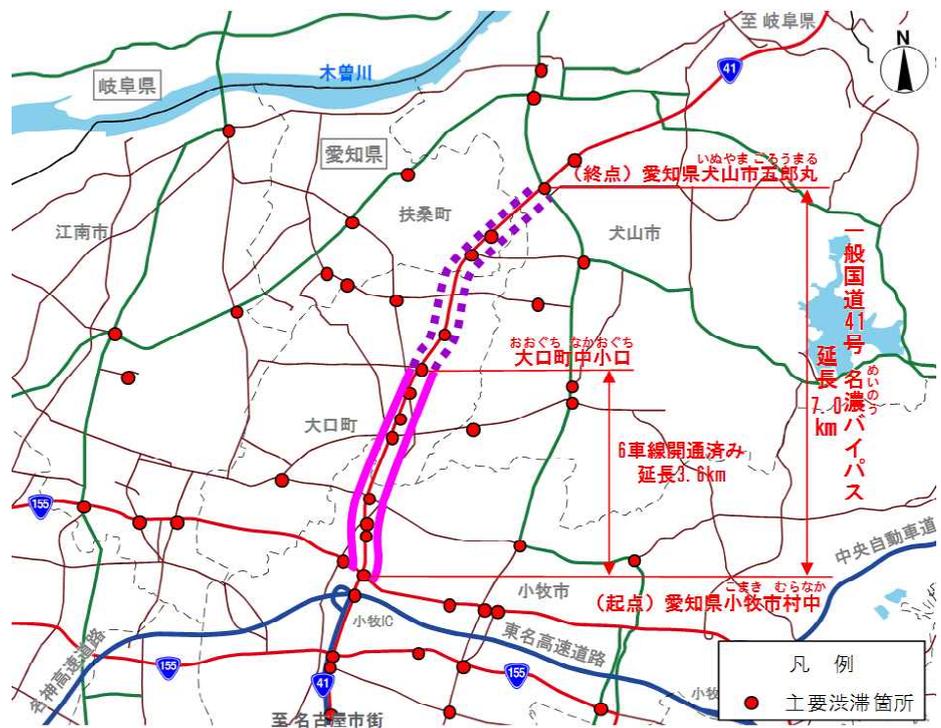
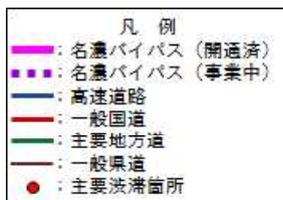
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道41号 名瀬ハイパス
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指標	指標チャエックの根拠
前提条件	<ul style="list-style-type: none"> ■ 便益が費用を上回っている 	全体：費用便益比(B/C)=2.4 経済的純利益価値(B-C)=208億円 経済的内部収益率(EIRR)=10.3% 採事業：費用便益比(B/C)=4.4 経済的純利益価値(B-C)=278億円 経済的内部収益率(EIRR)=23.0%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チャエックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現道等の年間法滞損失時間及び削減率 ■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される <input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上かつ踏切道の縁石もしくは交通改善が期待される <input type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する <input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 <input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISD規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する <input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である <input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する <input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり <input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である 	区間①(費用便益分相対対象区間)について 法滞損失時間(現況)：6,778万人・時間/年 法滞損失削減率：31万人・時間/年(6,778万人・時間/年⇒6,747万人・時間/年) 区間②(当該区間)について：41号名瀬ハイパス区間(未開通区間) L=3.4km 当該区間の法滞損失時間(現況)：76万人・時間/年 当該区間の法滞損失削減率：約1割削減 当該区間の法滞損失削減率：約1割削減 H27全国道路・街路交通情勢調査：23300410340～23300410380 国道41号上り(中ハロ3～横内南交差点間)：整備前12.1km/h⇒整備後39.4km/h(整備前：H27全国道路・街路交通情勢調査、整備後：既開通区間の旅行速度(ETC2.0))
物流効率化の支援		
1. 活力 都市の再生		

	<ul style="list-style-type: none"> □ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である □ D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する □ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる □ 高速自動車国道と並行する自専道(A路線)としての位置づけ有り □ 地域高規格道路の位置づけあり □ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する □ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する □ 現道等における交通不能区間を解消する □ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する ■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる 名古屋市へのアクセス向上(約15分短縮)(整備前・整備後ともにET02.00の旅行速度から算出) 大山市～名古屋市:整備前79分⇒整備後64分 □ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する □ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクトを支援する ■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される 成田山名古屋別院(429人込客数:165万人)、田懸神社(429人込客数:54万人)、博物館明治村(429人込客数:51万人) □ 特別立法に基づき事業である □ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である □ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンポル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である □ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる □ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある。または、交通バリアフリー法に基づき重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される ■ 対象区間が電線跡地中化5ヶ年計画に位置づけ有り □ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する ■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる □ 現道等に死者発生率が500件/億台キロ以上である区間がある場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる □ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される
国土・地域ネットワークの構築	
個性ある地域の形成	
2. 暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 無電柱化による美しい町並みの形成
歩行者・自転車のための生活空間の形成	
3. 安全	<ul style="list-style-type: none"> 安全で安心できる暮らしの確保 安全な生活環境の確保 □ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する

4. 環境	<p>対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p> <p><input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A 路線としての位置づけがある場合）</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等の府営点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する</p> <p><input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量</p>	<p>計画名：愛知県地域防災計画、計画における位置付け：第一次緊急輸送道路</p>
地球環境の改善・保全	<p><input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある</p> <p><input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される</p>	<p>CO2排出削減量：約2,300t/年</p> <p>(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：指定地域（小牧市、大口町、扶桑町、犬山市） （梅村経里） 騒音対象区間（費用便益分析対象区間） 排出削減量：7t/年、排出削減率：0.1%</p> <p>(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：指定地域（小牧市、大口町、扶桑町、犬山市） （梅村経里） 騒音対象区間（費用便益分析対象区間） 排出削減量：0.4t/年、排出削減率：0.1%</p>
5. その他 他のプロジェクトとの関係	<p><input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている</p> <p><input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p><input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p><input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p>	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道41号	名濃バイパス	L=7.0km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
55,700	6	中部地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和元年度		
単純合計	124億円	81億円	205億円
うち残事業分	58億円	81億円	139億円
基準年における 現在価値 (C)	123億円	30億円	153億円
うち残事業分	53億円	30億円	83億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和元年度			
供用年	令和6年度			
単年便益 (初年便益)	20億円	1.4億円	0.01億円	21億円
基準年における 現在価値 (B)	338億円	23億円	0.17億円	361億円
うち残事業分	338億円	23億円	0.17億円	361億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	2.4
経済的純現在価値（事業全体）	208億円
経済的内部収益率（事業全体）	10.3%
費用便益比（残事業）	4.4
経済的純現在価値（残事業）	278億円
経済的内部収益率（残事業）	23.0%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	55,700台/日	±10%	2.1~2.6
事業費	124億円	±10%	2.3~2.5
事業期間	11年	±20%	2.3~2.4

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	55,700台/日	±10%	3.9~4.8
事業費	58億円	±10%	4.1~4.7
事業期間	4年	±20%	4.2~4.5

交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道41号名濃バイパス（事業全体）

（推計時点 R12年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路	国道41号 名濃バイパス : 7.0km	交通量 ^{※1}	[台/日]	40,500	55,700
		走行時間 ^{※2}	[分]	15	14
		走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	112.34	145.61
②主な周辺道路 ^{※4}	市) 犬山公園小牧線 : 7.2km	交通量	[台/日]	14,800	11,500
		走行時間	[分]	15	14
		走行時間費用	[億円/年]	39.90	30.41
	主) 一宮犬山線 : 13.8km	交通量	[台/日]	14,800	14,500
		走行時間	[分]	33	33
		走行時間費用	[億円/年]	92.42	89.13
	県) 小口名古屋線 : 6.2km	交通量	[台/日]	19,200	15,300
		走行時間	[分]	13	15
		走行時間費用	[億円/年]	46.55	41.36
	主) 江南関線 : 5.9km	交通量	[台/日]	19,700	19,200
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	66.54	63.13
主) 春日井各務原線 : 5.3km	交通量	[台/日]	14,700	14,200	
	走行時間	[分]	17	16	
	走行時間費用	[億円/年]	46.75	41.96	
③その他の道路合計 1108.7km	走行時間費用	[億円/年]	7,476.93	7,449.95	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 1154.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7,881.43	7,861.55	19.88

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

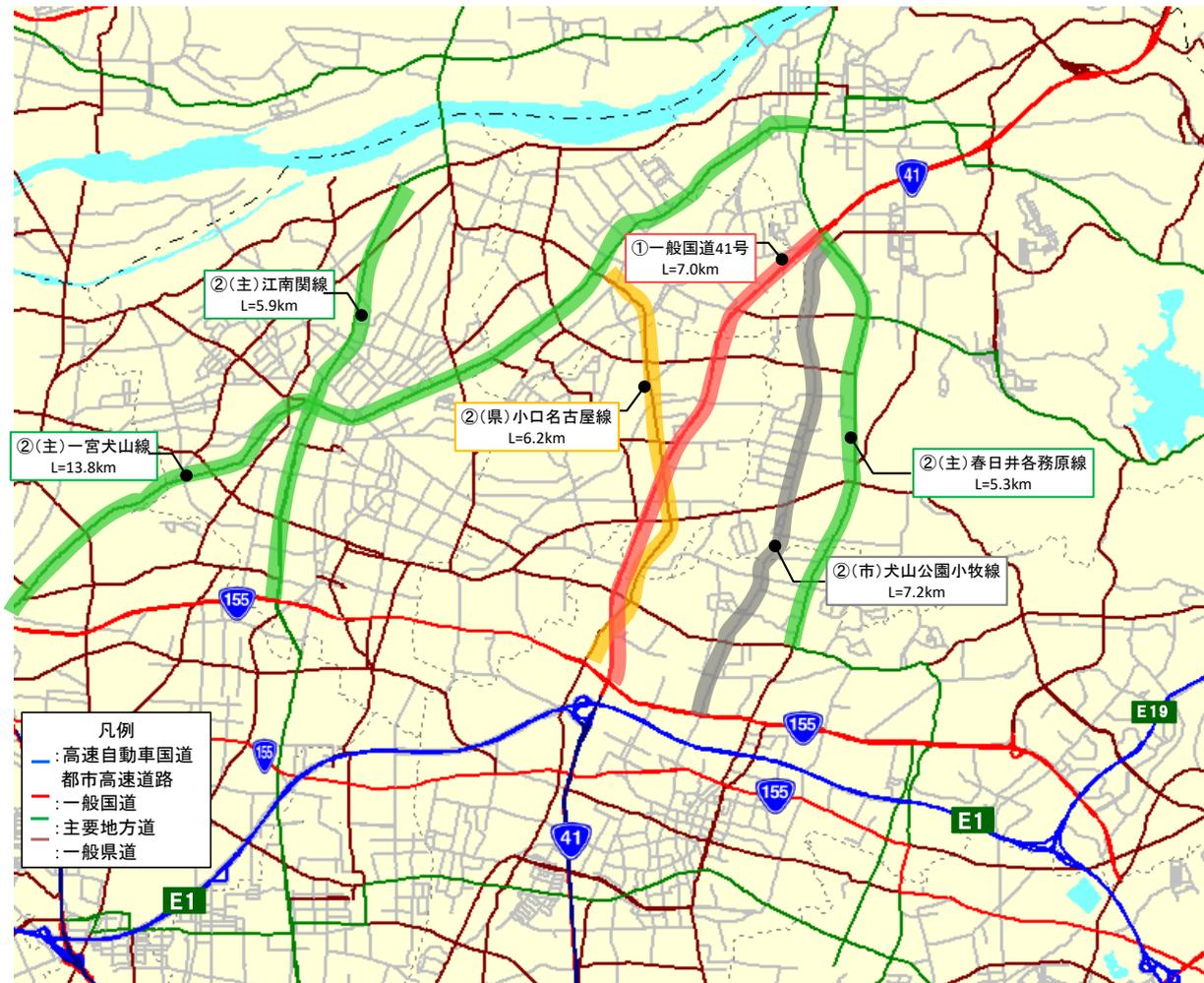
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道41号名濃バイパス（残事業）

（推計時点 R12年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・ 改築道路	国道41号 名濃バイパス : 7.0km	交通量 ^{※1}	[台/日]	40,500	55,700
		走行時間 ^{※2}	[分]	15	14
		走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	112.34	145.61
②主な周 辺道路 ^{※4}	市) 犬山公園小牧線 : 7.2km	交通量	[台/日]	14,800	11,500
		走行時間	[分]	15	14
		走行時間費用	[億円/年]	39.90	30.41
	主) 一宮犬山線 : 13.8km	交通量	[台/日]	14,800	14,500
		走行時間	[分]	33	33
		走行時間費用	[億円/年]	92.42	89.13
	県) 小口名古屋線 : 6.2km	交通量	[台/日]	19,200	15,300
		走行時間	[分]	13	15
		走行時間費用	[億円/年]	46.55	41.36
	主) 江南関線 : 5.9km	交通量	[台/日]	19,700	19,200
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	66.54	63.13
主) 春日井各務原線 : 5.3km	交通量	[台/日]	14,700	14,200	
	走行時間	[分]	17	16	
	走行時間費用	[億円/年]	46.75	41.96	
③その他の道路合計 1108.7km		走行時間費用	[億円/年]	7,476.93	7,449.95

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 1154.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7,881.43	7,861.55	19.88

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

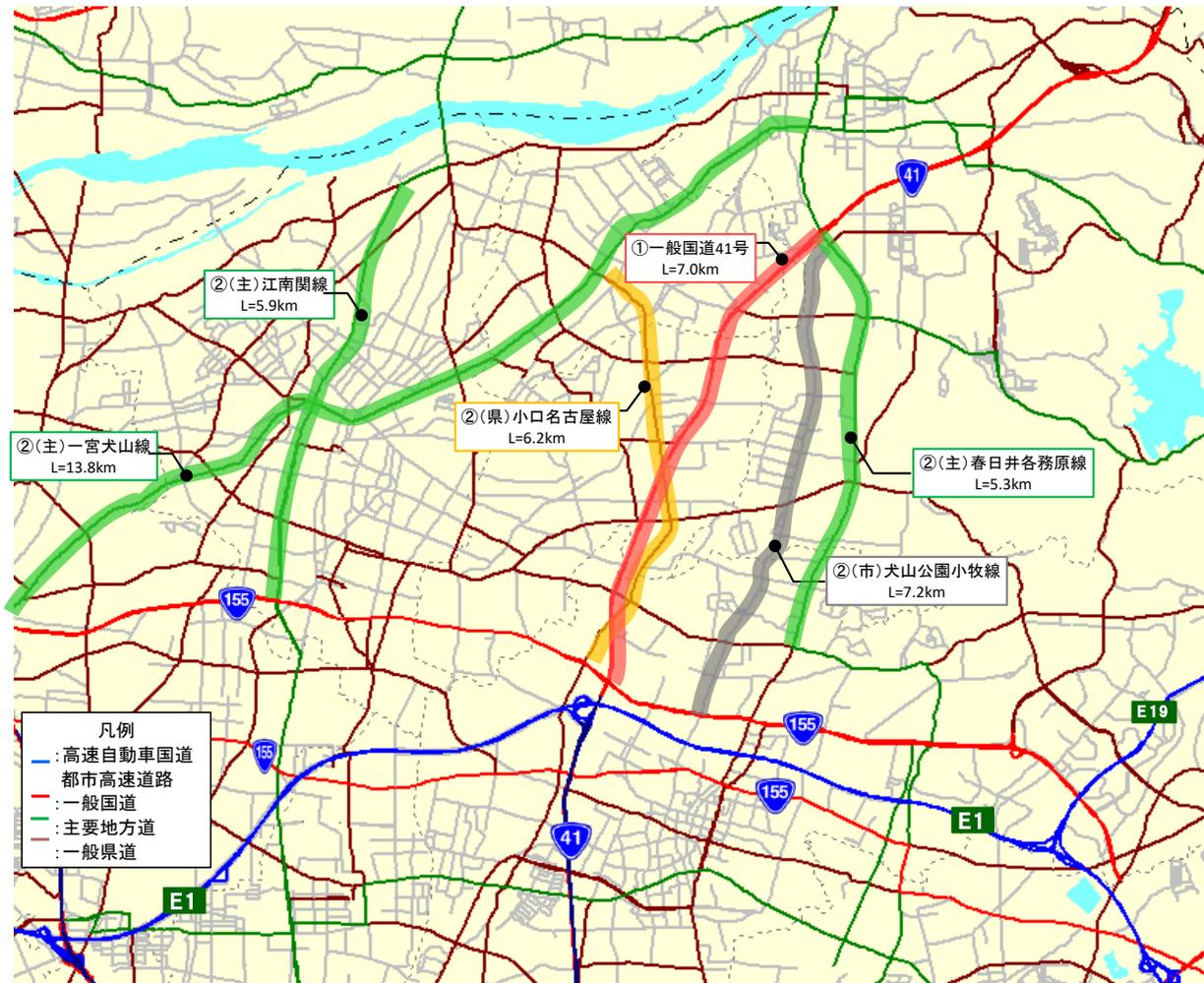
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：一般国道41号 名濃バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和元年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
転換率式を用いた配分		<input type="checkbox"/>	
Q-V式と転換率式の併用による配分		<input checked="" type="checkbox"/>	
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		<input type="checkbox"/>	
簡易手法		<input type="checkbox"/>	
簡易手法の採択理由		小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()	<input type="checkbox"/>		

事業名:一般国道41号 名濃バイパス

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名:一般国道41号 名濃バイパス

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
	その他			
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道41号 名濃バイパス (事業全体)				維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	
				0.25	7.0	1.78	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価	現在価値	単価	現在価値
-16年目	H 20	1.5395	104.4				
-15年目	H 21	1.4802	103.0				
-14年目	H 22	1.4233	101.3				
-13年目	H 23	1.3686	99.8				
-12年目	H 24	1.3159	99.0				
-11年目	H 25	1.2653	99.0	0.48	0.63		
-10年目	H 26	1.2167	101.5	1.85	2.29		
-9年目	H 27	1.1699	103.0	2.78	3.25		
-8年目	H 28	1.1249	102.8	12.50	14.09		
-7年目	H 29	1.0816	103.0	13.89	15.02		
-6年目	H 30	1.0400	103.0	15.74	16.37		
基準年	R 1	1.0000	103.0	18.18	18.18		
-4年目	R 2	0.9615	103.0	19.36	18.62		
-3年目	R 3	0.9246	103.0	13.04	12.05		
-2年目	R 4	0.8890	103.0	14.54	12.92		
-1年目	R 5	0.8548	103.0	11.25	9.61		
供用開始年次	R 6	0.8219	103.0			1.62	1.33
1年目	R 7	0.7903	103.0			1.62	1.28
2年目	R 8	0.7599	103.0			1.62	1.23
3年目	R 9	0.7307	103.0			1.62	1.18
4年目	R 10	0.7026	103.0			1.62	1.14
5年目	R 11	0.6756	103.0			1.62	1.09
6年目	R 12	0.6496	103.0			1.62	1.05
7年目	R 13	0.6246	103.0			1.62	1.01
8年目	R 14	0.6006	103.0			1.62	0.97
9年目	R 15	0.5775	103.0			1.62	0.94
10年目	R 16	0.5553	103.0			1.62	0.90
11年目	R 17	0.5339	103.0			1.62	0.87
12年目	R 18	0.5134	103.0			1.62	0.83
13年目	R 19	0.4936	103.0			1.62	0.80
14年目	R 20	0.4746	103.0			1.62	0.77
15年目	R 21	0.4564	103.0			1.62	0.74
16年目	R 22	0.4388	103.0			1.62	0.71
17年目	R 23	0.4220	103.0			1.62	0.68
18年目	R 24	0.4057	103.0			1.62	0.66
19年目	R 25	0.3901	103.0			1.62	0.63
20年目	R 26	0.3751	103.0			1.62	0.61
21年目	R 27	0.3607	103.0			1.62	0.58
22年目	R 28	0.3468	103.0			1.62	0.56
23年目	R 29	0.3335	103.0			1.62	0.54
24年目	R 30	0.3207	103.0			1.62	0.52
25年目	R 31	0.3083	103.0			1.62	0.50
26年目	R 32	0.2965	103.0			1.62	0.48
27年目	R 33	0.2851	103.0			1.62	0.46
28年目	R 34	0.2741	103.0			1.62	0.44
29年目	R 35	0.2636	103.0			1.62	0.43
30年目	R 36	0.2534	103.0			1.62	0.41
31年目	R 37	0.2437	103.0			1.62	0.39
32年目	R 38	0.2343	103.0			1.62	0.38
33年目	R 39	0.2253	103.0			1.62	0.37
34年目	R 40	0.2166	103.0			1.62	0.35
35年目	R 41	0.2083	103.0			1.62	0.34
36年目	R 42	0.2003	103.0			1.62	0.32
37年目	R 43	0.1926	103.0			1.62	0.31
38年目	R 44	0.1852	103.0			1.62	0.30
39年目	R 45	0.1780	103.0			1.62	0.29
40年目	R 46	0.1712	103.0			1.62	0.28
41年目	R 47	0.1646	103.0			1.62	0.27
42年目	R 48	0.1583	103.0			1.62	0.26
43年目	R 49	0.1522	103.0			1.62	0.25
44年目	R 50	0.1463	103.0			1.62	0.24
45年目	R 51	0.1407	103.0			1.62	0.23
46年目	R 52	0.1353	103.0			1.62	0.22
47年目	R 53	0.1301	103.0			1.62	0.21
48年目	R 54	0.1251	103.0			1.62	0.20
49年目	R 55	0.1203	103.0			1.62	0.19
合計				123.60	123.03	81.02	29.74
単純事業費計				123.60		81.02	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではないため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道41号 名濃バイパス (残事業)				維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	
				0.25	7.0	1.78	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価	現在価値	単価	現在価値
-16年目	H 20	1.5395	104.4				
-15年目	H 21	1.4802	103.0				
-14年目	H 22	1.4233	101.3				
-13年目	H 23	1.3686	99.8				
-12年目	H 24	1.3159	99.0				
-11年目	H 25	1.2653	99.0				
-10年目	H 26	1.2167	101.5				
-9年目	H 27	1.1699	103.0				
-8年目	H 28	1.1249	102.8				
-7年目	H 29	1.0816	103.0				
-6年目	H 30	1.0400	103.0				
基準年	R 1	1.0000	103.0				
-4年目	R 2	0.9615	103.0	19.36	18.62		
-3年目	R 3	0.9246	103.0	13.04	12.05		
-2年目	R 4	0.8890	103.0	14.54	12.92		
-1年目	R 5	0.8548	103.0	11.25	9.61		
供用開始年次	R 6	0.8219	103.0			1.62	1.33
1年目	R 7	0.7903	103.0			1.62	1.28
2年目	R 8	0.7599	103.0			1.62	1.23
3年目	R 9	0.7307	103.0			1.62	1.18
4年目	R 10	0.7026	103.0			1.62	1.14
5年目	R 11	0.6756	103.0			1.62	1.09
6年目	R 12	0.6496	103.0			1.62	1.05
7年目	R 13	0.6246	103.0			1.62	1.01
8年目	R 14	0.6006	103.0			1.62	0.97
9年目	R 15	0.5775	103.0			1.62	0.94
10年目	R 16	0.5553	103.0			1.62	0.90
11年目	R 17	0.5339	103.0			1.62	0.87
12年目	R 18	0.5134	103.0			1.62	0.83
13年目	R 19	0.4936	103.0			1.62	0.80
14年目	R 20	0.4746	103.0			1.62	0.77
15年目	R 21	0.4564	103.0			1.62	0.74
16年目	R 22	0.4388	103.0			1.62	0.71
17年目	R 23	0.4220	103.0			1.62	0.68
18年目	R 24	0.4057	103.0			1.62	0.66
19年目	R 25	0.3901	103.0			1.62	0.63
20年目	R 26	0.3751	103.0			1.62	0.61
21年目	R 27	0.3607	103.0			1.62	0.58
22年目	R 28	0.3468	103.0			1.62	0.56
23年目	R 29	0.3335	103.0			1.62	0.54
24年目	R 30	0.3207	103.0			1.62	0.52
25年目	R 31	0.3083	103.0			1.62	0.50
26年目	R 32	0.2965	103.0			1.62	0.48
27年目	R 33	0.2851	103.0			1.62	0.46
28年目	R 34	0.2741	103.0			1.62	0.44
29年目	R 35	0.2636	103.0			1.62	0.43
30年目	R 36	0.2534	103.0			1.62	0.41
31年目	R 37	0.2437	103.0			1.62	0.39
32年目	R 38	0.2343	103.0			1.62	0.38
33年目	R 39	0.2253	103.0			1.62	0.37
34年目	R 40	0.2166	103.0			1.62	0.35
35年目	R 41	0.2083	103.0			1.62	0.34
36年目	R 42	0.2003	103.0			1.62	0.32
37年目	R 43	0.1926	103.0			1.62	0.31
38年目	R 44	0.1852	103.0			1.62	0.30
39年目	R 45	0.1780	103.0			1.62	0.29
40年目	R 46	0.1712	103.0			1.62	0.28
41年目	R 47	0.1646	103.0			1.62	0.27
42年目	R 48	0.1583	103.0			1.62	0.26
43年目	R 49	0.1522	103.0			1.62	0.25
44年目	R 50	0.1463	103.0			1.62	0.24
45年目	R 51	0.1407	103.0			1.62	0.23
46年目	R 52	0.1353	103.0			1.62	0.22
47年目	R 53	0.1301	103.0			1.62	0.21
48年目	R 54	0.1251	103.0			1.62	0.20
49年目	R 55	0.1203	103.0			1.62	0.19
合計				58.18	53.21	81.02	29.74

単純事業費計	58.18	81.02
--------	-------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではないため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道4号 名瀬ハイパス（事業全体・残事業）

年次 (基準年)	R 1	総走行台別の年次別伸び率 (東海70%)			GDP 7.1%	割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計(億円)			
		乗用車類	小型貨物	普通貨物			全車	乗用車	小型貨物	普通貨物	①計	①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	②計	(A)×②	③	③×(A)	便益合計 (①~③)
供用開始年次	R 6	0.99967	0.98601	1.00833	0.99911	0.8219	14.03	2.17	3.70	19.90	16.36	0.93	0.08	1.36	1.12	0.01	0.01	21.27	17.48	
1年目	R 7	0.99967	0.98581	1.00826	0.99910	0.7903	14.03	2.14	3.74	19.90	15.73	0.93	0.08	1.36	1.08	0.01	0.01	21.27	16.81	
2年目	R 8	0.99967	0.98561	1.00820	0.99910	0.7599	14.02	2.11	3.77	19.89	15.12	0.93	0.08	1.36	1.04	0.01	0.01	21.27	16.16	
3年目	R 9	0.99967	0.98540	1.00813	0.99910	0.7307	14.02	2.08	3.80	19.89	14.53	0.93	0.08	1.36	1.00	0.01	0.01	21.26	15.54	
4年目	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7026	14.01	2.05	3.83	19.89	13.97	0.93	0.07	1.37	0.96	0.01	0.01	21.26	14.94	
5年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.6756	14.01	2.02	3.86	19.88	13.43	0.92	0.07	1.37	0.92	0.01	0.01	21.26	14.36	
6年目	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6496	14.00	1.99	3.89	19.88	12.91	0.92	0.07	1.37	0.89	0.01	0.01	21.26	13.81	
7年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99320	0.6246	13.90	1.97	3.88	19.75	12.34	0.92	0.07	1.36	0.85	0.01	0.01	21.12	13.19	
8年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6006	13.80	1.95	3.88	19.62	11.78	0.91	0.07	1.35	0.81	0.01	0.01	20.98	12.60	
9年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.5775	13.69	1.93	3.87	19.49	11.26	0.90	0.07	1.34	0.78	0.01	0.01	20.85	12.04	
10年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5553	13.59	1.91	3.87	19.36	10.75	0.90	0.07	1.34	0.74	0.01	0.01	20.71	11.50	
11年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5339	13.49	1.89	3.86	19.24	10.27	0.89	0.07	1.33	0.71	0.01	0.01	20.57	10.98	
12年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5134	13.38	1.87	3.85	19.11	9.81	0.88	0.07	1.32	0.68	0.01	0.01	20.44	10.49	
13年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.4936	13.28	1.85	3.85	18.98	9.37	0.88	0.07	1.31	0.65	0.01	0.00	20.30	10.02	
14年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4746	13.18	1.83	3.84	18.85	8.95	0.87	0.07	1.30	0.62	0.01	0.00	20.17	9.57	
15年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4564	13.08	1.81	3.83	18.72	8.55	0.86	0.07	1.30	0.59	0.01	0.00	20.03	9.14	
16年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4388	12.97	1.79	3.83	18.60	8.16	0.86	0.07	1.29	0.57	0.01	0.00	19.89	8.73	
17年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4220	12.87	1.77	3.82	18.47	7.79	0.85	0.07	1.28	0.54	0.01	0.00	19.76	8.34	
18年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4057	12.77	1.76	3.82	18.34	7.44	0.84	0.06	1.27	0.52	0.01	0.00	19.62	7.96	
19年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.3901	12.66	1.74	3.81	18.21	7.10	0.84	0.06	1.26	0.49	0.01	0.00	19.48	7.60	
20年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3751	12.56	1.72	3.80	18.08	6.78	0.83	0.06	1.26	0.47	0.01	0.00	19.35	7.26	
21年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3607	12.46	1.70	3.80	17.95	6.48	0.82	0.06	1.25	0.45	0.01	0.00	19.21	6.93	
22年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3468	12.35	1.68	3.79	17.83	6.18	0.82	0.06	1.24	0.43	0.01	0.00	19.07	6.62	
23年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3335	12.25	1.66	3.79	17.70	5.90	0.81	0.06	1.23	0.41	0.01	0.00	18.94	6.32	
24年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3207	12.15	1.64	3.78	17.57	5.63	0.80	0.06	1.22	0.39	0.01	0.00	18.80	6.03	
25年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3083	12.05	1.62	3.77	17.44	5.38	0.80	0.06	1.22	0.37	0.01	0.00	18.66	5.75	
26年目	R 32	0.99139	0.98808	0.99838	0.99226	0.2965	11.94	1.61	3.77	17.31	5.13	0.79	0.06	1.21	0.36	0.01	0.00	18.53	5.49	
27年目	R 33	0.99132	0.98796	0.99838	0.99221	0.2851	11.84	1.58	3.76	17.18	4.90	0.78	0.06	1.20	0.34	0.01	0.00	18.39	5.24	
28年目	R 34	0.99126	0.98785	0.99838	0.99216	0.2741	11.74	1.56	3.76	17.06	4.68	0.77	0.06	1.19	0.33	0.01	0.00	18.26	5.00	
29年目	R 35	0.99120	0.98773	0.99837	0.99211	0.2636	11.63	1.55	3.75	16.93	4.46	0.77	0.06	1.18	0.31	0.01	0.00	18.12	4.78	
30年目	R 36	0.99114	0.98762	0.99837	0.99207	0.2534	11.53	1.53	3.74	16.80	4.26	0.76	0.06	1.17	0.30	0.01	0.00	17.98	4.56	
31年目	R 37	0.99108	0.98751	0.99837	0.99202	0.2437	11.43	1.51	3.74	16.67	4.06	0.75	0.06	1.17	0.28	0.01	0.00	17.85	4.35	
32年目	R 38	0.99102	0.98739	0.99837	0.99197	0.2343	11.33	1.49	3.73	16.55	3.88	0.75	0.05	1.16	0.27	0.01	0.00	17.71	4.15	
33年目	R 39	0.99096	0.98728	0.99837	0.99192	0.2253	11.23	1.47	3.73	16.42	3.70	0.74	0.05	1.15	0.26	0.01	0.00	17.58	3.96	
34年目	R 40	0.99090	0.98717	0.99836	0.99187	0.2166	11.12	1.45	3.72	16.29	3.53	0.73	0.05	1.14	0.25	0.01	0.00	17.45	3.78	
35年目	R 41	0.99083	0.98705	0.99836	0.99182	0.2083	11.02	1.43	3.71	16.17	3.37	0.73	0.05	1.13	0.24	0.01	0.00	17.31	3.61	
36年目	R 42	0.99077	0.98694	0.99836	0.99177	0.2003	10.92	1.41	3.71	16.04	3.21	0.72	0.05	1.13	0.23	0.01	0.00	17.18	3.44	
37年目	R 43	0.99071	0.98683	0.99836	0.99172	0.1926	10.82	1.40	3.70	15.92	3.07	0.71	0.05	1.12	0.22	0.01	0.00	17.04	3.28	
38年目	R 44	0.99065	0.98671	0.99835	0.99167	0.1852	10.72	1.38	3.69	15.79	2.92	0.71	0.05	1.11	0.21	0.01	0.00	16.91	3.13	
39年目	R 45	0.99059	0.98660	0.99835	0.99162	0.1780	10.62	1.36	3.69	15.67	2.79	0.70	0.05	1.10	0.20	0.01	0.00	16.78	2.99	
40年目	R 46	0.99053	0.98649	0.99835	0.99157	0.1712	10.52	1.34	3.68	15.54	2.66	0.69	0.05	1.10	0.19	0.01	0.00	16.65	2.85	
41年目	R 47	0.99047	0.98637	0.99835	0.99152	0.1646	10.42	1.32	3.68	15.42	2.54	0.69	0.05	1.09	0.18	0.01	0.00	16.52	2.72	
42年目	R 48	0.99041	0.98626	0.99834	0.99147	0.1583	10.32	1.30	3.67	15.30	2.42	0.68	0.05	1.08	0.17	0.01	0.00	16.38	2.59	
43年目	R 49	0.99035	0.98615	0.99834	0.99142	0.1522	10.22	1.29	3.66	15.17	2.31	0.67	0.05	1.07	0.16	0.01	0.00	16.25	2.47	
44年目	R 50	0.99028	0.98603	0.99834	0.99137	0.1463	10.12	1.27	3.66	15.05	2.20	0.67	0.05	1.06	0.16	0.01	0.00	16.12	2.36	
45年目	R 51	0.99022	0.98592	0.99834	0.99132	0.1407	10.03	1.25	3.65	14.93	2.10	0.66	0.05	1.06	0.15	0.01	0.00	15.99	2.25	
46年目	R 52	0.99016	0.98581	0.99834	0.99127	0.1353	9.93	1.23	3.65	14.81	2.00	0.66	0.05	1.05	0.14	0.01	0.00	15.86	2.15	
47年目	R 53	0.99010	0.98569	0.99833	0.99122	0.1301	9.83	1.22	3.64	14.69	1.91	0.65	0.04	1.04	0.14	0.01	0.00	15.73	2.05	
48年目	R 54	0.99004	0.98558	0.99833	0.99117	0.1251	9.73	1.20	3.63	14.56	1.82	0.64	0.04	1.03	0.13	0.01	0.00	15.61	1.95	
49年目	R 55	0.98998	0.98546	0.99833	0.99112	0.1203	9.64	1.18	3.63	14.44	1.74	0.64	0.04	1.03	0.12	0.01	0.00	15.48	1.86	
合計							603.3	81.9	188.1	873.3	337.6	39.83	3.00	17.96	60.79	23.38	0.44	0.17	934.49	361.18

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道41号	名濃バイパス	6	7.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				12,379	
	改良費				8,412	
		土工	m ³	21,100	521	切土(16,900m ³)、盛土(4,200m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³	136,800	274	路床安定処理(改良厚1m)
		法面工	m ²	1,270	1	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	979	補強土壁等 (L=1~2m)
		管渠工	m			
		函渠工	箇所	24	15	B=4.0~8.0m、H=2.4m
		排水工	m	14,937	687	
		中央分離帯工	m	2,877	132	
		雑工	式	1	5,803	擁壁撤去工(3,000m ³)、仮設土留め工(L=2,200m)、切り直し道路工(3~5回)、共同溝
	橋梁費				35	
		100m以上	m			
		100m未満	m	25	35	12橋(既設部補強含む)
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				2,089	
		車道舗装	m ²	148,251	1,947	
		歩道舗装	m ²	17,180	142	
	付帯施設費				1,843	
		交通管理施設工	式	1	1,843	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				28	
	用地費		m ²			
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費		式	1	28	水路機能補償(付け替え)
③	間接経費		式	1	1,093	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				13,500	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道41号	名濃バイパス	6	7.0km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	7.0	1,700	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	7,200	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			8,900	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道41号	名濃バイパス	6	7.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				6,124	
	改良費				4,964	
		土工	m ³	7,000	140	切土(5,800m ³)、盛土(1,200m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³	47,880	96	路床安定処理(改良厚1m)
		法面工	m ²	1,270	1	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	343	補強土壁等 (L=1~2m)
		管渠工	m			
		函渠工	箇所	24	15	B=4.0~8.0m、H=2.4m
		排水工	m	5,228	240	
		中央分離帯工	m	2,158	99	
		雑工	式	1	4,030	擁壁撤去工(2,000m ³)、仮設土留め工(L=1,200m)、切り直し道路工(3~5回)、共同溝
	橋梁費				18	
		100m以上	m			
		100m未満	m	13	18	12橋(既設部補強含む)
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				821	
		車道舗装	m ²	74,126	787	
		歩道舗装	m ²	8,590	35	
	付帯施設費				322	
		交通管理施設工	式	1	322	標識工、防護柵工等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				27	
	用地費		m ²			
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費		式	1	27	水路機能補償(付け替え)
③	間接経費		式	1	1,094	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				7,245	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道41号	名濃バイパス	6	7.0km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	7.0	1,700	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	7,200	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			8,900	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）（原案）

担当課：
担当課長名：

事業名	一般国道138号 須走道路 <small>すばしり</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局						
起終点	自：静岡県駿東郡小山町須走 <small>すんどう おやまちょうすばしり</small> 至：静岡県御殿場市水土野 <small>ごてんば みどの</small>			延長	3.8 km						
事業概要											
一般国道138号須走道路は、静岡県駿東郡小山町須走から静岡県御殿場市水土野に至る延長3.8kmのバイパスです。本バイパスは、東富士五湖道路を経由して中央自動車道と新東名高速道路をつなぎ広域ネットワークを形成するとともに、地域活性化の支援（観光）、交通渋滞の緩和、交通事故の削減、災害に強い道路機能の強化などの効果を見込んでいます。											
H20年度事業化		H6年度都市計画決定 H26年度変更		H24年度用地着手 H24年度工事着手							
全体事業費	208億円	事業進捗率 (平成31年3月時点)	約58%	供用済延長 (暫定開通含む)	1.1 km						
計画交通量	25,500台/日										
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年							
	(事業全体) 2.0 (2.3)	(残事業)/(事業全体) 200/557億円 事業費：157/514億円 維持管理費：43/43億円	(残事業)/(事業全体) 1088/1088億円 走行時間短縮便益：938/938億円 走行経費減少便益：127/127億円 交通事故減少便益：22/22億円	令和元年							
感度分析の結果											
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量 : B/C=1.9~2.1(交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量 : B/C=5.1~5.8(交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費 : B/C=2.0~2.1(事業費±10%)</td> <td>事業費 : B/C=5.0~5.9(事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間 : B/C=1.8~2.3(事業期間±20%)</td> <td>事業期間 : B/C=4.9~6.0(事業期間±20%)</td> </tr> </table>						(事業全体) 交通量 : B/C=1.9~2.1(交通量±10%)	(残事業) 交通量 : B/C=5.1~5.8(交通量±10%)	事業費 : B/C=2.0~2.1(事業費±10%)	事業費 : B/C=5.0~5.9(事業費±10%)	事業期間 : B/C=1.8~2.3(事業期間±20%)	事業期間 : B/C=4.9~6.0(事業期間±20%)
(事業全体) 交通量 : B/C=1.9~2.1(交通量±10%)	(残事業) 交通量 : B/C=5.1~5.8(交通量±10%)										
事業費 : B/C=2.0~2.1(事業費±10%)	事業費 : B/C=5.0~5.9(事業費±10%)										
事業期間 : B/C=1.8~2.3(事業期間±20%)	事業期間 : B/C=4.9~6.0(事業期間±20%)										
事業の効果等											
<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される ・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（富士急シティバス河口湖線）が存在する <p>②国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間（御殿場市、小山町須走）を最短時間で連絡する路線を構成する ・日常活動圏の中心都市（御殿場市、小山町須走）へのアクセス向上が見込まれる <p>③個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点開発プロジェクト（富士御殿場工業団地、東富士リサーチパーク）へのアクセスを支援する ・大規模イベント（富士スピードウェイ）のアクセスを支援する ・主要な観光地（御殿場市・小山町、箱根、富士五湖、富士山）へのアクセス向上が見込まれる <p>④災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落（小山町須走地区）を解消する ・第一次緊急輸送道路に定められている。 ・緊急輸送道路（東名高速道路・中央自動車道）が通行止になった場合に、大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <p>⑤地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる <p>⑥生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NO2排出量・SPM排出量の削減が見込まれる <p>⑦他のプロジェクトとの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新東名高速道路と一体的に整備する必要あり 											

関係する地方公共団体等の意見

静岡県知事の意見：

本事業は、静岡県と山梨県を結ぶ国道138号の駿東郡小山町須走から御殿場市水土野に至る区間のバイパス事業であり、東富士五湖道路を經由して中央自動車道と新東名高速道路を結ぶ広域ネットワークを形成することにより、交通渋滞の緩和及び交通事故の削減、災害に強い道路機能の強化や、富士山周辺の観光振興や地域活性化といったストック効果が期待され、当該地域の発展に寄与する、大変重要な事業です。

効果の早期発現が図られるよう、引き続き必要な予算の確保とコスト縮減の徹底に努め、事業を推進するようお願いします。

なお、各年度の事業実施に当たっては、引き続き県と十分な調整をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・新東名高速道路の延伸（2020年度開通予定）、日本最大級となるアウトレットモールの増床（2020年春予定）により、更なる観光客の増加が見込まれ、須走道路の開通による地域経済の活性化が期待される。

事業の進捗状況、残事業の内容等

・事業進捗率は約58%、用地取得率は100%。（平成31年3月末）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・駿東郡小山町須走～御殿場市水土野区間（延長2.7km）は、早期開通に向けて工事を推進します。

施設の構造や工法の変更等

・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

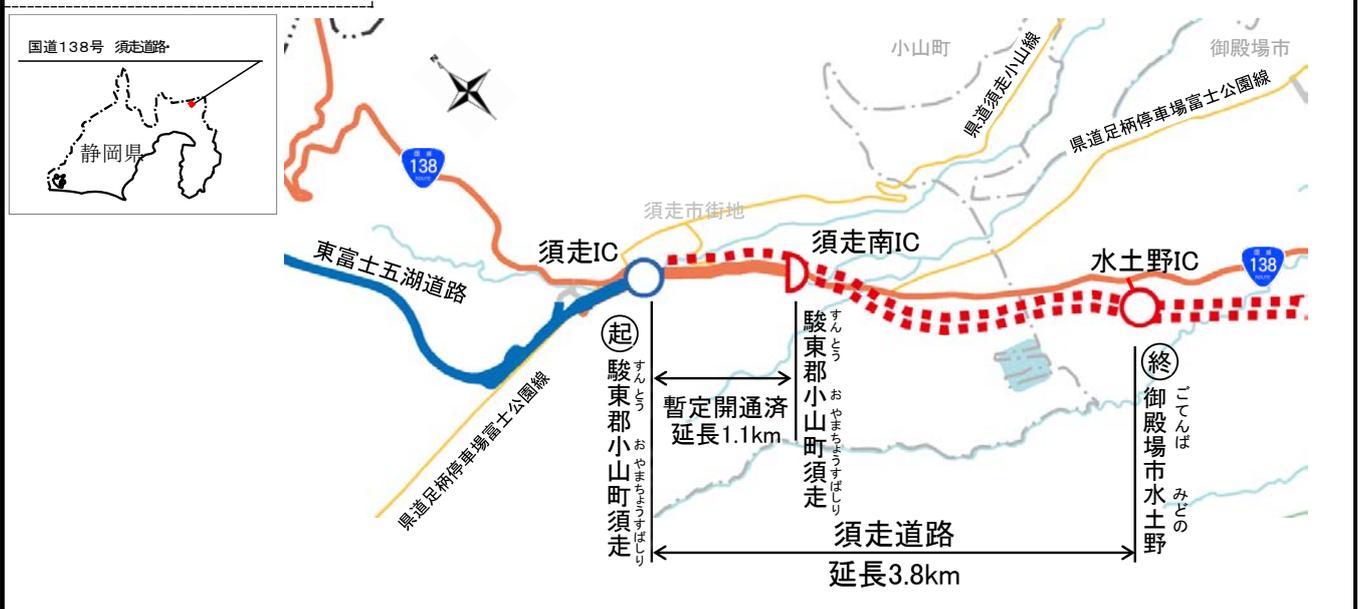
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道138号 須走道路
事業主体	中部地方整備局

■事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	<p>事業の効率性</p> <p>■ 便益が費用を上回っている</p>	<p>全体：費用便益比(B/C) = 2.3 経済的純現在価値(B-C) = 278億円 経済的内部収益率(EIRR) = 8.3%</p> <p>残事業：費用便益比(B/C) = 6.8 経済的純現在価値(B-C) = 417億円 経済的内部収益率(EIRR) = 26.9%</p>

■事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<p>■ 現運等の年間渋滞損失時間及び削減率</p> <p>■ 現運等における渋滞時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される</p> <p><input type="checkbox"/> 現運又は並行区間等における踏切交通運断面量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される</p> <p>■ 現運等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する</p> <p><input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上</p> <p><input type="checkbox"/> 現運等における、総重量25tの車両もしくは150規格普通海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり</p>	<p>区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況)：7,628万人・時間/年 渋滞損失削減時間：70万人・時間/年(7,628万人・時間/年⇒7,558万人・時間/年) 区間b(並行区間)について：一般国道138号 並行区間の渋滞損失時間(現況)：23.4万人・時間/年 並行区間の渋滞損失削減時間：20.1万人・時間/年(23.4万人・時間/年⇒3.3万人・時間/年) 並行区間の渋滞損失削減率：約9割削減</p> <p>対象区間 国道138号(須走南～水士野交差点)、改善見込み(旅行速度16.8km/h⇒40.3km/h)等 ※H27.8月 プローフェータの休日旅行速度(上り)を使用</p> <p>富士急シティバス 河口湖線</p>
物流効率化の支援		
都市の再生		

5. その他	他のプロジェクトの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり <input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	<p>新東名高速道路と仁杉JCT（仮称）で連結</p>
4. 環境	地球環境の保全 生活環境の改善・保全	<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	<p>自動車NO_x・PM法対策地域指定の別 SPMについて環境基準を達成している測定局数の実績 (推計結果) 評価対象区間（並行区間）：(国道138号（須走IC～水土野交差点間） 排出削減量：0.2t/年、排出削減率：約7割削減 (現況) 自動車NO_x・PM法対策地域指定の別 NO₂について環境基準を達成している測定局数の実績 (推計結果) 評価対象区間（並行区間）：(国道138号（須走IC～水土野交差点間） 排出削減量：3.8t/年、排出削減率：約6割削減 (現況)</p>
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	<p>CO₂排出削減量：0.6万t/年</p>
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道138号	須走道路	L = 3. 8 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
25,500	4	中部地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和元年度		
単純合計	192億円	62億円	254億円
うち残事業分	67億円	62億円	129億円
基準年における 現在価値 (C)	192億円	20億円	212億円
うち残事業分	53億円	20億円	72億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和元年度			
供用年	令和8年度			
単年便益 (初年便益)	21億円	3.0億円	0.70億円	25億円
基準年における 現在価値 (B)	422億円	52億円	16億円	490億円
うち残事業分	422億円	52億円	16億円	490億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	2.3
経済的純現在価値（事業全体）	278億円
経済的内部収益率（事業全体）	8.3%
費用便益比（残事業）	6.8
経済的純現在価値（残事業）	417億円
経済的内部収益率（残事業）	26.9%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	25,500台/日	±10%	2.2~2.4
事業費	192億円	±10%	2.3~2.4
事業期間	24年	±20%	2.0~2.6

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	25,500台/日	±10%	6.4~7.2
事業費	67億円	±10%	6.3~7.3
事業期間	12年	±20%	6.2~7.3

交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道138号 須走道路（事業全体）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 新設区間：3.8km	交通量 ^{※1}	[台/日]	-	25,500	
	走行時間 ^{※2}	[分]	-	3	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	-	13.51	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道138号（現道）： 2.4km	交通量	[台/日]	16,000	1,200
		走行時間	[分]	6	4
		走行時間費用	[億円/年]	16.31	0.73
	（一）須走小山 線：3.8km	交通量	[台/日]	10,500	4,400
		走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	12.36	4.47
	（一）足柄停車場 富士公園線：1.6km	交通量	[台/日]	3,600	1,700
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	1.80	0.79
③その他道路合計 ：1,799.5km	走行時間費用	[億円/年]	8,768.71	8,749.88	

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,811.0km	走行時間短縮便益 [億円/年]	8,799.18	8,769.39	29.79

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道138号 須走道路（残事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 新設区間：3.8km	交通量 ^{※1}	[台/日]	-	25,500	
	走行時間 ^{※2}	[分]	-	3	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	-	13.51	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道138号（現道）： 2.4km	交通量	[台/日]	16,000	1,200
		走行時間	[分]	6	4
		走行時間費用	[億円/年]	16.31	0.73
	（一）須走小山 線：3.8km	交通量	[台/日]	10,500	4,400
		走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	12.36	4.47
	（一）足柄停車場 富士公園線：1.6km	交通量	[台/日]	3,600	1,700
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	1.80	0.79
③その他道路合計 ：1,799.5km	走行時間費用	[億円/年]	8,768.71	8,749.88	

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,811.0km	走行時間短縮便益 [億円/年]	8,799.18	8,769.39	29.79

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：一般国道138号 須走道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和元年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22ベース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

		項目	チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概算事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道138号 須走路 (事業全体)				維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	
				0.38	3.8	1.45	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-19年目	H 19	1.6010	105.0				
-18年目	H 20	1.5395	104.4	0.52	0.80		
-17年目	H 21	1.4802	103.0	0.63	0.93		
-16年目	H 22	1.4233	101.3	0.71	1.03		
-15年目	H 23	1.3686	99.8	2.76	3.90		
-14年目	H 24	1.3159	99.0	6.77	9.26		
-13年目	H 25	1.2653	99.0	6.47	8.52		
-12年目	H 26	1.2167	101.5	10.80	13.33		
-11年目	H 27	1.1699	103.0	12.39	14.50		
-10年目	H 28	1.1249	102.8	18.55	20.91		
-9年目	H 29	1.0816	103.0	22.02	23.82		
-8年目	H 30	1.0400	103.0	16.48	17.14		
基準年	R 1	1.0000	103.0	26.91	26.91		
-6年目	R 2	0.9615	103.0	21.27	20.45		
-5年目	R 3	0.9246	103.0	0.91	0.84		
-4年目	R 4	0.8890	103.0	0.91	0.81		
-3年目	R 5	0.8548	103.0	0.91	0.78		
-2年目	R 6	0.8219	103.0	0.91	0.75		
-1年目	R 7	0.7903	103.0	0.91	0.72		
暫定供用開始年次	R 8	0.7599	103.0	4.66	3.54	0.63	0.48
1年目	R 9	0.7307	103.0	4.66	3.41	0.63	0.46
2年目	R 10	0.7026	103.0	8.69	6.10	0.63	0.44
3年目	R 11	0.6756	103.0	10.27	6.94	0.63	0.42
4年目	R 12	0.6496	103.0	10.27	6.67	0.63	0.41
5年目	R 13	0.6246	103.0	2.76	1.72	0.63	0.39
完成供用開始年次	R 14	0.6006	103.0			1.32	0.79
7年目	R 15	0.5775	103.0			1.32	0.76
8年目	R 16	0.5553	103.0			1.32	0.73
9年目	R 17	0.5339	103.0			1.32	0.70
10年目	R 18	0.5134	103.0			1.32	0.68
11年目	R 19	0.4936	103.0			1.32	0.65
12年目	R 20	0.4746	103.0			1.32	0.63
13年目	R 21	0.4564	103.0			1.32	0.60
14年目	R 22	0.4388	103.0			1.32	0.58
15年目	R 23	0.4220	103.0			1.32	0.56
16年目	R 24	0.4057	103.0			1.32	0.53
17年目	R 25	0.3901	103.0			1.32	0.51
18年目	R 26	0.3751	103.0			1.32	0.49
19年目	R 27	0.3607	103.0			1.32	0.48
20年目	R 28	0.3468	103.0			1.32	0.46
21年目	R 29	0.3335	103.0			1.32	0.44
22年目	R 30	0.3207	103.0			1.32	0.42
23年目	R 31	0.3083	103.0			1.32	0.41
24年目	R 32	0.2965	103.0			1.32	0.39
25年目	R 33	0.2851	103.0			1.32	0.38
26年目	R 34	0.2741	103.0			1.32	0.36
27年目	R 35	0.2636	103.0			1.32	0.35
28年目	R 36	0.2534	103.0			1.32	0.33
29年目	R 37	0.2437	103.0			1.32	0.32
30年目	R 38	0.2343	103.0			1.32	0.31
31年目	R 39	0.2253	103.0			1.32	0.30
32年目	R 40	0.2166	103.0			1.32	0.29
33年目	R 41	0.2083	103.0			1.32	0.27
34年目	R 42	0.2003	103.0			1.32	0.26
35年目	R 43	0.1926	103.0			1.32	0.25
36年目	R 44	0.1852	103.0			1.32	0.24
37年目	R 45	0.1780	103.0			1.32	0.23
38年目	R 46	0.1712	103.0			1.32	0.23
39年目	R 47	0.1646	103.0			1.32	0.22
40年目	R 48	0.1583	103.0			1.32	0.21
41年目	R 49	0.1522	103.0			1.32	0.20
42年目	R 50	0.1463	103.0			1.32	0.19
43年目	R 51	0.1407	103.0			1.32	0.19
44年目	R 52	0.1353	103.0			1.32	0.18
45年目	R 53	0.1301	103.0			1.32	0.17
46年目	R 54	0.1251	103.0			1.32	0.16
47年目	R 55	0.1203	103.0			1.32	0.16
48年目	R 56	0.1157	103.0			1.32	0.15
49年目	R 57	0.1112	103.0	-13.38	-1.49	1.32	0.15
合計				178.77	192.29	61.76	19.52
単純事業費計				192.15		61.76	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道138号 須走道路 (残事業)				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.38	3.8	1.45	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-19年目	H 19	1.6010	105.0				
-18年目	H 20	1.5395	104.4				
-17年目	H 21	1.4802	103.0				
-16年目	H 22	1.4233	101.3				
-15年目	H 23	1.3686	99.8				
-14年目	H 24	1.3159	99.0				
-13年目	H 25	1.2653	99.0				
-12年目	H 26	1.2167	101.5				
-11年目	H 27	1.1699	103.0				
-10年目	H 28	1.1249	102.8				
-9年目	H 29	1.0816	103.0				
-8年目	H 30	1.0400	103.0				
基準年	R 1	1.0000	103.0				
-6年目	R 2	0.9615	103.0	21.27	20.45		
-5年目	R 3	0.9246	103.0	0.91	0.84		
-4年目	R 4	0.8890	103.0	0.91	0.81		
-3年目	R 5	0.8548	103.0	0.91	0.78		
-2年目	R 6	0.8219	103.0	0.91	0.75		
-1年目	R 7	0.7903	103.0	0.91	0.72		
暫定供用開始年次	R 8	0.7599	103.0	4.66	3.54	0.63	0.48
1年目	R 9	0.7307	103.0	4.66	3.41	0.63	0.46
2年目	R 10	0.7026	103.0	8.69	6.10	0.63	0.44
3年目	R 11	0.6756	103.0	10.27	6.94	0.63	0.42
4年目	R 12	0.6496	103.0	10.27	6.67	0.63	0.41
5年目	R 13	0.6246	103.0	2.76	1.72	0.63	0.39
完成供用開始年次	R 14	0.6006	103.0			1.32	0.79
7年目	R 15	0.5775	103.0			1.32	0.76
8年目	R 16	0.5553	103.0			1.32	0.73
9年目	R 17	0.5339	103.0			1.32	0.70
10年目	R 18	0.5134	103.0			1.32	0.68
11年目	R 19	0.4936	103.0			1.32	0.65
12年目	R 20	0.4746	103.0			1.32	0.63
13年目	R 21	0.4564	103.0			1.32	0.60
14年目	R 22	0.4388	103.0			1.32	0.58
15年目	R 23	0.4220	103.0			1.32	0.56
16年目	R 24	0.4057	103.0			1.32	0.53
17年目	R 25	0.3901	103.0			1.32	0.51
18年目	R 26	0.3751	103.0			1.32	0.49
19年目	R 27	0.3607	103.0			1.32	0.48
20年目	R 28	0.3468	103.0			1.32	0.46
21年目	R 29	0.3335	103.0			1.32	0.44
22年目	R 30	0.3207	103.0			1.32	0.42
23年目	R 31	0.3083	103.0			1.32	0.41
24年目	R 32	0.2965	103.0			1.32	0.39
25年目	R 33	0.2851	103.0			1.32	0.38
26年目	R 34	0.2741	103.0			1.32	0.36
27年目	R 35	0.2636	103.0			1.32	0.35
28年目	R 36	0.2534	103.0			1.32	0.33
29年目	R 37	0.2437	103.0			1.32	0.32
30年目	R 38	0.2343	103.0			1.32	0.31
31年目	R 39	0.2253	103.0			1.32	0.30
32年目	R 40	0.2166	103.0			1.32	0.29
33年目	R 41	0.2083	103.0			1.32	0.27
34年目	R 42	0.2003	103.0			1.32	0.26
35年目	R 43	0.1926	103.0			1.32	0.25
36年目	R 44	0.1852	103.0			1.32	0.24
37年目	R 45	0.1780	103.0			1.32	0.23
38年目	R 46	0.1712	103.0			1.32	0.23
39年目	R 47	0.1646	103.0			1.32	0.22
40年目	R 48	0.1583	103.0			1.32	0.21
41年目	R 49	0.1522	103.0			1.32	0.20
42年目	R 50	0.1463	103.0			1.32	0.19
43年目	R 51	0.1407	103.0			1.32	0.19
44年目	R 52	0.1353	103.0			1.32	0.18
45年目	R 53	0.1301	103.0			1.32	0.17
46年目	R 54	0.1251	103.0			1.32	0.16
47年目	R 55	0.1203	103.0			1.32	0.16
48年目	R 56	0.1157	103.0			1.32	0.15
49年目	R 57	0.1112	103.0	0.00	0.00	1.32	0.15
合計				67.13	52.73	61.76	19.52
単純事業費計				67.13		61.76	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：箇所名：一般国道138号 須走路路(事業全体・残事業)

Table with columns for Year (年度), Total Benefit (総走行台別の年次別伸び率), Rate of Return (割引率), GDP, and various benefit components (走行時間短縮便益, 走行経費減少便益, 事故減少便益, Total Benefit). Rows include years from R8 to R57 and a total row (合計).

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	須走道路	4	3.8km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					13,768	
	改良費				5,755	
		土工	m ³	414,867	3,350	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	54,956	427	切土法面、盛土法面、土羽土、張芝
		擁壁工	式	1	878	重力式擁壁、ブロック積擁壁、補強土壁
		管渠工	m			
		函渠工	m	236	167	
		排水工	m	12,229	408	
		調整池工	式	1	39	
		中央分離帯工	m	1,724	66	
		雑工	式		420	
	橋梁費				6,250	
		100m以上	m	853	4,772	連続高架橋
		100m未満	m	48	433	
		その他橋梁	m		1,046	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				573	
		車道舗装	m ²	67,310	573	
		その他舗装	m ²			
	付帯施設費				975	
		交通管理施設工	式	1	975	通信管路工、防護柵工、案内標識、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工				215	
		仮設工	式	1	215	
②用地及補償費					4,512	
	用地費		m ²	97,949	1,338	
		宅地	m ²	45,612	1,045	
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²	52,336	293	
		その他	m ²			
	補償費		式		3,174	
③間接経費			式		2,521	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					20,800	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	須走道路	2~4	3.8km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	3.8	1,008	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,786	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			6,794	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	須走道路	4	3.8km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					6,185	
	改良費				3,146	
		土工	m ³	284,267	2,456	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	54,956	407	切土法面、盛土法面、土羽土、張芝
		擁壁工	式	1	178	重力式擁壁、ブロック積擁壁、補強土壁
		管渠工	m			
		函渠工	m			
		排水工	m			
		調整池工	式	1	39	
		中央分離帯工	m	1,724	66	
		雑工	式			
	橋梁費				1,475	
		100m以上	m	853	1,352	連続高架橋
		100m未満	m	48	123	
		その他橋梁	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				573	
		車道舗装	m ²	67,310	573	
		その他舗装	m ²			
	付帯施設費				975	
		交通管理施設工	式	1	975	通信管路工、防護柵工、案内標識、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工				15	
		仮設工	式	1	15	
②用地及補償費						
	用地費		m ²			
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費		式			
③間接経費			式		1,200	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					7,385	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	須走道路	2~4	3.8km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	3.8	1,008	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,786	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			6,794	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）（原案）

担当課：
担当課長名：

事業名	一般国道138号御殿場バイパス（西区間） <small>ごてんば</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：静岡県御殿場市水土野 至：静岡県御殿場市萩原 <small>ごてんば みとの ごてんば はぎはら</small>			延長	4.3 km
事業概要					
一般国道138号御殿場バイパス（西区間）は、静岡県御殿場市水土野から静岡県御殿場市萩原に至る延長4.3kmのバイパスです。本バイパスは、東富士五湖道路を經由して中央自動車道と新東名高速道路をつなぎ広域ネットワークを形成するとともに、地域活性化の支援（観光）、交通渋滞の緩和、交通事故の削減、災害に強い道路機能の強化などの効果を見込んでいます。					
H11年度事業化		H6年度都市計画決定 H26年度変更		H14年度用地着手 H24年度工事着手	
全体事業費	338億円	事業進捗率 (平成31年3月末時点)	約50%	供用済延長 (暫定開通含む)	1.45 km
計画交通量	29,500台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.0 (2.3) (残事業) 5.4 (6.2)	総費用 (残事業)/(事業全体) 200/557億円 事業費：157/514億円 維持管理費：43/43億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1088/1088億円 走行時間短縮便益：938/938億円 走行経費減少便益：127/127億円 交通事故減少便益：22/22億円	基準年	令和元年
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.9~2.1(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=5.1~5.8(交通量±10%) 事業費：B/C=2.0~2.1(事業費±10%) 事業費：B/C=5.0~5.9(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.8~2.3(事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.9~6.0(事業期間±20%)					
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線(富士急シティバス河口湖)が存在する。 ②都市の再生 ・神場南土地区画整理事業との連携あり ③国土・地域ネットワークの構築 ・当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間(御殿場市、小山町須走)を最短時間で連絡する路線を構成する ・日常活動圏の中心都市(御殿場市、小山町須走)へのアクセス向上が見込まれる ④個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクト(富士御殿場工業団地、東富士リサーチパーク)へのアクセスを支援する ・大規模イベント(富士スピードウェイ)のアクセスを支援する ・主要な観光地(御殿場市・小山町、箱根、富士五湖、富士山)へのアクセス向上が見込まれる ⑤災害への備え ・近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落(小山町須走地区)を解消する ・第一次緊急輸送道路に定められている。 ・緊急輸送道路(東名高速道路・中央自動車道)が通行止になった場合に、大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する ⑥地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる ⑦生活環境の改善・保全 ・NO2排出量・SPM排出量の削減が見込まれる ・騒音レベルの改善が見込まれる ⑧他のプロジェクトとの関係 ・新東名高速道路と一体的に整備する必要あり。					

関係する地方公共団体等の意見	
静岡県知事の意見： 本事業は、静岡県と山梨県を結ぶ国道138号の御殿場市水土野から同市萩原に至る区間のバイパス事業であり、東富士五湖道路を經由して中央自動車道と新東名高速道路を結ぶ広域ネットワークを形成することにより、交通渋滞の緩和及び交通事故の削減、災害に強い道路機能の強化や、富士山周辺の観光振興や地域活性化といったストック効果が期待され、当該地域の発展に寄与する、大変重要な事業です。 効果の早期発現が図られるよう、引き続き必要な予算の確保とコスト縮減の徹底に努め、事業を推進するようお願いします。 なお、各年度の事業実施に当たっては、引き続き県と十分な調整をお願いします。	
事業評価監視委員会の意見	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・新東名高速道路の延伸（2020年度開通予定）、日本最大級となるアウトレットモールの増床（2020年春予定）により、更なる観光客の増加が見込まれ、御殿場バイパス（西区間）の開通による地域経済の活性化が期待されます。	
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業進捗率は約50%、用地取得率は99%。（平成31年3月末）	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・御殿場市水土野～御殿場市ぐみ沢区間（延長2.9km）は、早期開通に向けて工事を推進します。	
施設の構造や工法の変更等 ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。
事業概要図	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道138号 御殿場バイパス (西区間)
事業主体	中部地方整備局

■事業採択の前提条件を確認するための指標

	指標	指標チェックの根拠
前提条件	<p>事業の効率性</p> <p>■ 便益が費用を上回っている</p>	<p>全体：費用便益比(B/C) = 2.3 経済的純現在価値(B-C) = 438億円 経済的内部収益率(EIRR) = 7.9%</p> <p>残事業：費用便益比(B/C) = 6.2 経済的純現在価値(B-C) = 654億円 経済的内部収益率(EIRR) = 19.3%</p>

■事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<p>■ 現運等の年間渋滞滞損失時間及び削減率</p> <p>■ 現運等における渋滞時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される</p> <p><input type="checkbox"/> 現運又は並行区間等における踏切交通運断面量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される</p> <p>■ 現運等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する</p> <p><input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上</p> <p><input type="checkbox"/> 現運等における、総重量25tの車両もしくはISD規格普高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する</p> <p>■ 市街地再開発、区画整理等の治道まちづくりとの連携あり</p>	<p>期間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況)：7,628万人・時間/年 渋滞損失削減時間：1,115万人・時間/年 (7,628万人・時間/年⇒7,514万人・時間/年) 期間b(並行区間)について：一般国道138号 並行区間の渋滞損失時間(現況)：37.2万人・時間/年 並行区間の渋滞損失削減時間：29.8万人・時間/年 (37.2万人・時間/年⇒7.3万人・時間/年) 並行区間の渋滞損失削減率：約8割削減</p> <p>対象区間 国道138号(水土野交差点～ぐみ沢上交差点)、改善見込み(旅行速度14.9km/h⇒32.1km/h)等 ※H30.8月 プローフェータの休日旅行速度(上り)を使用</p> <p>富士急シティバス 河口湖線</p>
物流効率化の支援		
都市の再生		神場南土地区画整理事業

	災害への備え	<p>当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量が100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量が500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される</p> <p>■ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する</p> <p>■ 対象区間が、新道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</p> <p>■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p> <p>□ 並行する高速度ネットワークの代替路線として機能する（A 路線としての位置づけがある場合）</p> <p>□ 現運等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</p> <p>□ 現運等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p> <p>□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する</p> <p>□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する</p> <p>□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす</p> <p>■ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量</p>
4. 環境	地球環境の保全	CO2排出削減量：0.9万t/年
生活環境の改善・保全		<p>(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別 NO2について環境基準を達成している測定局数の実績 (推計結果) 評価対象区間（並行区間）：(国道138号（水士野～萩原北交差点間） 排出削減量：4.7t/年、排出削減率：約4割削減</p> <p>(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別 SPMについて環境基準を達成している測定局数の実績 (推計結果) 評価対象区間（並行区間）：(国道138号（水士野～萩原北交差点間） 排出削減量：0.3t/年、排出削減率：約4割削減</p> <p>国道138号（御殿場市仁形）：夜間騒音レベル65dB（環境基準65dBを超過）、延長5.5km 整備後：69dB→61dBに改善</p>
5. その他	他のプロジェクトの関係	<p>□ その他、環境や景観上の効果が期待される</p> <p>□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている</p> <p>■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p>□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p>□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p> <p>新東名高速道路と仁形JCT（仮称）で連結</p>

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道138号	御殿場バイパス (西区間)	L = 4. 3 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
29,500	4	中部地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和元年度		
単純合計	312億円	70億円	382億円
うち残事業分	117億円	70億円	187億円
基準年における 現在価値 (C)	321億円	22億円	343億円
うち残事業分	105億円	22億円	127億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和元年度			
供用年	令和8年度			
単年便益 (初年便益)	31億円	3.9億円	0.76億円	35億円
基準年における 現在価値 (B)	685億円	78億円	18億円	781億円
うち残事業分	685億円	78億円	18億円	781億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	2.3
経済的純現在価値（事業全体）	438億円
経済的内部収益率（事業全体）	7.9%
費用便益比（残事業）	6.2
経済的純現在価値（残事業）	654億円
経済的内部収益率（残事業）	19.3%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	29,500台/日	±10%	2.2~2.4
事業費	312億円	±10%	2.2~2.4
事業期間	33年	±20%	2.0~2.6

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	29,500台/日	±10%	5.9~6.5
事業費	117億円	±10%	5.7~6.7
事業期間	12年	±20%	5.7~6.9

交通状況の変化

様式－3①

事業名：一般国道138号 御殿場バイパス（西区間）（事業全体）

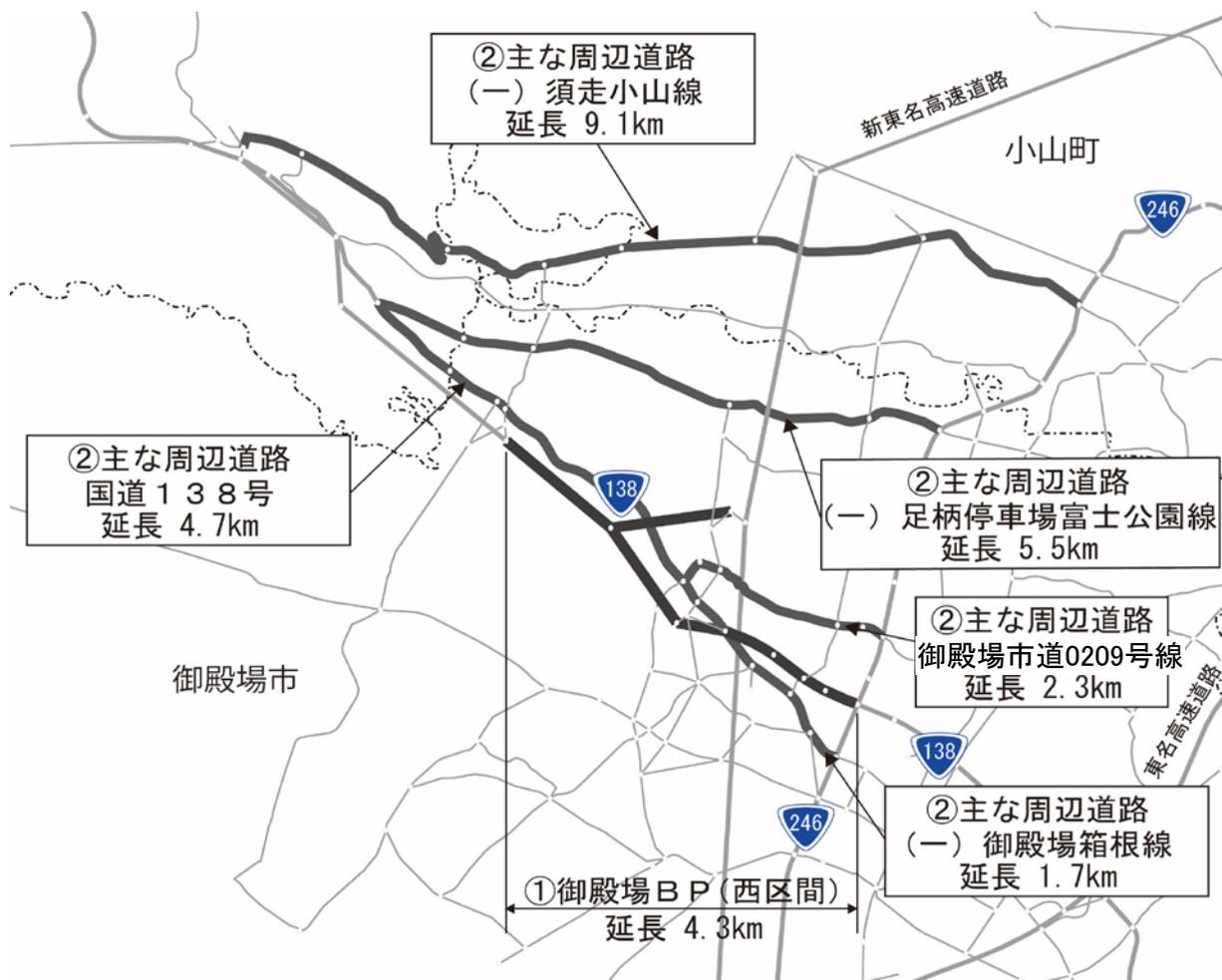
（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 新設区間：4.3km （※評価区間は仁杉JCT ランプ部を含む5.2km）	交通量 ^{※1}	[台/日]	-	29,500	
	走行時間 ^{※2}	[分]	-	4.8	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	-	25.44	
②主な周 辺道路 ^{※4}	国道138号（現 道）： 4.7km	交通量	[台/日]	10,800	3,000
		走行時間	[分]	9.9	7.2
		走行時間費用	[億円/年]	21.61	3.92
	（一）足柄停車場 富士公園線：5.5km	交通量	[台/日]	7,600	3,600
		走行時間	[分]	10.6	9.7
		走行時間費用	[億円/年]	14.19	6.29
	（一）須走小山 線：9.1km	交通量	[台/日]	6,800	5,400
		走行時間	[分]	16	15
		走行時間費用	[億円/年]	19.12	14.85
	（一）御殿場箱根 線：1.7km	交通量	[台/日]	10,700	9,900
		走行時間	[分]	6	5
		走行時間費用	[億円/年]	11.94	10.36
	御殿場市道0209号 線：2.3km	交通量	[台/日]	1,900	1,100
		走行時間	[分]	8	7
		走行時間費用	[億円/年]	3.04	1.47
③その他道路合計 ：1,783.4km	走行時間費用	[億円/年]	8,748.89	8,707.06	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,811.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	8,818.79	8,769.39	49.40

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道138号 御殿場バイパス（西区間）（残事業）

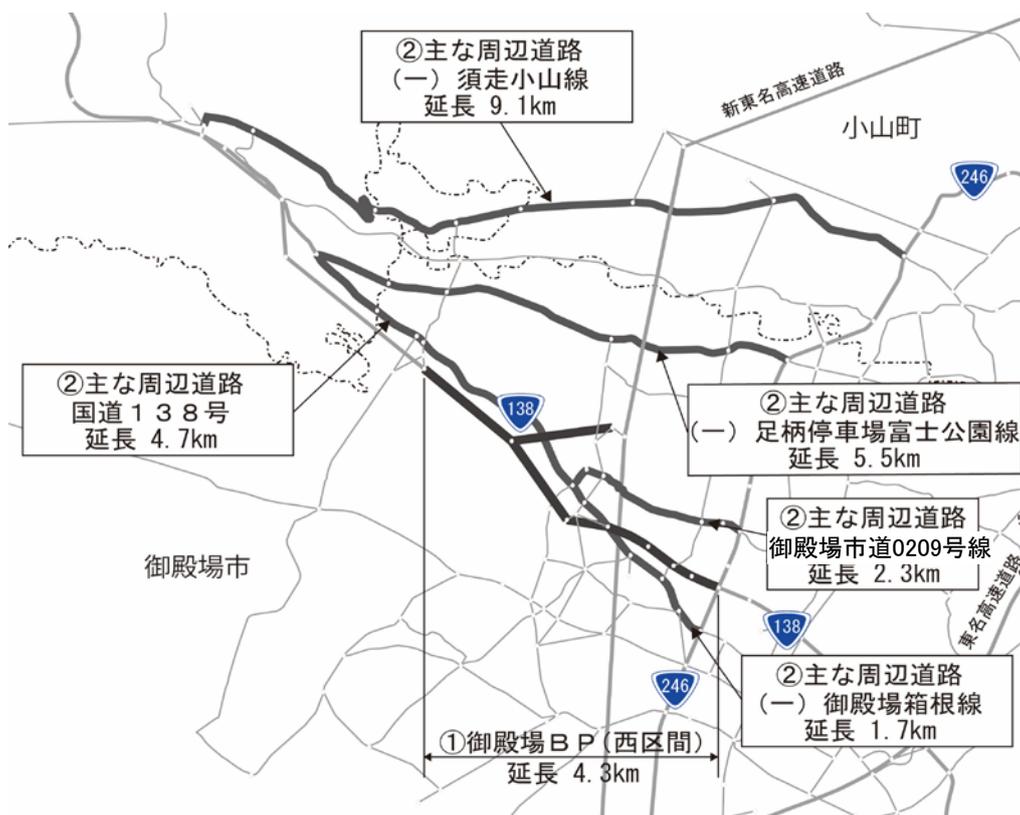
（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 新設区間：4.3km (※評価区間は仁杉JCT ランプ部を含む5.2km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	-	29,500	
	走行時間 ^{※2}	[分]	-	4.8	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	-	25.44	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道138号（現道）： 4.7km	交通量	[台/日]	10,800	3,000
		走行時間	[分]	9.9	7.2
		走行時間費用	[億円/年]	21.61	3.92
	（一）足柄停車場 富士公園線：5.5km	交通量	[台/日]	7,600	3,600
		走行時間	[分]	10.6	9.7
		走行時間費用	[億円/年]	14.19	6.29
	（一）須走小山 線：9.1km	交通量	[台/日]	6,800	5,400
		走行時間	[分]	16	15
		走行時間費用	[億円/年]	19.12	14.85
	（一）御殿場箱根 線：1.7km	交通量	[台/日]	10,700	9,900
		走行時間	[分]	6	5
		走行時間費用	[億円/年]	11.94	10.36
	御殿場市道0209号 線：2.3km	交通量	[台/日]	1,900	1,100
		走行時間	[分]	8	7
		走行時間費用	[億円/年]	3.04	1.47
③その他道路合計 ：1,783.4km	走行時間費用	[億円/年]	8,748.89	8,707.06	

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,811.0km	走行時間短縮便益 [億円/年]	8,818.79	8,769.39	49.40

- ※1：当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2：配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3：費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4：当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5：②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：一般国道138号 御殿場バイパス(西区間)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和元年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	推計に用いたOD表	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
		道路センサをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22ベース)
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
転換率式を用いた配分		<input type="checkbox"/>	
Q-V式と転換率式の併用による配分		<input checked="" type="checkbox"/>	
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		<input type="checkbox"/>	
簡易手法		<input type="checkbox"/>	
簡易手法の採択理由		小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	その他()	<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
その他()	<input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

		項目	チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概算事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用		考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道138号 御殿場バイパス（西区間）				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
(事業全体)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.38	4.3	1.65	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-28年目	H 10	2.2788	116.9				
-27年目	H 11	2.1911	115.2	1.62	3.17		
-26年目	H 12	2.1068	113.8	0.48	0.91		
-25年目	H 13	2.0258	112.4	0.48	0.88		
-24年目	H 14	1.9479	110.5	0.68	1.24		
-23年目	H 15	1.8730	109.0	0.38	0.67		
-22年目	H 16	1.8009	107.9	0.48	0.82		
-21年目	H 17	1.7317	106.7	0.48	0.80		
-20年目	H 18	1.6651	105.9	0.51	0.83		
-19年目	H 19	1.6010	105.0	1.33	2.09		
-18年目	H 20	1.5395	104.4	0.52	0.80		
-17年目	H 21	1.4802	103.0	0.70	1.04		
-16年目	H 22	1.4233	101.3	0.71	1.03		
-15年目	H 23	1.3686	99.8	2.79	3.93		
-14年目	H 24	1.3159	99.0	10.62	14.54		
-13年目	H 25	1.2653	99.0	7.26	9.56		
-12年目	H 26	1.2167	101.5	12.03	14.85		
-11年目	H 27	1.1699	103.0	11.90	13.92		
-10年目	H 28	1.1249	102.8	15.88	17.90		
-9年目	H 29	1.0816	103.0	44.91	48.58		
-8年目	H 30	1.0400	103.0	24.81	25.80		
基準年	R 1	1.0000	103.0	56.43	56.43		
-6年目	R 2	0.9615	103.0	47.64	45.80		
-5年目	R 3	0.9246	103.0	8.18	7.56		
-4年目	R 4	0.8890	103.0	9.91	8.81		
-3年目	R 5	0.8548	103.0	15.09	12.90		
-2年目	R 6	0.8219	103.0	25.36	20.85		
-1年目	R 7	0.7903	103.0	7.91	6.25		
暫定供用開始年次	R 8	0.7599	103.0	0.91	0.69	0.66	0.50
1年目	R 9	0.7307	103.0	0.65	0.47	0.66	0.48
2年目	R 10	0.7026	103.0	0.45	0.32	0.66	0.47
3年目	R 11	0.6756	103.0	0.45	0.31	0.66	0.45
4年目	R 12	0.6496	103.0	0.45	0.30	0.66	0.43
5年目	R 13	0.6246	103.0	0.45	0.28	0.66	0.41
完成供用開始年次	R 14	0.6006	103.0			1.50	0.90
7年目	R 15	0.5775	103.0			1.50	0.87
8年目	R 16	0.5553	103.0			1.50	0.83
9年目	R 17	0.5339	103.0			1.50	0.80
10年目	R 18	0.5134	103.0			1.50	0.77
11年目	R 19	0.4936	103.0			1.50	0.74
12年目	R 20	0.4746	103.0			1.50	0.71
13年目	R 21	0.4564	103.0			1.50	0.68
14年目	R 22	0.4388	103.0			1.50	0.66
15年目	R 23	0.4220	103.0			1.50	0.63
16年目	R 24	0.4057	103.0			1.50	0.61
17年目	R 25	0.3901	103.0			1.50	0.59
18年目	R 26	0.3751	103.0			1.50	0.56
19年目	R 27	0.3607	103.0			1.50	0.54
20年目	R 28	0.3468	103.0			1.50	0.52
21年目	R 29	0.3335	103.0			1.50	0.50
22年目	R 30	0.3207	103.0			1.50	0.48
23年目	R 31	0.3083	103.0			1.50	0.46
24年目	R 32	0.2965	103.0			1.50	0.44
25年目	R 33	0.2851	103.0			1.50	0.43
26年目	R 34	0.2741	103.0			1.50	0.41
27年目	R 35	0.2636	103.0			1.50	0.40
28年目	R 36	0.2534	103.0			1.50	0.38
29年目	R 37	0.2437	103.0			1.50	0.37
30年目	R 38	0.2343	103.0			1.50	0.35
31年目	R 39	0.2253	103.0			1.50	0.34
32年目	R 40	0.2166	103.0			1.50	0.32
33年目	R 41	0.2083	103.0			1.50	0.31
34年目	R 42	0.2003	103.0			1.50	0.30
35年目	R 43	0.1926	103.0			1.50	0.29
36年目	R 44	0.1852	103.0			1.50	0.28
37年目	R 45	0.1780	103.0			1.50	0.27
38年目	R 46	0.1712	103.0			1.50	0.26
39年目	R 47	0.1646	103.0			1.50	0.25
40年目	R 48	0.1583	103.0			1.50	0.24
41年目	R 49	0.1522	103.0			1.50	0.23
42年目	R 50	0.1463	103.0			1.50	0.22
43年目	R 51	0.1407	103.0			1.50	0.21
44年目	R 52	0.1353	103.0			1.50	0.20
45年目	R 53	0.1301	103.0			1.50	0.20
46年目	R 54	0.1251	103.0			1.50	0.19
47年目	R 55	0.1203	103.0			1.50	0.18
48年目	R 56	0.1157	103.0			1.50	0.17
49年目	R 57	0.1112	103.0	-30.51	-3.39	1.50	0.17
合計				281.95	320.96	69.98	22.00
単純事業費計				312.47		69.98	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名：一般国道138号 御殿場バイパス (西区間)				単価 (億円)	延長 (km)	単純単価 (億円)	
(残事業)				0.38	4.3	1.65	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費 (億円)		維持管理費 (億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-28年目	H 10	2.2788	116.9				
-27年目	H 11	2.1911	115.2				
-26年目	H 12	2.1068	113.8				
-25年目	H 13	2.0258	112.4				
-24年目	H 14	1.9479	110.5				
-23年目	H 15	1.8730	109.0				
-22年目	H 16	1.8009	107.9				
-21年目	H 17	1.7317	106.7				
-20年目	H 18	1.6651	105.9				
-19年目	H 19	1.6010	105.0				
-18年目	H 20	1.5395	104.4				
-17年目	H 21	1.4802	103.0				
-16年目	H 22	1.4233	101.3				
-15年目	H 23	1.3686	99.8				
-14年目	H 24	1.3159	99.0				
-13年目	H 25	1.2653	99.0				
-12年目	H 26	1.2167	101.5				
-11年目	H 27	1.1699	103.0				
-10年目	H 28	1.1249	102.8				
-9年目	H 29	1.0816	103.0				
-8年目	H 30	1.0400	103.0				
基準年	R 1	1.0000	103.0				
-6年目	R 2	0.9615	103.0	47.64	45.80		
-5年目	R 3	0.9246	103.0	8.18	7.56		
-4年目	R 4	0.8890	103.0	9.91	8.81		
-3年目	R 5	0.8548	103.0	15.09	12.90		
-2年目	R 6	0.8219	103.0	25.36	20.85		
-1年目	R 7	0.7903	103.0	7.91	6.25		
暫定供用開始年次	R 8	0.7599	103.0	0.91	0.69	0.66	0.50
1年目	R 9	0.7307	103.0	0.65	0.47	0.66	0.48
2年目	R 10	0.7026	103.0	0.45	0.32	0.66	0.47
3年目	R 11	0.6756	103.0	0.45	0.31	0.66	0.45
4年目	R 12	0.6496	103.0	0.45	0.30	0.66	0.43
5年目	R 13	0.6246	103.0	0.45	0.28	0.66	0.41
完成供用開始年次	R 14	0.6006	103.0			1.50	0.90
7年目	R 15	0.5775	103.0			1.50	0.87
8年目	R 16	0.5553	103.0			1.50	0.83
9年目	R 17	0.5339	103.0			1.50	0.80
10年目	R 18	0.5134	103.0			1.50	0.77
11年目	R 19	0.4936	103.0			1.50	0.74
12年目	R 20	0.4746	103.0			1.50	0.71
13年目	R 21	0.4564	103.0			1.50	0.68
14年目	R 22	0.4388	103.0			1.50	0.66
15年目	R 23	0.4220	103.0			1.50	0.63
16年目	R 24	0.4057	103.0			1.50	0.61
17年目	R 25	0.3901	103.0			1.50	0.59
18年目	R 26	0.3751	103.0			1.50	0.56
19年目	R 27	0.3607	103.0			1.50	0.54
20年目	R 28	0.3468	103.0			1.50	0.52
21年目	R 29	0.3335	103.0			1.50	0.50
22年目	R 30	0.3207	103.0			1.50	0.48
23年目	R 31	0.3083	103.0			1.50	0.46
24年目	R 32	0.2965	103.0			1.50	0.44
25年目	R 33	0.2851	103.0			1.50	0.43
26年目	R 34	0.2741	103.0			1.50	0.41
27年目	R 35	0.2636	103.0			1.50	0.40
28年目	R 36	0.2534	103.0			1.50	0.38
29年目	R 37	0.2437	103.0			1.50	0.37
30年目	R 38	0.2343	103.0			1.50	0.35
31年目	R 39	0.2253	103.0			1.50	0.34
32年目	R 40	0.2166	103.0			1.50	0.32
33年目	R 41	0.2083	103.0			1.50	0.31
34年目	R 42	0.2003	103.0			1.50	0.30
35年目	R 43	0.1926	103.0			1.50	0.29
36年目	R 44	0.1852	103.0			1.50	0.28
37年目	R 45	0.1780	103.0			1.50	0.27
38年目	R 46	0.1712	103.0			1.50	0.26
39年目	R 47	0.1646	103.0			1.50	0.25
40年目	R 48	0.1583	103.0			1.50	0.24
41年目	R 49	0.1522	103.0			1.50	0.23
42年目	R 50	0.1463	103.0			1.50	0.22
43年目	R 51	0.1407	103.0			1.50	0.21
44年目	R 52	0.1353	103.0			1.50	0.20
45年目	R 53	0.1301	103.0			1.50	0.20
46年目	R 54	0.1251	103.0			1.50	0.19
47年目	R 55	0.1203	103.0			1.50	0.18
48年目	R 56	0.1157	103.0			1.50	0.17
49年目	R 57	0.1112	103.0	0.00	0.00	1.50	0.17
合計				117.46	104.54	69.98	22.00
単純事業費計				117.46		69.98	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：箇所名：一般国道136号 御殿場ハイパス（西区間）（事業全体・残事業）

年次 (基準年)	年度 (基準年)	総走行台別の年次別伸び率 (東海ブロック)			GDP デフレーター	削減率 (A)	走行時間短縮便益(億円)	走行経費減少便益(億円)			現在価値 ① 計 (1) × (A)	現在価値 ② 計 (A) × ②			事故減少便益(億円) ③ × (A)	合計(億円) 便益合計 現在価値 (1)~(3) 割引率4%					
		乗用車類 小型貨物	普通貨物	全車				乗用車類 小型貨物	普通貨物	② 計 (A) × ②		乗用車類 小型貨物	普通貨物	③							
暫定供開始年次	R 8	0.9967	0.9856	1.0082	0.9991	0.7599	103.0	21.82	4.23	4.76	30.81	23.41	2.78	0.36	0.71	3.85	2.93	0.76	0.58	35.42	26.92
1年目	R 9	0.9967	0.9854	1.0081	0.9991	0.7307	103.0	21.82	4.17	4.80	30.78	22.49	2.78	0.36	0.72	3.85	2.76	0.76	0.55	35.39	25.86
2年目	R 10	0.9967	0.9851	1.0080	0.9991	0.7026	103.0	21.81	4.11	4.84	30.75	21.61	2.78	0.35	0.73	3.85	2.71	0.76	0.53	35.36	24.85
3年目	R 11	0.9967	0.9849	1.0080	0.9991	0.6756	103.0	21.80	4.04	4.88	30.72	20.76	2.77	0.35	0.73	3.85	2.60	0.76	0.51	35.33	23.87
4年目	R 12	0.9926	0.9803	0.9935	0.9932	0.6496	103.0	21.79	3.98	4.92	30.70	19.94	2.77	0.34	0.74	3.85	2.50	0.76	0.49	35.30	22.93
5年目	R 13	0.9925	0.9802	0.9935	0.9932	0.6246	103.0	21.63	3.95	4.91	30.49	19.04	2.75	0.34	0.74	3.83	2.39	0.75	0.47	35.07	21.90
完成供開始年次	R 14	0.9925	0.9801	0.9935	0.9932	0.6006	103.0	36.23	6.19	6.29	48.71	29.26	4.35	0.50	0.57	5.41	3.25	1.29	0.77	55.41	33.28
7年目	R 15	0.9924	0.9800	0.9935	0.9932	0.5775	103.0	35.96	6.13	6.28	48.37	27.93	4.32	0.50	0.56	5.38	3.10	1.28	0.74	55.02	31.77
8年目	R 16	0.9924	0.9800	0.9935	0.9932	0.5553	103.0	35.69	6.07	6.27	48.03	26.67	4.28	0.49	0.56	5.34	2.96	1.27	0.70	54.64	30.34
9年目	R 17	0.9923	0.9800	0.9935	0.9932	0.5339	103.0	35.41	6.01	6.26	47.69	25.46	4.25	0.49	0.56	5.30	2.83	1.26	0.67	54.25	28.96
10年目	R 18	0.9923	0.9800	0.9935	0.9932	0.5134	103.0	35.14	5.95	6.25	47.35	24.31	4.22	0.48	0.56	5.26	2.70	1.25	0.64	53.86	27.65
11年目	R 19	0.9922	0.9800	0.9935	0.9932	0.4936	103.0	34.87	5.89	6.24	47.01	23.20	4.19	0.48	0.56	5.22	2.58	1.24	0.61	53.47	26.39
12年目	R 20	0.9921	0.9800	0.9935	0.9932	0.4746	103.0	34.60	5.83	6.23	46.66	22.15	4.15	0.47	0.56	5.18	2.46	1.23	0.59	53.08	25.19
13年目	R 21	0.9921	0.9800	0.9935	0.9932	0.4504	103.0	34.33	5.77	6.22	46.32	21.14	4.12	0.47	0.56	5.15	2.35	1.22	0.56	52.69	24.05
14年目	R 22	0.9920	0.9800	0.9935	0.9932	0.4388	103.0	34.06	5.71	6.22	45.98	20.18	4.09	0.46	0.56	5.11	2.24	1.22	0.53	52.31	22.95
15年目	R 23	0.9919	0.9800	0.9935	0.9932	0.4220	103.0	33.79	5.64	6.21	45.64	19.26	4.06	0.46	0.56	5.07	2.14	1.21	0.51	51.92	21.91
16年目	R 24	0.9919	0.9800	0.9935	0.9932	0.4057	103.0	33.52	5.58	6.20	45.30	18.38	4.02	0.45	0.56	5.03	2.04	1.20	0.49	51.53	20.91
17年目	R 25	0.9918	0.9800	0.9935	0.9932	0.3901	103.0	33.25	5.52	6.19	44.96	17.54	3.99	0.45	0.56	4.99	1.95	1.19	0.46	51.14	19.95
18年目	R 26	0.9918	0.9800	0.9935	0.9932	0.3751	103.0	32.98	5.46	6.18	44.62	16.74	3.96	0.44	0.56	4.95	1.86	1.18	0.44	50.75	19.04
19年目	R 27	0.9917	0.9800	0.9935	0.9932	0.3607	103.0	32.71	5.40	6.17	44.28	15.97	3.93	0.44	0.55	4.92	1.77	1.17	0.42	50.36	18.17
20年目	R 28	0.9916	0.9800	0.9935	0.9932	0.3468	103.0	32.44	5.34	6.16	43.93	15.24	3.89	0.43	0.55	4.88	1.69	1.16	0.40	49.97	17.33
21年目	R 29	0.9915	0.9800	0.9935	0.9932	0.3325	103.0	32.17	5.28	6.15	43.59	14.54	3.86	0.43	0.55	4.84	1.61	1.15	0.38	49.59	16.54
22年目	R 30	0.9915	0.9800	0.9935	0.9932	0.3187	103.0	31.90	5.22	6.14	43.25	13.87	3.83	0.42	0.55	4.80	1.54	1.15	0.37	49.20	15.78
23年目	R 31	0.9914	0.9800	0.9935	0.9932	0.3063	103.0	31.63	5.16	6.13	42.91	13.23	3.80	0.42	0.55	4.76	1.47	1.14	0.35	48.81	15.05
24年目	R 32	0.9913	0.9800	0.9935	0.9932	0.2965	103.0	31.36	5.10	6.12	42.57	12.62	3.76	0.41	0.55	4.72	1.40	1.13	0.33	48.42	14.36
25年目	R 33	0.9913	0.9800	0.9935	0.9932	0.2851	103.0	31.09	5.04	6.11	42.23	12.04	3.73	0.41	0.55	4.69	1.34	1.12	0.32	48.03	13.69
26年目	R 34	0.9912	0.9800	0.9935	0.9932	0.2741	103.0	30.82	4.97	6.10	41.89	11.48	3.70	0.40	0.55	4.65	1.27	1.11	0.30	47.65	13.06
27年目	R 35	0.9911	0.9800	0.9935	0.9932	0.2636	103.0	30.55	4.91	6.09	41.55	10.95	3.67	0.40	0.55	4.61	1.22	1.10	0.29	47.26	12.46
28年目	R 36	0.9911	0.9800	0.9935	0.9932	0.2544	103.0	30.28	4.85	6.08	41.21	10.44	3.63	0.39	0.55	4.57	1.16	1.09	0.28	46.87	11.88
29年目	R 37	0.9910	0.9800	0.9935	0.9932	0.2457	103.0	30.01	4.79	6.07	40.87	9.96	3.60	0.39	0.54	4.53	1.10	1.08	0.26	46.49	11.33
30年目	R 38	0.9909	0.9800	0.9935	0.9932	0.2343	103.0	29.74	4.73	6.06	40.53	9.50	3.57	0.38	0.54	4.50	1.05	1.08	0.25	46.10	10.80
31年目	R 39	0.9909	0.9800	0.9935	0.9932	0.2253	103.0	29.47	4.67	6.05	40.19	9.05	3.54	0.38	0.54	4.46	1.00	1.07	0.24	45.71	10.30
32年目	R 40	0.9908	0.9800	0.9935	0.9932	0.2166	103.0	29.20	4.61	6.04	39.85	8.63	3.50	0.37	0.54	4.42	0.96	1.06	0.23	45.33	9.82
33年目	R 41	0.9907	0.9800	0.9935	0.9932	0.2083	103.0	28.93	4.55	6.03	39.51	8.23	3.47	0.37	0.54	4.38	0.91	1.05	0.22	44.95	9.36
34年目	R 42	0.9907	0.9800	0.9935	0.9932	0.2003	103.0	28.67	4.49	6.02	39.18	7.85	3.44	0.36	0.54	4.34	0.87	1.04	0.21	44.56	8.93
35年目	R 43	0.9906	0.9800	0.9935	0.9932	0.1926	103.0	28.40	4.43	6.01	38.84	7.48	3.41	0.36	0.54	4.31	0.83	1.03	0.20	44.18	8.51
36年目	R 44	0.9906	0.9800	0.9935	0.9932	0.1852	103.0	28.13	4.38	6.00	38.51	7.13	3.38	0.35	0.54	4.27	0.79	1.02	0.19	43.80	8.11
37年目	R 45	0.9905	0.9800	0.9935	0.9932	0.1780	103.0	27.87	4.32	5.99	38.17	6.80	3.34	0.35	0.54	4.23	0.75	1.02	0.18	43.42	7.73
38年目	R 46	0.9904	0.9800	0.9935	0.9932	0.1712	103.0	27.60	4.26	5.98	37.84	6.48	3.31	0.34	0.54	4.19	0.72	1.01	0.17	43.04	7.37
39年目	R 47	0.9903	0.9800	0.9935	0.9932	0.1646	103.0	27.34	4.20	5.97	37.51	6.17	3.28	0.34	0.54	4.16	0.68	1.00	0.16	42.66	7.02
40年目	R 48	0.9902	0.9800	0.9935	0.9932	0.1583	103.0	27.08	4.14	5.96	37.18	5.88	3.25	0.33	0.54	4.12	0.65	0.99	0.16	42.28	6.69
41年目	R 49	0.9902	0.9800	0.9935	0.9932	0.1522	103.0	26.81	4.08	5.95	36.84	5.61	3.22	0.33	0.53	4.08	0.62	0.98	0.15	41.91	6.38
42年目	R 50	0.9901	0.9800	0.9935	0.9932	0.1463	103.0	26.55	4.03	5.94	36.52	5.34	3.19	0.33	0.53	4.05	0.59	0.97	0.14	41.53	6.08
43年目	R 51	0.9900	0.9800	0.9935	0.9932	0.1407	103.0	26.29	3.97	5.93	36.19	5.09	3.16	0.32	0.53	4.01	0.56	0.96	0.14	41.16	5.79
44年目	R 52	0.9900	0.9800	0.9935	0.9932	0.1353	103.0	26.03	3.91	5.92	35.86	4.85	3.12	0.32	0.53	3.97	0.54	0.96	0.13	40.79	5.52
45年目	R 53	0.9899	0.9800	0.9935	0.9932	0.1301	103.0	25.77	3.86	5.91	35.53	4.62	3.09	0.31	0.53	3.94	0.51	0.95	0.12	40.42	5.26
46年目	R 54	0.9898	0.9800	0.9935	0.9932	0.1251	103.0	25.51	3.80	5.90	35.21	4.40	3.06	0.31	0.53	3.90	0.49	0.94	0.12	40.05	5.01
47年目	R 55	0.9898	0.9800	0.9935	0.9932	0.1203	103.0	25.25	3.74	5.89	34.88	4.20	3.03	0.30	0.53	3.86	0.46	0.93	0.11	39.68	4.77
48年目	R 56	0.9897	0.9800	0.9935	0.9932	0.1157	103.0	25.00	3.69	5.88	34.56	4.00	3.00	0.30	0.53	3.83	0.44	0.92	0.11	39.31	4.55
49年目	R 57	0.9896	0.9800	0.9935	0.9932	0.1112	103.0	24.74	3.63	5.87	34.24	3.81	2.97	0.29	0.53	3.79	0.42	0.91	0.10	38.94	4.33
合計								1,469.83	239.78	295.70	2,006.31	684.92	177.36	19.50	28.40	225.27	77.86	52.84	17.90	2,284.42	780.68

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	御殿場バイパス(西区間)	4	4.3km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					26,605	
	改良費				11,825	
		土工	m ³	863,095	8,118	切土、盛土、破碎
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	80,936	269	切土法面、盛土法面、土羽土、張芝
		擁壁工	式	1	1,415	重力式擁壁、プレキャストL型擁壁、補強土壁等
		管渠工	m			
		函渠工	m	301	341	
		排水工	m	40,208	1,328	
		調整池工	式	1	228	
		中央分離帯工	m	3,270	125	
		雑工	式			
	橋梁費				12,717	
		100m以上	m	1,920	11,194	連続高架橋
		100m未満	m	295	1,524	
		その他橋梁	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,283	
		車道舗装	m ²	204,772	1,283	
		その他舗装	m ²			
	付帯施設費				192	
		交通管理施設工	式	1	192	通信管路工、防護柵工、案内標識、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工				589	
		仮設工	式	1	589	
②用地及補償費					3,985	
	用地費		m ²	254,824	3,051	
		宅地	m ²	22,693	1,137	
		田畑	m ²	71,828	1,202	
		山林・原野	m ²	160,303	713	
		その他	m ²			
	補償費		式		934	
③間接経費			式		3,209	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					33,800	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	御殿場バイパス(西区間)	2~4	4.3km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	4.3	1,146	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	6,552	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,698	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	御殿場バイパス(西区間)	4	4.3km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					12,246	
	改良費				6,341	
		土工	m ³	476,615	4,285	切土、盛土、破碎
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	80,936	269	切土法面、盛土法面、土羽土、張芝
		擁壁工	式	1	287	重力式擁壁、プレキャストL型擁壁、補強土壁等
		管渠工	m			
		函渠工	m			
		排水工	m	34,708	1,146	
		調整池工	式	1	228	
		中央分離帯工	m	3,270	125	
		雑工	式			
	橋梁費				4,342	
		100m以上	m	1,920	3,822	連続高架橋
		100m未満	m	295	520	
		その他橋梁	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,283	
		車道舗装	m ²	204,772	1,283	
		その他舗装	m ²			
	付帯施設費				192	
		交通管理施設工	式	1	192	通信管路工、防護柵工、案内標識、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工				89	
		仮設工	式	1	89	
②用地及補償費						
	用地費		m ²			
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費		式			
③間接経費			式		675	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					12,921	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	御殿場バイパス(西区間)	2~4	4.3km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	4.3	1,146	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	6,552	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,698	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）（原案）

担当課：

担当課長名：

事業名	一般国道302号名古屋環状2号線		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局	
起終点	自：愛知県名古屋市中川区富田町 至：愛知県名古屋市中川区富田町			延長	58.6 km		
事業概要							
一般国道302号名古屋環状2号線は、愛知県名古屋市中川区富田町から愛知県名古屋市中川区富田町に至る延長58.6km（海上部除く）の道路です。							
本事業は、環状道路及びその内側地域での交通渋滞の緩和を図るとともに、名古屋港に集まる物流の効率化の支援等を目的に計画された道路です。							
S46年度事業化		S57年度都市計画決定		S46年度用地着手		S48年度工事着手	
全体事業費	5,769億円		事業進捗率 (平成31年3月末時点)	約94%		供用済延長	58.6km
計画交通量							
32,000台/日							
費用対効果分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年	
	(事業全体) 2.2	(残事業)/ (事業全体) 349/16,073億円		(残事業)/ (事業全体) 1,054/35,058億円		令和元年	
	(残事業) 3.0	事業費：299/15,512億円 維持管理費：50/562億円		走行時間短縮便益：936/32,258億円 走行経費減少便益：105/2,577億円 交通事故減少便益：13/223億円			
感度分析の結果							
(事業全体) 交通量：B/C=2.0~2.4(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.7~3.3(交通量±10%)							
事業費：B/C=2.2~2.2(事業費±10%) 事業費：B/C=2.8~3.3(事業費±10%)							
事業期間：B/C=2.2~2.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.8~3.2(事業期間±20%)							
事業の効果等							
①円滑なモビリティの確保							
・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。							
・現道における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上以上の踏切道（甚目寺6号、新清洲7号、喜多山2号）の除却が見込まれる。							
・バス路線の利便性向上が見込まれる。							
②物流効率化の支援							
・国際拠点港湾（名古屋港）へのアクセス向上が見込まれる。							
③都市の再生							
・都市再生プロジェクト（第2次決定、平成13年8月28日 大都市圏における環状道路体系の整備）を支援する。							
・広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路（広域道路）を形成する。							
・区画整理（茶屋新田土地区画整理事業、松河戸地区土地区画整理事業）と連携する。							
④個性ある地域の形成							
・主要な観光地（農業文化園・戸田川緑地）へのアクセス向上が見込まれる。							
⑤無電柱化による美しい町並みの形成							
・一般国道302号全線が無電柱化の対象となっている。							
⑥災害への備え							
・愛知県地域防災計画における、第1次緊急輸送道路として位置づけられている。							
・緊急輸送道路（名古屋第二環状自動車道）が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。							
⑦地球環境の保全							
・CO2排出量の削減が見込まれる。							
⑧生活環境の改善・保全							
・NO2排出量の削減が見込まれる。							
・SPM排出量の削減が見込まれる。							

⑨他のプロジェクトとの関係

・関連する大規模道路事業（近畿自動車道伊勢線名古屋環状2号線（名古屋西～飛島））と一体的に整備する必要がある。

関係する地方公共団体等の意見

愛知県知事の意見：

「対応方針（原案）」に対して、異議はありません。

名古屋環状2号線は、国際物流・交流拠点である名古屋港への重要なアクセス道路であり、西南部・南部区間の完成によって名古屋都市圏の環状道路としての機能が最大限に発揮される。そのため、名古屋環状2号線（専用部）の一日も早い全線開通に向け、さらに整備を加速するとともに、一般国道302号の全線4車線化及び電線共同溝の整備を推進すること。

なお、事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められたい。

名古屋市長の意見：

- 1 「対応方針（原案）」に対して異議は、ありません。
- 2 当該道路は、名古屋圏の環状道路を形成し、名古屋都心部に集中する交通を適切に分散導入する重要な道路であるため、一日も早い4車線化をお願いします。
- 3 事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・環状道路の内側及び国道302号の交通混雑
- ・物流交通が多い名古屋港と愛知県北部方面を結ぶ物流ネットワークの強化が必要
- ・新たな市街地形成の支援

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は約94%。用地取得率は100%。（平成31年3月時点）
- ・春日井市勝川町～名古屋市守山区喜多山（延長5.0km）は、名鉄瀬戸線の立体化に向けた仮線工事を推進。
- ・あま市甚目寺～清須市一場（延長5.2km）は、名鉄本線、名鉄津島線の立体化に向けた関係機関協議を推進。
- ・海部郡飛島村梅之郷～名古屋市港区春田野（延長4.2km）は、改良工、橋梁上部工等の工事を推進。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・春日井市勝川町～名古屋市守山区喜多山（延長5.0km）は、ボトルネックとなる1箇所の踏切の立体化を進めるとともに4車線化整備を進めていく。
- ・あま市甚目寺～清須市一場（延長5.2km）は、ボトルネックとなる2箇所の踏切の立体化を進めるとともに4車線化整備を進めていく。
- ・海部郡飛島村梅之郷～名古屋市港区春田野（延長4.2km）は、専用部（近畿自動車道伊勢線）の整備と併せて4車線化整備を進めていく。

施設の構造や工法の変更等

- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

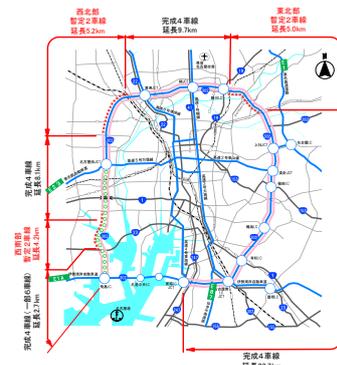
以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



凡例	
—	一般国道302号(開 通 済) 名古屋環状2号線
.....	" (事 業 中)
○○○○	近 畿 自 動 車 道 伊 勢 線
—	有 料 道 路
---	有 料 道 路 (事 業 中)
—	一 般 国 道

今回評価事業



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道302号 名古屋環状2号線
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	指標	指標チャエックの根拠
事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全体：費用便益比(B/C)=2.2 経済的埋没在価値(B-O)=18,985億円 経済的内部収益率(EIRR)=6.2% 残事業：費用便益比(B/C)=3.0 経済的埋没在価値(B-O)=704億円 経済的内部収益率(EIRR)=11.3%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チャエックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<p>■ 現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率</p> <p>□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される</p> <p>■ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上かつ踏切道の除却もしくは交通改善が期待される</p> <p>■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する</p> <p>□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>国際航点港湾(旧特定重要港湾)：名古屋港⇄国道1号からの直交差点(2.4分→1.8分 6分短縮見込み)</p> <p>□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる</p> <p>□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISG規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する</p>	<p>区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況)：34,559万人・時間/年 渋滞損失削減時間：134万人・時間/年(34,559万人・時間/年⇒31,000万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について ：(一般国道302号名古屋環状2号線 海部郡飛島村梅之郷～名古屋守山区春田野) ：(一般国道302号名古屋環状2号線 あま市草井幸～清須市一坊) ：(一般国道302号名古屋環状2号線 春日井市勝川町～名古屋守山区葦多山) 当該区間の渋滞損失削減時間：19万人・時間/年(257万人・時間/年⇒238万人・時間/年) 当該区間の渋滞損失削減率：約1割削減</p> <p>名古屋市堂バス7系統：中村12、高畑14、高畑17、東海11、東海12、春田11、南陽巡回 飛島公共交通バス</p>
都市の再生	<p>■ 都市再生プロジェクトを支援する事業である</p> <p>都市再生プロジェクト(第2次決定、平成13年8月28日 大都市圏における環状道路体系の整備)</p> <p>■ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する</p> <p>計画名：広域道路整備基本計画、計画策定主体：愛知県、計画における位置づけ等：広域道路</p> <p>■ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり</p> <p>連携のある市街地再開発、区画整理等：茶屋新田土地区画整理事業、松河戸地区土地区画整理事業</p> <p>□ 中心市街地内で行う事業である</p>	

	<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A路線)としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短时间内で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンポルの道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である <input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/2h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される <input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	<p>アクセス向上が期待される観光地名：農業文化園・戸田川緑地 年間観光客入り込み数：1,075,147人 (H29観光レクリエーション利用統計)</p>
国土・地域ネットワークの構築		
個性ある地域の形成		
2. 暮らし		
歩行者・自転車 のための生活空間の形成		
無電柱化による 美しい町並みの 形成		<p>道路法第37条に基づく占有の禁止又は制限区域としての位置づけあり。 一般国道302号：名古屋市中川区富田町大字江松～名古屋市中川区富田町大字江松(59.0km)</p>
安全で安心でき るくらしの確保		

3. 安全	<p>安全な生活環境の確保</p> <p>災害への備え</p>	<p><input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合には、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる</p> <p><input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量が100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量が50人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される</p> <p><input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、稲道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある。又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大層な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p> <p><input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検必要対策箇所もしくは架設の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する</p> <p><input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量</p>	<p>計画名：愛知県地域防災計画、計画における位置付け：第1次緊急輸送道路</p> <p>緊急輸送道路である名古屋第二環状自動車道が通行止めになった場合の代替路線を形成</p>
4. 環境	<p>地球環境の保全</p> <p>生活環境の改善・保全</p>	<p><input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのCO2排出量</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率</p>	<p>（現況） 自動車NOx、PM法対策地域指定の別：対象地域を含む（名古屋市、飛島村、大治町、あま市、清須市、春日井市、大府市、東海市） （推計結果） 評価対象区間（並行区間）：（主）名古屋中環状線（名古屋市守山区幸心三丁目～名古屋市守山区大森） 排出削減量：4.0t/年、排出削減率：約3割削減</p> <p>（現況） 自動車NOx、PM法対策地域指定の別：対象地域を含む（名古屋市、飛島村、大治町、あま市、清須市、春日井市、大府市、東海市） （推計結果） 評価対象区間（並行区間）：（主）名古屋中環状線（名古屋市守山区幸心三丁目～名古屋市守山区大森） 排出削減量：0.2t/年、排出削減率：約3割削減</p>
5. その他	<p>他のプロジェクトとの関係</p>	<p><input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある</p> <p><input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される</p> <p><input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p><input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p><input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p>	<p>近隣自動車道伊勢線名古屋環状2号線（名古屋西～飛島）との一体整備が必要</p>

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道３０２号	名古屋環状２号線	L=58.6km	新設	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
32,000	4	中部地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和元年度		
単純合計	5,611億円	952億円	6,563億円
うち残事業分	335億円	160億円	495億円
基準年における 現在価値（C）	15,512億円	562億円	16,073億円
うち残事業分	299億円	50億円	349億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和元年度			
供用年	平成２３年度			
単年便益 (初年便益)	1,031億円	81億円	7.0億円	1,119億円
基準年における 現在価値（B）	32,258億円	2,577億円	223億円	35,058億円
うち残事業分	936億円	105億円	13億円	1,054億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	2.2
経済的純現在価値（事業全体）	18,985億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.2%
費用便益比（残事業）	3.0
経済的純現在価値（残事業）	704億円
経済的内部収益率（残事業）	11.3%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	32,000台/日	±10%	2.0~2.4
事業費	5,611億円	±10%	2.2~2.2
事業期間	57年	±20%	2.2~2.2

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	32,000台/日	±10%	2.7~3.3
事業費	335億円	±10%	2.8~3.3
事業期間	8年	±20%	2.8~3.2

交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道302号名古屋環状2号線（事業全体）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 改築区間：58.6km	交通量 ^{※1}	[台/日]	-	32,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	-	133	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	-	812.59	
②主な周辺道路 ^{※4}	(主)名古屋中環状線 50.3km	交通量	[台/日]	20,400	16,900
		走行時間	[分]	166	141
		走行時間費用	[億円/年]	600.27	406.85
	一般国道155号 75.4km	交通量	[台/日]	26,000	25,000
		走行時間	[分]	188	186
		走行時間費用	[億円/年]	872.19	826.76
	(主)名古屋環状線 28.0km	交通量	[台/日]	32,600	30,400
		走行時間	[分]	63	62
		走行時間費用	[億円/年]	359.74	331.71
	東名高速道路 53.1km	交通量	[台/日]	67,400	64,600
		走行時間	[分]	35	35
		走行時間費用	[億円/年]	468.46	450.28
	(一)田名古屋線 9.1km	交通量	[台/日]	24,400	18,800
		走行時間	[分]	38	33
		走行時間費用	[億円/年]	187.78	116.68
	一般国道247号 12.7km	交通量	[台/日]	38,700	37,300
		走行時間	[分]	31	31
		走行時間費用	[億円/年]	212.85	197.47
	(主)名古屋長久手線 17.2km	交通量	[台/日]	35,700	31,000
		走行時間	[分]	45	45
		走行時間費用	[億円/年]	314.88	262.80
(主)諸輪名古屋線 17.6km	交通量	[台/日]	23,600	22,400	
	走行時間	[分]	48	46	
	走行時間費用	[億円/年]	223.82	198.23	
③その他道路合計 7.673.2km	走行時間費用	[億円/年]	45,955.66	44,449.60	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：7.995.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	49,195.65	48,052.97	1,142.68

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道302号名古屋環状2号線（残事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 改築区間：58.6km	交通量 ^{※1}	[台/日]	27,100	32,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	143	133	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	715.76	812.59	
②主な周辺道路 ^{※4}	(主)名古屋中環状線 4.3km	交通量	[台/日]	12,100	9,000
		走行時間	[分]	14	12
		走行時間費用	[億円/年]	30.24	19.52
	一般国道23号 13.7km	交通量	[台/日]	61,000	57,300
		走行時間	[分]	25	24
		走行時間費用	[億円/年]	336.43	297.99
	(主)一宮蟹江線 12.3km	交通量	[台/日]	26,900	25,600
		走行時間	[分]	30	30
		走行時間費用	[億円/年]	157.96	147.52
③その他道路合計 7906.3km	走行時間費用	[億円/年]	46,877.39	46,775.35	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：7,995.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	48,117.78	48,052.97	64.81

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：一般国道302号 名古屋環状2号線

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和元年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 () % 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 () 日 採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する <input type="checkbox"/> とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する 場合のみ		採用した冬期日数 () 日 採用した冬期日数の考え方を記載		
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名:一般国道302号 名古屋環状2号線

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
	その他			
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道302号 名古屋環状2号線 (事業全体)				維持修繕費の単純価値の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)		延長(km)	
				0.38		58.6	
				22.03			
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-40年目	S 46	6.5705	48.5	3.70	51.65		
-39年目	S 47	6.3178	51.8	11.00	138.30		
-38年目	S 48	6.0748	59.6	20.00	209.96		
-37年目	S 49	5.8412	71.1	17.30	146.44		
-36年目	S 50	5.6165	75.2	40.20	309.36		
-35年目	S 51	5.4005	81.5	70.70	482.55		
-34年目	S 52	5.1928	86.4	90.70	561.37		
-33年目	S 53	4.9931	90.0	118.80	678.51		
-32年目	S 54	4.8010	92.4	155.40	831.78		
-31年目	S 55	4.6164	98.2	142.85	691.38		
-30年目	S 56	4.4388	100.7	131.20	595.41		
-29年目	S 57	4.2681	101.9	120.58	520.30		
-28年目	S 58	4.1039	102.9	92.18	378.65		
-27年目	S 59	3.9461	105.0	145.00	561.55		
-26年目	S 60	3.7943	105.7	162.70	601.30		
-25年目	S 61	3.6484	107.6	166.70	582.37		
-24年目	S 62	3.5081	107.3	197.70	665.51		
-23年目	S 63	3.3731	107.9	193.10	621.73		
-22年目	H 1	3.2434	110.8	186.09	561.33		
-21年目	H 2	3.1187	113.3	222.84	632.06		
-20年目	H 3	2.9987	116.0	178.98	476.64		
-19年目	H 4	2.8834	117.6	210.72	532.27		
-18年目	H 5	2.7725	117.9	222.55	538.98		
-17年目	H 6	2.6658	117.8	188.73	439.91		
-16年目	H 7	2.5633	117.1	257.33	580.18		
-15年目	H 8	2.4647	116.6	185.79	404.51		
-14年目	H 9	2.3699	117.5	192.17	399.23		
-13年目	H 10	2.2788	116.9	116.92	234.76		
-12年目	H 11	2.1911	115.2	49.27	96.51		
-11年目	H 12	2.1068	113.8	37.41	71.34		
-10年目	H 13	2.0258	112.4	53.09	98.55		
-9年目	H 14	1.9479	110.5	46.41	84.26		
-8年目	H 15	1.8730	109.0	20.57	36.41		
-7年目	H 16	1.8009	107.9	71.36	122.69		
-6年目	H 17	1.7317	106.7	105.22	175.89		
-5年目	H 18	1.6651	105.9	157.41	254.93		
-4年目	H 19	1.6010	105.0	130.07	204.29		
-3年目	H 20	1.5395	104.4	130.14	197.65		
-2年目	H 21	1.4802	103.0	150.76	223.16		
-1年目	H 22	1.4233	101.3	127.49	184.50		
供用開始年次	H 23	1.3686	99.8	43.71	61.74	17.11	23.42
1年目	H 24	1.3159	99.0	10.87	14.88	17.11	22.52
2年目	H 25	1.2653	99.0	16.88	22.22	17.11	21.65
3年目	H 26	1.2167	101.5	65.22	80.53	17.11	20.82
4年目	H 27	1.1699	103.0	57.30	67.03	17.11	20.02
5年目	H 28	1.1249	102.8	60.16	67.81	17.11	19.25
6年目	H 29	1.0816	103.0	29.85	32.29	17.11	18.51
7年目	H 30	1.0400	103.0	38.56	40.10	17.11	17.80
基準年	R 1	1.0000	103.0	31.91	31.91	17.11	17.11
9年目	R 2	0.9615	103.0	103.24	99.27	17.11	16.45
10年目	R 3	0.9246	103.0	71.08	65.72	17.11	15.82
11年目	R 4	0.8890	103.0	56.36	50.10	17.11	15.21
12年目	R 5	0.8548	103.0	33.96	29.03	17.11	14.63
13年目	R 6	0.8219	103.0	20.54	16.88	17.11	14.06
14年目	R 7	0.7903	103.0	20.96	16.56	17.11	13.52
15年目	R 8	0.7599	103.0	12.46	9.47	17.11	13.00
16年目	R 9	0.7307	103.0	16.51	12.06	17.11	12.50
17年目	R 10	0.7026	103.0			20.03	14.07
18年目	R 11	0.6756	103.0			20.03	13.53
19年目	R 12	0.6496	103.0			20.03	13.01
20年目	R 13	0.6246	103.0			20.03	12.51
21年目	R 14	0.6006	103.0			20.03	12.03
22年目	R 15	0.5775	103.0			20.03	11.57
23年目	R 16	0.5553	103.0			20.03	11.12
24年目	R 17	0.5339	103.0			20.03	10.69
25年目	R 18	0.5134	103.0			20.03	10.28
26年目	R 19	0.4936	103.0			20.03	9.89
27年目	R 20	0.4746	103.0			20.03	9.51
28年目	R 21	0.4564	103.0			20.03	9.14
29年目	R 22	0.4388	103.0			20.03	8.79
30年目	R 23	0.4220	103.0			20.03	8.45
31年目	R 24	0.4057	103.0			20.03	8.13
32年目	R 25	0.3901	103.0			20.03	7.81
33年目	R 26	0.3751	103.0			20.03	7.51
34年目	R 27	0.3607	103.0			20.03	7.22
35年目	R 28	0.3468	103.0			20.03	6.95
36年目	R 29	0.3335	103.0			20.03	6.68
37年目	R 30	0.3207	103.0			20.03	6.42
38年目	R 31	0.3083	103.0			20.03	6.17
39年目	R 32	0.2965	103.0			20.03	5.94
40年目	R 33	0.2851	103.0			20.03	5.71
41年目	R 34	0.2741	103.0			20.03	5.49
42年目	R 35	0.2636	103.0			20.03	5.28
43年目	R 36	0.2534	103.0			20.03	5.08
44年目	R 37	0.2437	103.0			20.03	4.88
45年目	R 38	0.2343	103.0			20.03	4.69
46年目	R 39	0.2253	103.0			20.03	4.51
47年目	R 40	0.2166	103.0			20.03	4.34
48年目	R 41	0.2083	103.0			20.03	4.17
49年目	R 42	0.2003	103.0	-1918.65	-384.26	20.03	4.01
合計				3692.06	15511.52	951.81	561.87
単純事業費計				5610.71		951.81	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道302号 名古屋環状2号線 (残事業)				維持修繕費の単統基準の算出(消費税相当額含む)		
				単価 (億円)	延長 (km)	単統価値 (億円)
				0.24	14.4	3.52
年度	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費 (億円)		維持管理費 (億円)
				単統価値	現在価値	単統価値
						現在価値
-57年度	S 48	6.5705	48.5			
-56年度	S 47	6.3178	51.8			
-55年度	S 48	6.0748	59.6			
-54年度	S 49	5.8412	71.1			
-53年度	S 50	5.6165	75.2			
-52年度	S 51	5.4005	81.5			
-51年度	S 52	5.1928	86.4			
-50年度	S 53	4.9931	90.0			
-49年度	S 54	4.8010	92.4			
-48年度	S 55	4.6164	98.2			
-47年度	S 56	4.4388	100.7			
-46年度	S 57	4.2681	101.9			
-45年度	S 58	4.1039	102.9			
-44年度	S 59	3.9461	105.0			
-43年度	S 60	3.7943	105.7			
-42年度	S 61	3.6484	107.6			
-41年度	S 62	3.5081	107.3			
-40年度	S 63	3.3731	107.9			
-39年度	H 1	3.2434	110.8			
-38年度	H 2	3.1187	113.3			
-37年度	H 3	2.9987	116.0			
-36年度	H 4	2.8834	117.6			
-35年度	H 5	2.7725	117.9			
-34年度	H 6	2.6658	117.8			
-33年度	H 7	2.5633	117.1			
-32年度	H 8	2.4647	116.6			
-31年度	H 9	2.3699	117.5			
-30年度	H 10	2.2788	116.9			
-29年度	H 11	2.1911	115.2			
-28年度	H 12	2.1068	113.8			
-27年度	H 13	2.0258	112.4			
-26年度	H 14	1.9479	110.5			
-25年度	H 15	1.8730	109.0			
-24年度	H 16	1.8009	107.9			
-23年度	H 17	1.7317	106.7			
-22年度	H 18	1.6651	105.9			
-21年度	H 19	1.6010	105.0			
-20年度	H 20	1.5395	104.4			
-19年度	H 21	1.4802	103.0			
-18年度	H 22	1.4233	101.3			
-17年度	H 23	1.3686	99.8			
-16年度	H 24	1.3159	99.0			
-15年度	H 25	1.2653	99.0			
-14年度	H 26	1.2167	101.5			
-13年度	H 27	1.1699	103.0			
-12年度	H 28	1.1249	102.8			
-11年度	H 29	1.0816	103.0			
-10年度	H 30	1.0400	103.0			
基準年	R 1	1.0000	103.0			
-8年度	R 2	0.9615	103.0	103.24	99.27	
-7年度	R 3	0.9246	103.0	71.08	65.72	
-6年度	R 4	0.8890	103.0	56.36	50.10	
-5年度	R 5	0.8548	103.0	33.96	29.03	
-4年度	R 6	0.8219	103.0	20.54	16.88	
-3年度	R 7	0.7903	103.0	20.96	16.56	
-2年度	R 8	0.7599	103.0	12.46	9.47	
-1年度	R 9	0.7307	103.0	16.51	12.06	
供用開始年度	R 10	0.7026	103.0			3.20
1年度	R 11	0.6756	103.0			3.20
2年度	R 12	0.6496	103.0			3.20
3年度	R 13	0.6246	103.0			3.20
4年度	R 14	0.6006	103.0			3.20
5年度	R 15	0.5775	103.0			3.20
6年度	R 16	0.5553	103.0			3.20
7年度	R 17	0.5339	103.0			3.20
8年度	R 18	0.5134	103.0			3.20
9年度	R 19	0.4936	103.0			3.20
10年度	R 20	0.4746	103.0			3.20
11年度	R 21	0.4564	103.0			3.20
12年度	R 22	0.4388	103.0			3.20
13年度	R 23	0.4220	103.0			3.20
14年度	R 24	0.4057	103.0			3.20
15年度	R 25	0.3901	103.0			3.20
16年度	R 26	0.3751	103.0			3.20
17年度	R 27	0.3607	103.0			3.20
18年度	R 28	0.3468	103.0			3.20
19年度	R 29	0.3335	103.0			3.20
20年度	R 30	0.3207	103.0			3.20
21年度	R 31	0.3083	103.0			3.20
22年度	R 32	0.2965	103.0			3.20
23年度	R 33	0.2851	103.0			3.20
24年度	R 34	0.2741	103.0			3.20
25年度	R 35	0.2636	103.0			3.20
26年度	R 36	0.2534	103.0			3.20
27年度	R 37	0.2437	103.0			3.20
28年度	R 38	0.2343	103.0			3.20
29年度	R 39	0.2253	103.0			3.20
30年度	R 40	0.2166	103.0			3.20
31年度	R 41	0.2083	103.0			3.20
32年度	R 42	0.2003	103.0			3.20
33年度	R 43	0.1926	103.0			3.20
34年度	R 44	0.1852	103.0			3.20
35年度	R 45	0.1780	103.0			3.20
36年度	R 46	0.1712	103.0			3.20
37年度	R 47	0.1646	103.0			3.20
38年度	R 48	0.1583	103.0			3.20
39年度	R 49	0.1522	103.0			3.20
40年度	R 50	0.1463	103.0			3.20
41年度	R 51	0.1407	103.0			3.20
42年度	R 52	0.1353	103.0			3.20
43年度	R 53	0.1301	103.0			3.20
44年度	R 54	0.1251	103.0			3.20
45年度	R 55	0.1203	103.0			3.20
46年度	R 56	0.1157	103.0			3.20
47年度	R 57	0.1112	103.0			3.20
48年度	R 58	0.1069	103.0			3.20
49年度	R 59	0.1028	103.0			3.20
合計				335.10	299.09	160.19
単統事業費計				335.10		160.19

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道302号 名古屋環状2号線（事業全体）

年次 (基準年)	年度 R1	総走行台枠の年次別伸び率 (東海ブロック)			割引率 (A)	GDP ↑フロー	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				現在価値			合 計 (億円)			
		乗用車	小型貨物	普通貨物			全 車	乗用車	小型貨物	普通貨物	計	① × (A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	計	② × (A)	③ × (A)	現在価値 ①~③	現在価値 割引率4%	
供用開始年次	H 23	1.01638	1.00908	1.03151	1.01723	1.3886	99.8	691.10	150.39	188.98	1,031.07	1,411.09	49.15	7.57	24.00	80.72	110.47	9.58	1,118.79	1,531.14	
1年目	H 24	1.00202	0.99477	1.01669	1.00285	1.3159	99.0	702.42	152.36	194.93	1,049.72	1,381.36	49.96	7.63	24.76	82.35	108.36	7.12	1,139.19	1,499.09	
2年目	H 25	0.99321	0.98598	1.00752	0.99403	1.2653	99.0	703.83	151.57	198.19	1,063.59	1,333.13	50.06	7.60	25.17	82.82	104.79	7.14	1,143.55	1,446.96	
3年目	H 26	1.00520	0.99785	1.01946	1.00603	1.2167	101.5	699.05	149.44	199.68	1,048.17	1,275.26	49.72	7.49	25.36	82.56	100.45	7.10	1,137.84	1,384.35	
4年目	H 27	0.99380	0.98648	1.00768	0.99462	1.1699	103.0	702.69	149.12	203.56	1,085.38	1,234.64	49.98	7.47	25.85	83.30	97.45	7.14	1,145.82	1,340.44	
5年目	H 28	0.99533	0.98796	1.00920	0.99615	1.1249	102.8	698.33	147.11	205.31	1,050.56	1,181.74	49.67	7.37	26.05	83.09	93.46	7.10	1,140.75	1,283.19	
6年目	H 29	0.99689	0.98947	1.01040	0.99771	1.0816	103.0	695.07	145.33	206.98	1,047.38	1,132.85	49.43	7.28	26.29	83.00	89.77	7.08	1,137.46	1,230.28	
7年目	H 30	0.99768	0.99020	1.01100	0.99849	1.0400	103.0	692.91	143.30	209.13	1,045.84	1,087.68	49.28	7.21	26.56	83.04	86.37	7.06	1,135.95	1,181.39	
8年目	R 1	0.99993	0.99239	1.01309	1.00075	1.0000	103.0	691.30	142.39	211.43	1,045.12	1,045.12	49.17	7.14	26.85	83.15	83.15	7.05	1,135.32	1,135.32	
9年目	R 2	0.99967	0.98675	1.00862	0.99911	0.9615	103.0	691.25	141.31	214.20	1,046.76	1,006.50	49.16	7.08	27.20	83.45	80.24	7.05	1,137.26	1,093.52	
10年目	R 3	0.99967	0.98657	1.00855	0.99911	0.9246	103.0	691.03	139.44	216.05	1,046.51	967.56	49.15	6.99	27.44	83.57	77.27	7.05	1,137.13	1,051.34	
11年目	R 4	0.99967	0.98639	1.00847	0.99911	0.8890	103.0	690.80	137.57	217.89	1,046.26	930.12	49.13	6.89	27.67	83.69	74.40	7.04	1,137.00	1,010.79	
12年目	R 5	0.99967	0.98620	1.00840	0.99911	0.8548	103.0	690.58	135.69	219.74	1,046.01	894.13	49.11	6.80	27.91	83.82	71.65	7.04	1,136.87	971.80	
13年目	R 6	0.99967	0.98601	1.00833	0.99911	0.8219	103.0	690.35	133.82	221.58	1,045.76	859.54	49.10	6.71	28.14	83.94	69.00	7.03	1,136.73	934.31	
14年目	R 7	0.99967	0.98581	1.00826	0.99910	0.7903	103.0	690.13	131.95	223.43	1,045.51	826.28	49.08	6.61	28.37	84.07	66.44	7.02	1,136.60	898.27	
15年目	R 8	0.99967	0.98561	1.00820	0.99910	0.7599	103.0	689.90	130.08	225.28	1,045.26	794.31	49.07	6.52	28.61	84.19	63.98	7.02	1,136.47	863.62	
16年目	R 9	0.99967	0.98540	1.00813	0.99910	0.7307	103.0	689.68	128.20	227.12	1,045.01	763.58	49.05	6.42	28.84	84.32	61.61	7.01	1,136.34	830.31	
17年目	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7026	103.0	744.57	139.01	259.52	1,143.10	803.13	51.81	7.10	32.03	90.94	63.89	8.15	1,242.18	872.74	
18年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.6766	103.0	744.33	136.95	261.61	1,142.89	772.09	51.79	6.99	32.29	91.07	61.52	8.14	1,242.10	839.12	
19年目	R 12	0.99967	0.98476	1.00793	0.99910	0.6496	103.0	744.09	134.89	263.70	1,142.68	742.26	51.77	6.89	32.55	91.21	59.25	8.13	1,242.02	806.79	
20年目	R 13	0.99967	0.98456	1.00786	0.99910	0.6246	103.0	738.61	133.58	263.29	1,135.49	709.22	51.39	6.82	32.50	90.71	56.66	8.08	1,234.28	770.93	
21年目	R 14	0.99967	0.98436	1.00779	0.99910	0.6006	103.0	733.14	132.28	262.88	1,128.30	677.63	51.01	6.76	32.44	90.21	54.18	8.03	1,226.54	736.63	
22年目	R 15	0.99967	0.98416	1.00772	0.99910	0.5775	103.0	727.66	130.98	262.46	1,121.11	647.41	50.63	6.69	32.39	89.71	51.81	7.97	1,218.79	703.82	
23年目	R 16	0.99967	0.98397	1.00765	0.99910	0.5553	103.0	722.19	129.68	262.05	1,113.92	618.52	50.25	6.62	32.34	89.21	49.54	7.92	1,211.05	672.45	
24年目	R 17	0.99967	0.98378	1.00758	0.99910	0.5339	103.0	716.71	128.38	261.64	1,106.73	590.89	49.87	6.56	32.29	88.72	47.37	7.86	1,203.31	642.46	
25年目	R 18	0.99967	0.98359	1.00751	0.99910	0.5134	103.0	711.24	127.08	261.22	1,099.54	564.48	49.49	6.49	32.24	88.22	45.29	7.81	1,195.57	613.77	
26年目	R 19	0.99967	0.98340	1.00744	0.99910	0.4936	103.0	705.76	125.78	260.81	1,092.35	539.22	49.11	6.42	32.19	87.72	43.30	7.75	1,187.82	586.34	
27年目	R 20	0.99967	0.98321	1.00737	0.99910	0.4746	103.0	700.29	124.48	260.40	1,085.16	515.06	48.73	6.36	32.14	87.22	41.40	7.70	1,180.08	560.12	
28年目	R 21	0.99967	0.98302	1.00730	0.99910	0.4564	103.0	694.81	123.18	259.98	1,077.97	491.97	48.34	6.29	32.09	86.72	39.58	7.64	1,172.34	535.04	
29年目	R 22	0.99967	0.98283	1.00723	0.99910	0.4388	103.0	689.34	121.87	259.57	1,070.78	469.90	47.96	6.22	32.04	86.22	37.84	7.59	1,164.60	511.06	
30年目	R 23	0.99967	0.98264	1.00716	0.99910	0.4220	103.0	683.86	120.57	259.16	1,063.59	448.79	47.58	6.16	31.99	85.73	36.17	7.53	1,156.85	488.14	
31年目	R 24	0.99967	0.98245	1.00709	0.99910	0.4057	103.0	678.39	119.27	258.74	1,056.40	428.61	47.20	6.09	31.93	85.23	34.58	7.48	1,149.11	466.22	
32年目	R 25	0.99967	0.98226	1.00702	0.99910	0.3901	103.0	672.91	117.97	258.33	1,049.22	409.32	46.82	6.02	31.88	84.73	33.05	7.43	1,141.37	445.27	
33年目	R 26	0.99967	0.98207	1.00695	0.99910	0.3751	103.0	667.44	116.67	257.92	1,042.03	390.88	46.44	5.96	31.83	84.23	31.60	7.37	1,133.63	425.24	
34年目	R 27	0.99967	0.98188	1.00688	0.99910	0.3607	103.0	661.96	115.37	257.50	1,034.84	373.25	46.06	5.89	31.78	83.73	30.20	7.32	1,125.88	406.09	
35年目	R 28	0.99967	0.98169	1.00681	0.99910	0.3468	103.0	656.49	114.07	257.09	1,027.65	356.40	45.68	5.83	31.73	83.23	28.79	7.26	1,118.14	387.79	
36年目	R 29	0.99967	0.98150	1.00674	0.99910	0.3335	103.0	651.01	112.77	256.68	1,020.46	340.30	45.30	5.76	31.68	82.73	27.59	7.21	1,110.40	370.29	
37年目	R 30	0.99967	0.98131	1.00667	0.99910	0.3207	103.0	645.54	111.46	256.26	1,013.27	324.91	44.92	5.69	31.63	82.24	26.37	7.15	1,102.66	353.57	
38年目	R 31	0.99967	0.98112	1.00660	0.99910	0.3083	103.0	640.06	110.16	255.85	1,006.08	310.19	44.54	5.63	31.58	81.74	25.20	7.10	1,094.91	337.58	
39年目	R 32	0.99967	0.98093	1.00653	0.99910	0.2965	103.0	634.59	108.86	255.44	998.89	296.13	44.15	5.56	31.53	81.24	24.08	7.04	1,087.17	322.30	
40年目	R 33	0.99967	0.98074	1.00646	0.99910	0.2851	103.0	629.12	107.56	255.02	991.71	282.69	43.77	5.49	31.47	80.74	23.02	6.99	1,079.44	307.70	
41年目	R 34	0.99967	0.98055	1.00639	0.99910	0.2741	103.0	623.66	106.27	254.61	984.54	269.86	43.39	5.43	31.42	80.24	21.99	6.93	1,071.72	293.75	
42年目	R 35	0.99967	0.98036	1.00632	0.99910	0.2634	103.0	618.21	104.98	254.20	977.39	257.59	43.02	5.36	31.37	79.75	21.02	6.88	1,064.02	280.42	
43年目	R 36	0.99967	0.98017	1.00625	0.99910	0.2536	103.0	612.76	103.69	253.78	970.25	245.88	42.64	5.30	31.32	79.25	20.08	6.83	1,056.33	267.69	
44年目	R 37	0.99967	0.98000	1.00618	0.99910	0.2437	103.0	607.35	102.41	253.37	963.12	234.68	42.26	5.23	31.27	78.76	19.19	6.77	1,048.66	255.52	
45年目	R 38	0.99967	0.98000	1.00618	0.99910	0.2343	103.0	601.93	101.13	252.96	956.01	223.99	41.88	5.16	31.22	78.27	18.34	6.72	1,041.00	243.90	
46年目	R 39	0.99967	0.98000	1.00618	0.99910	0.2253	103.0	596.52	99.85	252.55	948.92	213.78	41.51	5.10	31.17	77.77	17.52	6.66	1,033.36	232.80	
47年目	R 40	0.99967	0.98000	1.00618	0.99910	0.2166	103.0	591.13	98.58	252.13	941.84	204.02	41.13	5.03	31.12	77.28	16.74	6.61	1,025.74	222.20	
48年目	R 41	0.99967	0.98000	1.00618	0.99910	0.2083	103.0	585.75	97.32	251.72	934.78	194.71	40.76	4.97	31.07	76.79	16.00	6.56	1,018.13	212.07	
49年目	R 42	0.99967	0.98000	1.00618	0.99910	0.2003	103.0	580.38	96.06	251.31	927.74	185.81	40.38	4.91	31.02	76.30	15.28	6.50	1,010.55	202.39	
合 計								33,812.3	6,263.4	12,087.1	52,162.7	32,258.5	2,370.83	317.54	1,504.59	4,192.96	2,577.37	363.18	222.53	56,718.84	35,058.36

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道302号名古屋環状2号線（残事業）

年次	年度 (基準年)	総走行台社の年次別伸び率 (乗換70%)			割引率 (A)	GDP 千円/年	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計(億円)		
		乗用車	小型貨物	普通貨物			全車	乗用車	小型貨物	普通貨物	計	①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	計	②×(A)	現在価値 (A)×②	現在価値 (A)×③
供用開始年次	R 10	0.99867	0.98518	1.00806	0.99910	0.7026	103.0	31.67	7.90	25.09	64.66	45.43	2.70	0.69	3.72	7.11	5.00	72.68	51.06
1年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00806	0.99910	0.7156	103.0	31.66	7.78	25.29	64.73	43.73	2.70	0.68	3.75	7.13	4.82	72.77	49.16
2年目	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6486	103.0	31.65	7.67	25.49	64.81	42.10	2.70	0.67	3.78	7.15	4.64	72.86	47.33
3年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6246	103.0	31.42	7.59	25.45	64.46	40.26	2.68	0.67	3.71	7.12	4.45	72.48	45.27
4年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6006	103.0	31.18	7.52	25.41	64.11	38.50	2.66	0.66	3.76	7.09	4.26	72.09	43.30
5年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.5775	103.0	30.95	7.45	25.37	63.77	36.82	2.64	0.65	3.76	7.05	4.07	71.71	41.41
6年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5553	103.0	30.72	7.37	25.33	63.42	35.21	2.62	0.65	3.75	7.02	3.90	71.32	39.60
7年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5339	103.0	30.48	7.30	25.29	63.07	33.68	2.60	0.64	3.75	6.96	3.73	70.94	37.87
8年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5134	103.0	30.25	7.22	25.25	62.73	32.20	2.58	0.63	3.74	6.93	3.57	70.55	36.22
9年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.4936	103.0	30.02	7.15	25.21	62.38	30.79	2.56	0.63	3.74	6.92	3.42	70.17	34.64
10年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4746	103.0	29.79	7.08	25.17	62.03	29.44	2.54	0.62	3.73	6.89	3.27	69.78	33.12
11年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4564	103.0	29.55	7.00	25.13	61.69	28.15	2.52	0.61	3.72	6.86	3.13	69.39	31.67
12年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99840	0.99281	0.4388	103.0	29.32	6.93	25.09	61.34	26.92	2.50	0.61	3.72	6.83	3.00	69.01	30.28
13年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4220	103.0	29.09	6.85	25.05	60.99	25.74	2.48	0.60	3.71	6.79	2.87	68.62	28.96
14年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4057	103.0	28.85	6.78	25.01	60.65	24.61	2.46	0.59	3.71	6.76	2.74	68.24	27.69
15年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.3901	103.0	28.62	6.71	24.97	60.30	23.52	2.44	0.59	3.70	6.73	2.63	67.85	26.47
16年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3751	103.0	28.39	6.63	24.93	59.95	22.49	2.42	0.58	3.69	6.70	2.51	67.47	25.31
17年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3607	103.0	28.16	6.56	24.89	59.61	21.50	2.40	0.57	3.69	6.67	2.40	67.08	24.20
18年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3468	103.0	27.92	6.48	24.85	59.26	20.55	2.38	0.57	3.68	6.63	2.30	66.70	23.13
19年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3335	103.0	27.69	6.41	24.81	58.91	19.65	2.36	0.56	3.68	6.60	2.20	66.31	22.11
20年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3207	103.0	27.46	6.34	24.77	58.56	18.78	2.34	0.56	3.67	6.57	2.11	65.93	21.14
21年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3083	103.0	27.22	6.26	24.73	58.22	17.95	2.32	0.55	3.66	6.54	2.02	65.54	20.21
22年目	R 32	0.99139	0.98808	0.99838	0.99226	0.2965	103.0	26.99	6.19	24.69	57.87	17.16	2.30	0.54	3.66	6.50	1.93	65.16	19.32
23年目	R 33	0.99132	0.98796	0.99838	0.99221	0.2851	103.0	26.76	6.11	24.65	57.52	16.40	2.28	0.54	3.65	6.47	1.84	64.77	18.46
24年目	R 34	0.99126	0.98785	0.99838	0.99216	0.2741	103.0	26.53	6.04	24.61	57.18	15.67	2.26	0.53	3.65	6.44	1.77	64.39	17.65
25年目	R 35	0.99120	0.98773	0.99837	0.99211	0.2636	103.0	26.30	5.97	24.57	56.83	14.98	2.24	0.52	3.64	6.41	1.69	64.01	16.87
26年目	R 36	0.99114	0.98762	0.99837	0.99206	0.2534	103.0	26.06	5.89	24.53	56.49	14.32	2.22	0.52	3.63	6.38	1.62	63.62	16.12
27年目	R 37	0.99108	0.98751	0.99837	0.99202	0.2437	103.0	25.83	5.82	24.49	56.15	13.68	2.20	0.51	3.63	6.34	1.55	63.24	15.41
28年目	R 38	0.99102	0.98739	0.99837	0.99197	0.2343	103.0	25.60	5.75	24.45	55.80	13.07	2.18	0.50	3.62	6.31	1.48	62.86	14.73
29年目	R 39	0.99096	0.98728	0.99837	0.99192	0.2253	103.0	25.37	5.68	24.41	55.46	12.49	2.17	0.50	3.62	6.28	1.41	62.48	14.08
30年目	R 40	0.99090	0.98717	0.99836	0.99187	0.2166	103.0	25.14	5.60	24.37	55.12	11.94	2.15	0.49	3.61	6.25	1.35	62.10	13.45
31年目	R 41	0.99083	0.98705	0.99836	0.99182	0.2083	103.0	24.91	5.53	24.33	54.78	11.41	2.13	0.48	3.61	6.22	1.29	61.72	12.86
32年目	R 42	0.99077	0.98694	0.99836	0.99177	0.2003	103.0	24.69	5.46	24.29	54.44	10.90	2.11	0.48	3.60	6.18	1.24	61.35	12.29
33年目	R 43	0.99071	0.98683	0.99836	0.99172	0.1926	103.0	24.46	5.39	24.25	54.10	10.42	2.09	0.47	3.59	6.15	1.18	60.97	11.74
34年目	R 44	0.99065	0.98671	0.99835	0.99167	0.1852	103.0	24.23	5.32	24.21	53.76	9.95	2.07	0.47	3.59	6.12	1.13	60.59	11.22
35年目	R 45	0.99059	0.98660	0.99835	0.99162	0.1780	103.0	24.00	5.25	24.17	53.42	9.51	2.05	0.46	3.58	6.09	1.08	60.22	10.72
36年目	R 46	0.99053	0.98649	0.99835	0.99157	0.1710	103.0	23.78	5.18	24.13	53.09	9.09	2.03	0.45	3.58	6.06	1.04	59.85	10.25
37年目	R 47	0.99047	0.98637	0.99835	0.99152	0.1646	103.0	23.55	5.11	24.09	52.75	8.68	2.01	0.45	3.57	6.03	0.99	59.47	9.79
38年目	R 48	0.99041	0.98626	0.99834	0.99147	0.1583	103.0	23.33	5.04	24.05	52.42	8.30	1.99	0.44	3.56	6.00	0.95	59.10	9.35
39年目	R 49	0.99035	0.98615	0.99834	0.99142	0.1522	103.0	23.11	4.97	24.01	52.09	7.93	1.97	0.44	3.56	5.97	0.91	58.73	8.94
40年目	R 50	0.99028	0.98603	0.99834	0.99137	0.1463	103.0	22.88	4.90	23.97	51.75	7.57	1.95	0.43	3.55	5.93	0.87	58.36	8.54
41年目	R 51	0.99022	0.98592	0.99834	0.99132	0.1407	103.0	22.66	4.83	23.93	51.42	7.24	1.93	0.42	3.55	5.90	0.83	58.00	8.16
42年目	R 52	0.99016	0.98581	0.99834	0.99127	0.1353	103.0	22.44	4.76	23.89	51.09	6.91	1.91	0.42	3.54	5.87	0.79	57.63	7.80
43年目	R 53	0.99010	0.98569	0.99833	0.99122	0.1301	103.0	22.22	4.70	23.85	50.77	6.60	1.90	0.41	3.53	5.84	0.76	57.27	7.45
44年目	R 54	0.99004	0.98558	0.99833	0.99117	0.1251	103.0	22.00	4.63	23.81	50.44	6.31	1.88	0.41	3.53	5.81	0.73	56.90	7.12
45年目	R 55	0.98998	0.98546	0.99833	0.99112	0.1203	103.0	21.78	4.56	23.77	50.11	6.03	1.86	0.40	3.52	5.78	0.70	56.54	6.80
46年目	R 56	0.98992	0.98535	0.99833	0.99107	0.1157	103.0	21.56	4.50	23.73	49.79	5.76	1.84	0.40	3.52	5.75	0.67	56.18	6.50
47年目	R 57	0.98986	0.98524	0.99832	0.99102	0.1112	103.0	21.34	4.43	23.69	49.47	5.50	1.82	0.39	3.51	5.72	0.64	55.82	6.21
48年目	R 58	0.98980	0.98512	0.99832	0.99097	0.1069	103.0	21.13	4.36	23.66	49.15	5.26	1.80	0.38	3.50	5.69	0.61	55.47	5.93
49年目	R 59	0.98973	0.98501	0.99832	0.99092	0.1028	103.0	20.91	4.30	23.62	48.83	5.02	1.78	0.38	3.50	5.66	0.58	55.11	5.67
合計								1,321.63	301.25	1,228.86	2,851.74	936.13	112.79	26.40	182.08	321.27	104.65	1,211.41	1,053.55

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道302号	名古屋環状2号線	4	58.6km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					312,191	
	改良費				185,470	
		土工	式	1	150,276	切土・盛土・残土処理
		軟弱地盤改良工	m3	967,239	11,075	安定処理
		法面工	m ²	93,939	30	植生工
		擁壁工	式	1	3,469	L型擁壁、U型擁壁、重力式擁壁、逆T式擁壁等
		管渠工	m	65,880	3,585	
		函渠工	m	2,102	5,180	
		排水工	m	246,030	4,385	
		中央分離帯工	m	58,560	286	
		雑工	式	1	7,184	共同溝
	橋梁費				68,547	
		100m以上	m	15,009	58,387	連続高架橋36橋
		100m未満	m	4,940	10,160	橋梁48橋、歩道橋69橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				9,255	
		IC	箇所	22	9,255	
		JCT	箇所			
	舗装費				30,019	
		車道舗装	m ²	1,907,074	28,123	
		歩道舗装	m ²	451,236	1,896	
	付帯施設費				18,900	
		交通管理施設工	式	1	1,432	防護柵工等
		遮音壁	m	18,674	17,468	
②用地及補償費					202,227	
	用地費		m ²	2,533,032	191,865	
		宅地	m ²	486,864	48,432	
		田畑	m ²	308,101	24,374	
		山林・原野	m ²	1,094,803	72,320	
		その他	m ²	643,264	46,739	
	補償費		式	1	10,362	
③間接経費					62,482	調査設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					576,900	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道302号	名古屋環状2号線	4	58.6km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	58.6	14,516	
修繕費	式	1	90,177	
その他	式			
維持管理費合計			104,693	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道302号	名古屋環状2号線	4	58.6km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					33,967	
	改良費				14,237	
		土工	式	1	4,952	切土・盛土・残土処理
		軟弱地盤改良工	m3	118,400	414	安定処理
		法面工	m ²	15,700	4	植生工
		擁壁工	式	1	1,043	L型擁壁、U型擁壁、重力式擁壁、逆T式擁壁等
		管渠工	m			
		函渠工	m	37	486	
		排水工	m	32,974	384	
		中央分離帯工	m			
		雑工	式	1	6,954	共同溝
	橋梁費				13,520	
		100m以上	m	5,798	12,978	連続高架橋6橋
		100m未満	m	301	542	橋梁2橋、歩道橋3橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				2,427	
		車道舗装	m ²	319,114	2,295	
		歩道舗装	m ²	33,610	132	
	付帯施設費				3,783	
		交通管理施設工	式	1	978	防護柵等
		遮音壁	m	8,942	2,805	
②用地及補償費					543	
	用地費		m ²			
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費		式		543	
③間接経費						
			式	1	2,351	調査設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					36,861	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道302号	名古屋環状2号線	4	14.4

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	14.4	3,500	
修繕費	式	1	14,100	
その他	式			
維持管理費合計			17,600	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）（原案）

担当課：
担当課長名：

事業名	一般国道1号 ひがしするがわんかんじょう ぬまづ おかのみや あしたか 東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：静岡県沼津市岡宮 至：静岡県沼津市東椎路				延長	2.6km
事業概要	<p>「東駿河湾環状道路（函南塚本～沼津岡宮）」と連続する一般国道1号東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）は、静岡県沼津市岡宮～静岡県沼津市東椎路までの延長2.6kmの自動車専用道路。沼津都市圏における現道1号や周辺の道路にまで及ぶ慢性的な渋滞の緩和、災害に強い緊急輸送ネットワークの構築を主な目的に計画された道路です。本道路の整備により、安心安全な道路ネットワークづくりや地域相互の広域的な連携強化を推進し、活気ある一体的な圏域作りを支援します。</p>					
H27年度事業化	S62年度都市計画決定	R1年度用地着手	工事未着手			
全体事業費	230億円	事業進捗率 (平成31年3月末時点)	約2%	供用済延長	0.0km	
計画交通量	16,200台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 1.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 178/187億円 事業費：164/172億円 維持管理費：14/14億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 292/292億円 走行時間短縮便益：239/239億円 走行経費減少便益：39/39億円 交通事故減少便益：14/14億円	基準年 令和元年		
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.5～1.6(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.6～1.6(交通量±10%) 事業費：B/C=1.4～1.7(事業費±10%) 事業費：B/C=1.5～1.8(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.5～1.6(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.5～1.7(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（富士急シティバス、東海バスオレンジシャトル、ミュールバス）が存在する。 <p>②個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点開発プロジェクト（ららぽーと沼津）へのアクセスを支援する。 ・主要な観光地（沼津市、三島市）へのアクセス向上が見込まれる。 <p>③安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次医療施設（沼津市立病院）へのアクセス向上が見込まれる。 <p>④災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）と並行する国道1号が第一次緊急輸送道路となっている。 ・第1次緊急輸送路の3路線（東名高速道路、新東名高速道路、国道1号）の代替路線として機能する。 <p>⑤地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる。 <p>⑥生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 <p>⑦他のプロジェクトとの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼津市道路整備プログラム（都市計画道路 東駿河湾環状道路）に位置づけあり。 					

関係する地方公共団体等の意見

静岡県知事の意見：

本事業は、沼津市岡宮から同市東椎路に至る区間の道路事業であり、東名高速道路や伊豆縦貫自動車道と接続する道路ネットワークを形成することにより、国道1号とその周辺道路の慢性的な渋滞の緩和及び交通事故の削減、災害時の救援活動の支援や、観光・物流産業の活性化といったストック効果が期待され、当該地域の発展に寄与する、大変重要な事業です。

効果の早期発現が図られるよう、引き続き必要な予算の確保とコスト縮減の徹底に努め、事業を推進するようお願いいたします。

なお、各年度の事業実施に当たっては、引き続き県と十分な調整をお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成28年3月19日に東名高速道路の愛鷹パーキングエリアにスマートインターチェンジが設置される。
- ・平成29年3月18日に新東名高速道路の駿河湾沼津サービスエリアにスマートインターチェンジが設置される。
- ・平成31年1月26日に伊豆縦貫自動車道（天城北道路）が暫定2車線で開通。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は約2%、用地取得率は0%。（平成31年3月末時点）
- ・令和元年度から用地着手

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・沼津岡宮～愛鷹間（延長2.6km）は早期開通に向けて整備を進めていく。

施設の構造や工法の変更等

- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

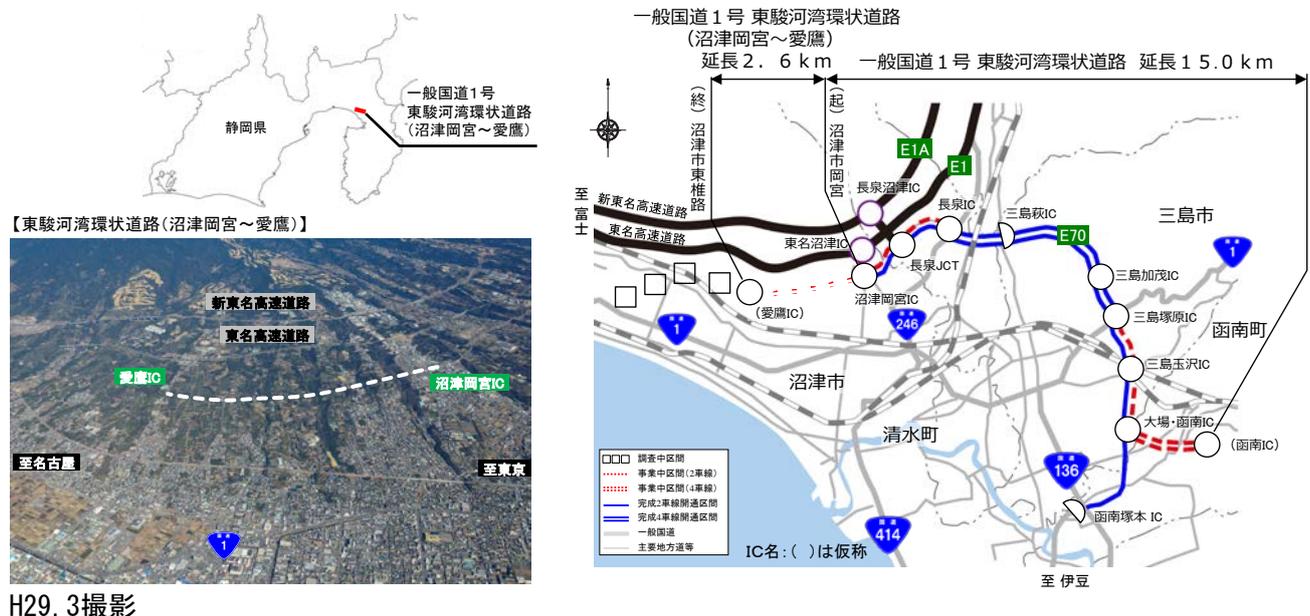
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道1号 東駿河湾環状道路 沼津岡宮～愛鷹
事業主体	中部地方整備局

■事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	<p>事業の効率性</p> <p>■ 便益が費用を上回っている</p>	<p>全体：費用便益比(B/C) = 1.6 経済的純現在価値(B-C) = 105億円 経済的内部収益率(EIRR) = 6.3%</p> <p>残事業：費用便益比(B/C) = 1.6 経済的純現在価値(B-C) = 113億円 経済的内部収益率(EIRR) = 6.6%</p>

■事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<p>■ 現運等の年間渋滞損失時間及び削減率</p> <p>■ 現運等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される</p> <p><input type="checkbox"/> 現運又は並行区間等における踏切交通運断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される</p> <p>■ 現運等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する</p> <p><input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上</p> <p><input type="checkbox"/> 現運等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり</p>	<p>期間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況)：22,563万人・時間/年 渋滞損失削減時間：111万人・時間/年(22,563万人・時間/年⇒22,452万人・時間/年) 並行区間の渋滞損失時間(現況)：403万人・時間/年 並行区間の渋滞損失削減時間：46万人・時間/年(403万人・時間/年⇒357万人・時間/年) 並行区間の渋滞損失削減率：約1割削減</p> <p>対象区間 国道1号(西椎路交差点～西熊堂交差点)、改善見込み(旅行速度16.8km/h⇒18.5km/h)等 ※平成27年 全国道路・街路交通情勢調査 上り線：混雑時旅行速度調査結果及び令和12年将来交通量配分結果を活用</p> <p>富士急シティバス、東海バスオレンジシャトル、ミューバス</p>
物流効率化の支援		
1. 活力		

	<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A路線)としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現運等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現運等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新種整備の公共公益施設へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンポル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である <input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 交通ハリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通ハリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにハリアフリー化される <input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史の風土・特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 現運等に死傷事故率が500件/億キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
国土・地域ネットワークの構築		
個性ある地域の形成		ららぽーと沼津(商業施設) 観光交流客数 沼津市：462万人(H29)、三島市：767万人(H29)
2. 暮らし	歩行者・自転車 のための生活空間の形成 無電柱化による 美しい町並みの 形成 安全で安心でき る暮らしの確保 安全な生活環境 の確保	
3. 安全		沼津市立病院(三次医療施設) 所要時間：24分⇒13分(三島塚原10→沼津市立病院間で約11分短縮)

	災害への備え	<p>当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される</p> <p><input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、新道府県地球防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p> <p><input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A 路線としての位置づけがある場合）</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する</p> <p><input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量</p>
4. 環境	地球環境の保全	CO2排出削減量：0.1万t/年
生活環境の改善・保全		<p>(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別NO2について環境基準を達成している測定局数の実績 (推計結果) 評価対象区間（並行区間）：（国道1号（上石田～市立病院南交差点間） 排出削減量：36.1t/年、排出削減率：約3割削減</p> <p>(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別SPMについて環境基準を達成している測定局数の実績 (推計結果) 評価対象区間（並行区間）：（国道1号（上石田～市立病院南交差点間） 排出削減量：2.2t/年、排出削減率：約3割削減</p> <p>国道1号（沼津市花園）：夜間騒音レベル69dB（要請限度70dB） 整備後：69dB→68.6dBに低下</p>
5. その他	他のプロジェクトの関係	<p><input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている</p> <p><input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p><input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p><input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p> <p>沼津市道路整備プログラム（都市計画道路 東駿河湾環状道路）に位置づけあり。</p>

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道1号	東駿河湾環状道路 沼津岡宮～愛鷹	L = 2.6 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
16,200	4	中部地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和元年度		
単純合計	213億円	50億円	262億円
うち残事業分	204億円	50億円	254億円
基準年における 現在価値 (C)	172億円	14億円	187億円
うち残事業分	164億円	14億円	178億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和元年度			
供用年	令和12年度			
単年便益 (初年便益)	19億円	3.0億円	1.1億円	23億円
基準年における 現在価値 (B)	239億円	39億円	14億円	292億円
うち残事業分	239億円	39億円	14億円	292億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.6
経済的純現在価値（事業全体）	105億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.3%
費用便益比（残事業）	1.6
経済的純現在価値（残事業）	113億円
経済的内部収益率（残事業）	6.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	16,200台/日	±10%	1.5 ~ 1.6
事業費	213億円	±10%	1.4 ~ 1.7
事業期間	15年	±20%	1.5 ~ 1.6

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	16,200台/日	±10%	1.6 ~ 1.6
事業費	204億円	±10%	1.5 ~ 1.8
事業期間	10年	±20%	1.5 ~ 1.7

交通状況の変化

様式-3①

事業名：東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）（事業全体）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 新設区間：2.6km	交通量 ^{※1}	[台/日]		16,200	
	走行時間 ^{※2}	[分]		2	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]		6.92	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道1号 ：3.9km	交通量	[台/日]	69,400	66,100
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	130.68	119.24
	(主)三島富士線 ：3.1km	交通量	[台/日]	8,100	7,000
		走行時間	[分]	24	21
		走行時間費用	[億円/年]	37.23	31.90
	(一)富士清水線 ：6.2km	交通量	[台/日]	10,200	9,700
		走行時間	[分]	19	18
		走行時間費用	[億円/年]	37.24	33.93
	(一)東柏原沼津線 ：4.0km	交通量	[台/日]	10,700	9,900
		走行時間	[分]	18	17
		走行時間費用	[億円/年]	34.43	30.31
③その他道路合計 ：1,787.8km	走行時間費用	[億円/年]	8,348.51	8,347.24	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,807.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	8,588.08	8,569.55	18.53

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）（残事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 新設区間：2.6km	交通量 ^{※1}	[台/日]		16,200	
	走行時間 ^{※2}	[分]		2	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]		6.92	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道1号 ：3.9km	交通量	[台/日]	69,400	66,100
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	130.68	119.24
	(主)三島富士線 ：3.1km	交通量	[台/日]	8,100	7,000
		走行時間	[分]	24	21
		走行時間費用	[億円/年]	37.23	31.90
	(一)富士清水線 ：6.2km	交通量	[台/日]	10,200	9,700
		走行時間	[分]	19	18
		走行時間費用	[億円/年]	37.24	33.93
	(一)東柏原沼津線 ：4.0km	交通量	[台/日]	10,700	9,900
		走行時間	[分]	18	17
		走行時間費用	[億円/年]	34.43	30.31
③その他道路合計 ：1,787.8km	走行時間費用	[億円/年]	8,348.51	8,347.24	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,807.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	8,588.08	8,569.55	18.53

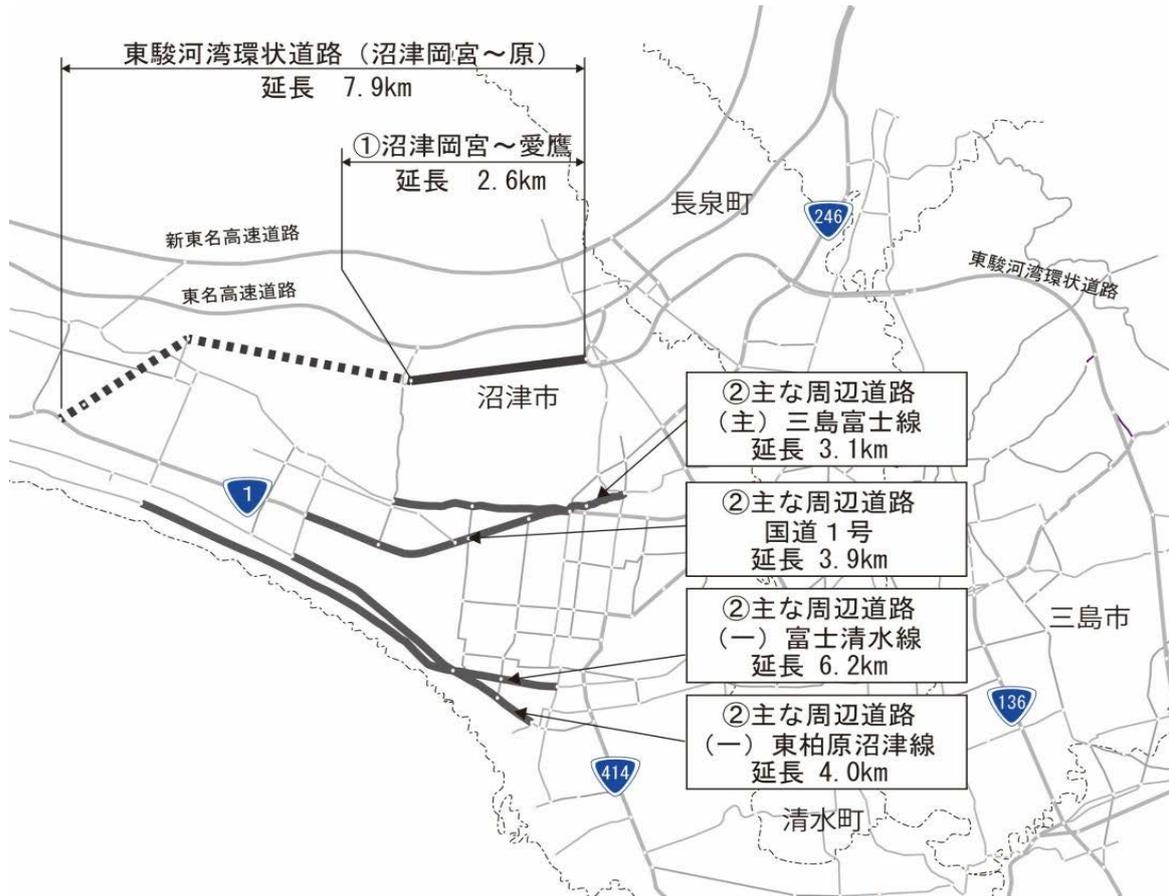
※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和元年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22ベース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	<input checked="" type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である
		山間部海岸部で併行道路が少ない
		その他()
速度設定の考え方	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

		項目	チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概算事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名：東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）				単価（億円）	延長（km）	単純単価（億円）	
（事業全体）				0.42	2.6	1.09	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-15年目	H 27	1.1699	103.0	0.46	0.54		
-14年目	H 28	1.1249	102.8	0.46	0.52		
-13年目	H 29	1.0816	103.0	1.39	1.50		
-12年目	H 30	1.0400	103.0	2.78	2.89		
基準年次	R 1	1.0000	103.0	3.19	3.19		
-10年目	R 2	0.9615	103.0	13.46	12.94		
-9年目	R 3	0.9246	103.0	14.50	13.40		
-8年目	R 4	0.8890	103.0	26.07	23.17		
-7年目	R 5	0.8548	103.0	30.77	26.30		
-6年目	R 6	0.8219	103.0	24.05	19.77		
-5年目	R 7	0.7903	103.0	26.00	20.55		
-4年目	R 8	0.7599	103.0	28.86	21.93		
-3年目	R 9	0.7307	103.0	31.71	23.17		
-2年目	R 10	0.7026	103.0	4.42	3.11		
-1年目	R 11	0.6756	103.0	4.42	2.99		
供用開始年次	R 12	0.6496	103.0			0.99	0.64
1年目	R 13	0.6246	103.0			0.99	0.62
2年目	R 14	0.6006	103.0			0.99	0.60
3年目	R 15	0.5775	103.0			0.99	0.57
4年目	R 16	0.5553	103.0			0.99	0.55
5年目	R 17	0.5339	103.0			0.99	0.53
6年目	R 18	0.5134	103.0			0.99	0.51
7年目	R 19	0.4936	103.0			0.99	0.49
8年目	R 20	0.4746	103.0			0.99	0.47
9年目	R 21	0.4564	103.0			0.99	0.45
10年目	R 22	0.4388	103.0			0.99	0.43
11年目	R 23	0.4220	103.0			0.99	0.42
12年目	R 24	0.4057	103.0			0.99	0.40
13年目	R 25	0.3901	103.0			0.99	0.39
14年目	R 26	0.3751	103.0			0.99	0.37
15年目	R 27	0.3607	103.0			0.99	0.36
16年目	R 28	0.3468	103.0			0.99	0.34
17年目	R 29	0.3335	103.0			0.99	0.33
18年目	R 30	0.3207	103.0			0.99	0.32
19年目	R 31	0.3083	103.0			0.99	0.31
20年目	R 32	0.2965	103.0			0.99	0.29
21年目	R 33	0.2851	103.0			0.99	0.28
22年目	R 34	0.2741	103.0			0.99	0.27
23年目	R 35	0.2636	103.0			0.99	0.26
24年目	R 36	0.2534	103.0			0.99	0.25
25年目	R 37	0.2437	103.0			0.99	0.24
26年目	R 38	0.2343	103.0			0.99	0.23
27年目	R 39	0.2253	103.0			0.99	0.22
28年目	R 40	0.2166	103.0			0.99	0.21
29年目	R 41	0.2083	103.0			0.99	0.21
30年目	R 42	0.2003	103.0			0.99	0.20
31年目	R 43	0.1926	103.0			0.99	0.19
32年目	R 44	0.1852	103.0			0.99	0.18
33年目	R 45	0.1780	103.0			0.99	0.18
34年目	R 46	0.1712	103.0			0.99	0.17
35年目	R 47	0.1646	103.0			0.99	0.16
36年目	R 48	0.1583	103.0			0.99	0.16
37年目	R 49	0.1522	103.0			0.99	0.15
38年目	R 50	0.1463	103.0			0.99	0.15
39年目	R 51	0.1407	103.0			0.99	0.14
40年目	R 52	0.1353	103.0			0.99	0.13
41年目	R 53	0.1301	103.0			0.99	0.13
42年目	R 54	0.1251	103.0			0.99	0.12
43年目	R 55	0.1203	103.0			0.99	0.12
44年目	R 56	0.1157	103.0			0.99	0.11
45年目	R 57	0.1112	103.0			0.99	0.11
46年目	R 58	0.1069	103.0			0.99	0.11
47年目	R 59	0.1028	103.0			0.99	0.10
48年目	R 60	0.0989	103.0			0.99	0.10
49年目	R 61	0.0951	103.0	-36.88	-3.51	0.99	0.09
合計				175.66	172.47	49.55	14.38
単純事業費計				212.54		49.55	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名：東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）				単価（億円）	延長（km）	単純単価（億円）	
（残事業）				0.42	2.6	1.09	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-15年目	H 27	1.1699	103.0				
-14年目	H 28	1.1249	102.8				
-13年目	H 29	1.0816	103.0				
-12年目	H 30	1.0400	103.0				
基準年次	R 1	1.0000	103.0				
-10年目	R 2	0.9615	103.0	13.46	12.94		
-9年目	R 3	0.9246	103.0	14.50	13.40		
-8年目	R 4	0.8890	103.0	26.07	23.17		
-7年目	R 5	0.8548	103.0	30.77	26.30		
-6年目	R 6	0.8219	103.0	24.05	19.77		
-5年目	R 7	0.7903	103.0	26.00	20.55		
-4年目	R 8	0.7599	103.0	28.86	21.93		
-3年目	R 9	0.7307	103.0	31.71	23.17		
-2年目	R 10	0.7026	103.0	4.42	3.11		
-1年目	R 11	0.6756	103.0	4.42	2.99		
供用開始年次	R 12	0.6496	103.0			0.99	0.64
1年目	R 13	0.6246	103.0			0.99	0.62
2年目	R 14	0.6006	103.0			0.99	0.60
3年目	R 15	0.5775	103.0			0.99	0.57
4年目	R 16	0.5553	103.0			0.99	0.55
5年目	R 17	0.5339	103.0			0.99	0.53
6年目	R 18	0.5134	103.0			0.99	0.51
7年目	R 19	0.4936	103.0			0.99	0.49
8年目	R 20	0.4746	103.0			0.99	0.47
9年目	R 21	0.4564	103.0			0.99	0.45
10年目	R 22	0.4388	103.0			0.99	0.43
11年目	R 23	0.4220	103.0			0.99	0.42
12年目	R 24	0.4057	103.0			0.99	0.40
13年目	R 25	0.3901	103.0			0.99	0.39
14年目	R 26	0.3751	103.0			0.99	0.37
15年目	R 27	0.3607	103.0			0.99	0.36
16年目	R 28	0.3468	103.0			0.99	0.34
17年目	R 29	0.3335	103.0			0.99	0.33
18年目	R 30	0.3207	103.0			0.99	0.32
19年目	R 31	0.3083	103.0			0.99	0.31
20年目	R 32	0.2965	103.0			0.99	0.29
21年目	R 33	0.2851	103.0			0.99	0.28
22年目	R 34	0.2741	103.0			0.99	0.27
23年目	R 35	0.2636	103.0			0.99	0.26
24年目	R 36	0.2534	103.0			0.99	0.25
25年目	R 37	0.2437	103.0			0.99	0.24
26年目	R 38	0.2343	103.0			0.99	0.23
27年目	R 39	0.2253	103.0			0.99	0.22
28年目	R 40	0.2166	103.0			0.99	0.21
29年目	R 41	0.2083	103.0			0.99	0.21
30年目	R 42	0.2003	103.0			0.99	0.20
31年目	R 43	0.1926	103.0			0.99	0.19
32年目	R 44	0.1852	103.0			0.99	0.18
33年目	R 45	0.1780	103.0			0.99	0.18
34年目	R 46	0.1712	103.0			0.99	0.17
35年目	R 47	0.1646	103.0			0.99	0.16
36年目	R 48	0.1583	103.0			0.99	0.16
37年目	R 49	0.1522	103.0			0.99	0.15
38年目	R 50	0.1463	103.0			0.99	0.15
39年目	R 51	0.1407	103.0			0.99	0.14
40年目	R 52	0.1353	103.0			0.99	0.13
41年目	R 53	0.1301	103.0			0.99	0.13
42年目	R 54	0.1251	103.0			0.99	0.12
43年目	R 55	0.1203	103.0			0.99	0.12
44年目	R 56	0.1157	103.0			0.99	0.11
45年目	R 57	0.1112	103.0			0.99	0.11
46年目	R 58	0.1069	103.0			0.99	0.11
47年目	R 59	0.1028	103.0			0.99	0.10
48年目	R 60	0.0989	103.0			0.99	0.10
49年目	R 61	0.0951	103.0	-36.78	-3.50	0.99	0.09
合計				167.48	163.83	49.55	14.38
単純事業費計				204.25		49.55	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

節所名：東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）（事業全体・残事業）

便益の現在価値算定表

年次 (基準年)	総走行台数の年次別伸び率 (東海7道)			GDP デフレーター	割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)			走行経費減少便益(億円)			事故減少便益(億円)		合計(億円)							
	乗用車類	小型貨物	普通貨物			現在価値 ① 計	現在価値 ② 計	現在価値 ③ 計	現在価値 ① × (A)	現在価値 ② × (A) × 2	現在価値 ③ × (A)	現在価値 ① × ③	現在価値 ② × ③								
供用開始年次	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6496	103.0	12.31	2.66	3.56	18.53	12.04	2.08	0.22	0.67	1.93	2.97	1.06	0.69	22.56	14.65
1年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6246	103.0	12.22	2.63	3.56	18.49	11.50	2.07	0.22	0.67	1.84	2.95	1.05	0.66	22.41	14.00
2年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6076	103.0	12.13	2.61	3.55	18.29	10.98	2.05	0.22	0.66	1.76	2.93	1.04	0.63	22.27	13.37
3年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.5916	103.0	12.04	2.58	3.54	18.16	10.49	2.04	0.22	0.66	1.68	2.92	1.04	0.60	22.12	12.77
4年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5753	103.0	11.95	2.56	3.54	18.04	10.02	2.02	0.21	0.66	1.61	2.90	1.03	0.57	21.97	12.20
5年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5599	103.0	11.86	2.53	3.53	17.92	9.57	2.01	0.21	0.66	1.54	2.88	1.02	0.55	21.82	11.65
6年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5434	103.0	11.77	2.51	3.53	17.80	9.14	1.99	0.21	0.66	1.47	2.86	1.02	0.52	21.68	11.13
7年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.5276	103.0	11.68	2.48	3.52	17.68	8.73	1.98	0.21	0.66	1.40	2.84	1.01	0.50	21.53	10.63
8年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.5119	103.0	11.59	2.45	3.52	17.56	8.33	1.96	0.21	0.66	1.34	2.82	1.00	0.48	21.38	10.15
9年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4964	103.0	11.49	2.43	3.51	17.43	7.96	1.95	0.20	0.66	1.28	2.81	0.99	0.45	21.23	9.69
10年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4808	103.0	11.40	2.40	3.51	17.31	7.60	1.93	0.20	0.66	1.22	2.79	0.99	0.43	21.09	9.25
11年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4652	103.0	11.31	2.38	3.50	17.19	7.25	1.91	0.20	0.65	1.17	2.77	0.98	0.41	20.94	8.84
12年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4507	103.0	11.22	2.35	3.49	17.07	6.93	1.90	0.20	0.65	1.12	2.75	0.97	0.39	20.79	8.44
13年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.4361	103.0	11.13	2.33	3.49	16.95	6.61	1.88	0.19	0.65	1.07	2.73	0.97	0.38	20.64	8.05
14年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.4215	103.0	11.04	2.30	3.48	16.82	6.31	1.87	0.19	0.65	1.02	2.71	0.96	0.36	20.50	7.69
15年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.4069	103.0	10.95	2.27	3.48	16.70	6.02	1.85	0.19	0.65	0.97	2.69	0.95	0.34	20.35	7.34
16年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3923	103.0	10.86	2.25	3.47	16.58	5.75	1.84	0.19	0.65	0.93	2.68	0.94	0.33	20.20	7.01
17年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3777	103.0	10.77	2.22	3.47	16.46	5.49	1.82	0.19	0.65	0.89	2.66	0.94	0.31	20.05	6.69
18年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3630	103.0	10.68	2.20	3.46	16.34	5.24	1.81	0.18	0.65	0.85	2.64	0.93	0.30	19.91	6.38
19年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3483	103.0	10.59	2.17	3.46	16.22	5.00	1.79	0.18	0.65	0.81	2.62	0.92	0.28	19.76	6.09
20年目	R 32	0.99138	0.98806	0.99838	0.99226	0.3336	103.0	10.50	2.15	3.45	16.09	4.77	1.78	0.18	0.65	0.77	2.60	0.92	0.27	19.61	5.81
21年目	R 33	0.99131	0.98794	0.99838	0.99220	0.3189	103.0	10.41	2.12	3.44	15.97	4.55	1.76	0.18	0.64	0.74	2.58	0.91	0.26	19.46	5.55
22年目	R 34	0.99124	0.98781	0.99838	0.99215	0.3042	103.0	10.32	2.09	3.44	15.85	4.34	1.75	0.18	0.64	0.70	2.56	0.90	0.25	19.32	5.29
23年目	R 35	0.99117	0.98768	0.99837	0.99209	0.2895	103.0	10.23	2.07	3.43	15.73	4.15	1.73	0.17	0.64	0.67	2.55	0.89	0.24	19.17	5.05
24年目	R 36	0.99111	0.98756	0.99837	0.99204	0.2748	103.0	10.14	2.04	3.43	15.61	3.96	1.72	0.17	0.64	0.64	2.53	0.88	0.22	19.02	4.82
25年目	R 37	0.99104	0.98743	0.99837	0.99198	0.2601	103.0	10.05	2.02	3.42	15.49	3.77	1.70	0.17	0.64	0.61	2.51	0.88	0.21	18.88	4.60
26年目	R 38	0.99097	0.98731	0.99837	0.99193	0.2454	103.0	9.96	1.99	3.42	15.37	3.60	1.68	0.17	0.64	0.58	2.49	0.87	0.20	18.73	4.39
27年目	R 39	0.99090	0.98718	0.99836	0.99187	0.2307	103.0	9.87	1.97	3.41	15.24	3.43	1.67	0.16	0.64	0.56	2.47	0.86	0.20	18.58	4.19
28年目	R 40	0.99083	0.98705	0.99836	0.99182	0.2160	103.0	9.78	1.94	3.40	15.12	3.28	1.65	0.16	0.64	0.53	2.45	0.86	0.19	18.44	3.99
29年目	R 41	0.99077	0.98693	0.99836	0.99176	0.2013	103.0	9.69	1.92	3.40	15.00	3.13	1.64	0.16	0.64	0.51	2.44	0.85	0.18	18.29	3.81
30年目	R 42	0.99070	0.98680	0.99836	0.99171	0.2003	103.0	9.60	1.89	3.39	14.88	2.98	1.62	0.16	0.63	0.48	2.42	0.85	0.17	18.15	3.63
31年目	R 43	0.99063	0.98668	0.99835	0.99165	0.1926	103.0	9.51	1.87	3.39	14.76	2.84	1.61	0.16	0.63	0.46	2.40	0.84	0.16	18.00	3.47
32年目	R 44	0.99056	0.98655	0.99835	0.99160	0.1852	103.0	9.42	1.84	3.38	14.64	2.71	1.59	0.15	0.63	0.44	2.38	0.83	0.15	17.86	3.31
33年目	R 45	0.99050	0.98642	0.99835	0.99154	0.1780	103.0	9.33	1.82	3.38	14.53	2.59	1.58	0.15	0.63	0.42	2.36	0.82	0.15	17.71	3.15
34年目	R 46	0.99043	0.98630	0.99835	0.99148	0.1712	103.0	9.24	1.79	3.37	14.41	2.47	1.56	0.15	0.63	0.40	2.34	0.82	0.14	17.57	3.01
35年目	R 47	0.99036	0.98617	0.99834	0.99143	0.1646	103.0	9.15	1.77	3.37	14.29	2.35	1.55	0.15	0.63	0.38	2.33	0.81	0.13	17.43	2.87
36年目	R 48	0.99029	0.98605	0.99834	0.99137	0.1583	103.0	9.07	1.74	3.36	14.17	2.24	1.53	0.15	0.63	0.37	2.31	0.80	0.13	17.28	2.74
37年目	R 49	0.99022	0.98592	0.99834	0.99132	0.1522	103.0	8.98	1.72	3.35	14.05	2.14	1.52	0.14	0.63	0.35	2.29	0.80	0.12	17.14	2.61
38年目	R 50	0.99016	0.98579	0.99834	0.99126	0.1463	103.0	8.89	1.70	3.35	13.93	2.04	1.50	0.14	0.63	0.33	2.27	0.79	0.12	17.00	2.49
39年目	R 51	0.99009	0.98567	0.99833	0.99121	0.1407	103.0	8.80	1.67	3.34	13.82	1.94	1.49	0.14	0.63	0.32	2.25	0.78	0.11	16.85	2.37
40年目	R 52	0.99002	0.98554	0.99833	0.99115	0.1353	103.0	8.71	1.65	3.34	13.70	1.85	1.47	0.14	0.62	0.30	2.24	0.78	0.11	16.71	2.26
41年目	R 53	0.98995	0.98541	0.99833	0.99110	0.1301	103.0	8.63	1.62	3.33	13.58	1.77	1.46	0.14	0.62	0.29	2.22	0.77	0.10	16.57	2.16
42年目	R 54	0.98988	0.98529	0.99832	0.99104	0.1251	103.0	8.54	1.60	3.33	13.47	1.68	1.45	0.13	0.62	0.28	2.20	0.76	0.10	16.43	2.06
43年目	R 55	0.98982	0.98516	0.99832	0.99099	0.1203	103.0	8.45	1.58	3.32	13.35	1.61	1.43	0.13	0.62	0.27	2.18	0.76	0.09	16.29	1.96
44年目	R 56	0.98975	0.98504	0.99832	0.99093	0.1157	103.0	8.37	1.55	3.32	13.24	1.53	1.42	0.13	0.62	0.25	2.17	0.75	0.09	16.15	1.87
45年目	R 57	0.98968	0.98491	0.99832	0.99088	0.1112	103.0	8.28	1.53	3.31	13.12	1.46	1.40	0.13	0.62	0.24	2.15	0.74	0.08	16.01	1.78
46年目	R 58	0.98961	0.98478	0.99831	0.99082	0.1069	103.0	8.20	1.51	3.30	13.01	1.39	1.39	0.13	0.62	0.23	2.13	0.73	0.08	15.88	1.70
47年目	R 59	0.98954	0.98466	0.99831	0.99077	0.1028	103.0	8.11	1.48	3.30	12.89	1.33	1.37	0.12	0.62	0.22	2.11	0.72	0.07	15.74	1.62
48年目	R 60	0.98948	0.98453	0.99831	0.99071	0.0989	103.0	8.03	1.46	3.29	12.78	1.26	1.36	0.12	0.62	0.21					

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道1号	東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)	4	2.6km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				15,721	
	改良費				9,414	
		土工	m ³	962,035	1,656	切土(380,159m ³)、盛土(217,140m ³)、捨土(364,736m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³		7,311	
		法面工	m ²	52,129	43	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	454	59	もたれ擁壁、逆T式擁壁、重力式擁壁
		管渠工	m	235	115	
		函渠工	m			
		排水工	m	8,176	229	
		調整池工	式			
		中央分離帯工	m			
		雑工	式	1,840	1	
	橋梁費				5,589	
		100m以上	m	511	5,049	連続高架橋
		100m未満	m	15	175	
		その他橋梁	m	1,351	365	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				617	
		車道舗装	m ²	46,293	470	
		その他舗装	m ²	4,578	148	
	付帯施設費				101	
		交通管理施設工	式	1	101	標識工、防護柵工
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工					
		仮設工	式			
②	用地及補償費				4,292	
	用地費		m ²		3,688	
		宅地	m ²	8,380	1,086	
		田畑	m ²	86,360	2,145	
		山林・原野	m ²	36,780	457	
		その他	m ²			
	補償費		式		604	
③	間接経費		式		2,987	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				23,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道1号	東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)	4	2.6km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	2.6	750	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,700	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			5,450	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道1号	東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)	4	2.6km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				15,721	
	改良費				9,414	
		土工	m ³	962,035	1,656	切土(380,159m ³)、盛土(217,140m ³)、捨土(364,736m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³		7,311	
		法面工	m ²	52,129	43	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	454	59	もたれ擁壁、逆T式擁壁、重力式擁壁
		管渠工	m	235	115	
		函渠工	m			
		排水工	m	8,176	229	
		調整池工	式			
		中央分離帯工	m			
		雑工	式	1,840	1	
	橋梁費				5,589	
		100m以上	m	511	5,049	連続高架橋
		100m未満	m	15	175	
		その他橋梁	m	1,351	365	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				617	
		車道舗装	m ²	46,293	470	
		その他舗装	m ²	4,578	148	
	付帯施設費				101	
		交通管理施設工	式	1	101	標識工、防護柵工
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工					
		仮設工	式			
②	用地及補償費				4,282	
	用地費		m ²		3,678	
		宅地	m ²	8,380	1,086	
		田畑	m ²	86,360	2,145	
		山林・原野	m ²	36,780	457	
		その他	m ²			
	補償費		式		604	
③	間接経費		式		2,097	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				22,100	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道1号	東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)	4	2.6km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	2.6	750	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,700	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			5,450	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）（原案）

担 当 課：

担当課長名：

事業名	一般国道19号 瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：岐阜県瑞浪市土岐町 至：岐阜県恵那市武並町		延長	8. 2 km		
事業概要						
<p>一般国道19号瑞浪恵那道路（瑞浪～恵那武並）は、岐阜県瑞浪市土岐町から恵那市武並町に至る延長8. 2 kmの道路である。</p> <p>本道路は、一般国道19号の交通の安全性と物流の安定性の確保により、沿線地域における生活・産業活動を支援するとともに、速達性・定時性の確保等により、リニア開業を見据えた広域観光連携や、円滑な企業活動、新たな企業立地の進展による民間投資の促進、新たな雇用の創出等を支援するものである。</p>						
H27年度事業化		H26年度都市計画決定		H28年度用地着手		H29年度工事着手
全体事業費		245億円	事業進捗率		約7%	供用済延長
			(平成31年3月末時点)			0 km
計画交通量		21, 300台/日				
費用対効果分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年
	(事業全体) 1. 9 (1. 5) (残事業) 2. 0 (1. 7)	(残事業)/(事業全体) 366/396 億円 事業費：294/324億円 維持管理費 72/ 72億円		(残事業)/(事業全体) 742/742 億円 走行時間短縮便益：685/685億円 走行経費減少便益：48/ 48億円 交通事故減少便益：8.0/8.0億円		
感度分析の結果						
<p>【事業全体】交通量：B/C=1.8~1.9(交通量 ±10%) 【残事業】交通量：B/C=2.0~2.1(交通量 ±10%)</p> <p>事業費：B/C=1.7~2.0(事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.9~2.2(事業費 ±10%)</p> <p>事業期間：B/C=1.8~1.9(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.9~2.2(事業期間±20%)</p>						
事業の効果等						
<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・リニア岐阜県駅(仮称)の東西アクセス軸を強化する路線である。 <p>②国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる。 <p>③個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要な観光地（恵那峡等）へのアクセス向上が期待される。 <p>④災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次緊急輸送道路の中央自動車道と現道の代替路線を形成する。 <p>⑤地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる。 <p>⑥生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 						

関係する地方公共団体等の意見

岐阜県知事の意見：

- ・ 対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。
- ・ 一般国道19号瑞浪恵那道路は、岐阜県リニア中央新幹線活用戦略において、リニア岐阜県駅へのアクセス道路として、2027年の名古屋開業を見据えて整備する第一次整備計画道路に位置付けられており、リニア中央新幹線の開業効果を県内全域に最大限波及させるために、重要な道路と考えていることから、引き続き早期供用に向けた事業の推進をお願いします。
- ・ 事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底したコスト縮減をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ 瑞浪恵那道路沿線に新たな工業団地（恵那西工業団地）が開発され令和3年12月完成予定。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・ 瑞浪～恵那武並の事業進捗率は約7%、用地取得率は約31%。（平成31年3月末）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 周辺環境の変化等を踏まえ、早期開通を目指し整備を実施していく。

施設の構造や工法の変更等

- ・ 技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道19号瑞浪恵那道路（瑞浪～恵那武笠）
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性 ■ 便益が費用を上回っている	全体：費用便益比(B/C) = 1.5 経済的純現在価値(B-C) = 125億円 経済的内部収益率(EIRR) = 6.7% 残事業：費用便益比(B/C) = 1.7 経済的純現在価値(B-C) = 153億円 経済的内部収益率(EIRR) = 7.9%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現運等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率 □ 現運等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される □ 現運又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される □ 現運等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する ■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる □ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる □ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる □ 農林水産物を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる 	区間a（費用便益分析対象エリア）について 渋滞損失時間（現況）：15902.0万人・時間/年 渋滞損失削減時間：90.9万人・時間/年（15902.0万人・時間/年 ⇒ 15811.1万人・時間/年） 区間b（並行区間）について：（国道19号（舊城交差点～向流交差点）） 並行区間の渋滞損失時間（現況）：104.7万人・時間/年 並行区間の渋滞損失削減時間：93.0万人・時間/年（104.7万人・時間/年 ⇒ 11.7万人・時間/年） 並行区間の渋滞損失削減率：9割削減
物流効率化の指標	<ul style="list-style-type: none"> □ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる □ 農林水産物を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる 	リニア岐阜駅（仮称）の東西アクセス軸を強化する路線
1. 活力 都市の再生	<ul style="list-style-type: none"> □ 現運等における、総重量25tの車両もしくは150規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する □ 都市再生プロジェクトを支援する事業である □ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する 	

	<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の治道まちづくりとの連携あり <input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる
国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する（A'路線としての位置づけがある場合） <input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である
2.暮らし	<input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> ハリアフリー新法に基づく特定道路が新たにハリアフリー化される <input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区画及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる
3.安全	<input type="checkbox"/> 無電柱化による美しい町並みの形成 <input type="checkbox"/> 安全で安心できる暮らしの確保 <input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故が500件/暦台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道19号	瑞浪恵那道路 (瑞浪～恵那武並)	L=8.2Km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
21,300	4	中部地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和元年度		
単純合計	226億円	141億円	367億円
うち残事業分	199億円	141億円	339億円
基準年における 現在価値(C)	196億円	46億円	242億円
うち残事業分	168億円	46億円	214億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和元年度			
供用年	令和9年度			
単年便益 (初年便益)	22億円	2.1億円	0.42億円	24億円
基準年における 現在価値(B)	329億円	31億円	6.1億円	367億円
うち残事業分	329億円	31億円	6.1億円	367億円

③ 結果

費用便益比(事業全体)	1.5
経済的純現在価値(事業全体)	125億円
経済的内部収益率(事業全体)	6.7%
費用便益比(残事業)	1.7
経済的純現在価値(残事業)	153億円
経済的内部収益率(残事業)	7.9%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析(事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	21,300	±10%	1.4 ~ 1.6
事業費	226億円	±10%	1.4 ~ 1.6
事業期間	12年	±20%	1.5 ~ 1.7

④ 感度分析(残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	21,300	±10%	1.6 ~ 1.8
事業費	199億円	±10%	1.6 ~ 1.8
事業期間	7年	±20%	1.7 ~ 1.8

交通状況の変化

様式-3①

事業名: 一般国道19号瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)(事業全体)

(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 改築区間 :8.2km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	21,300	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	11	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	39.31	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道19号 :7.8km	交通量	[台/日]	16,300	2,800
		走行時間	[分]	18	13
		走行時間費用	[億円/年]	57.95	12.78
	中央自動車道 :18.1km	交通量	[台/日]	38,300	34,900
		走行時間	[分]	15	15
		走行時間費用	[億円/年]	113.10	101.03
	(県)武並土岐多治見線 :10.0km	交通量	[台/日]	2,500	100
		走行時間	[分]	42	31
		走行時間費用	[億円/年]	22.65	0.47
	(主)多治見恵那線 :10.5km	交通量	[台/日]	3,100	1,600
		走行時間	[分]	21	20
		走行時間費用	[億円/年]	12.56	6.14
③その他道路合計 :2453.7km	走行時間費用	[億円/年]	7,788.64	7,813.27	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 :2508.3km	走行時間短縮便益 [億円/年]		7,994.90	7,973.00	21.90

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

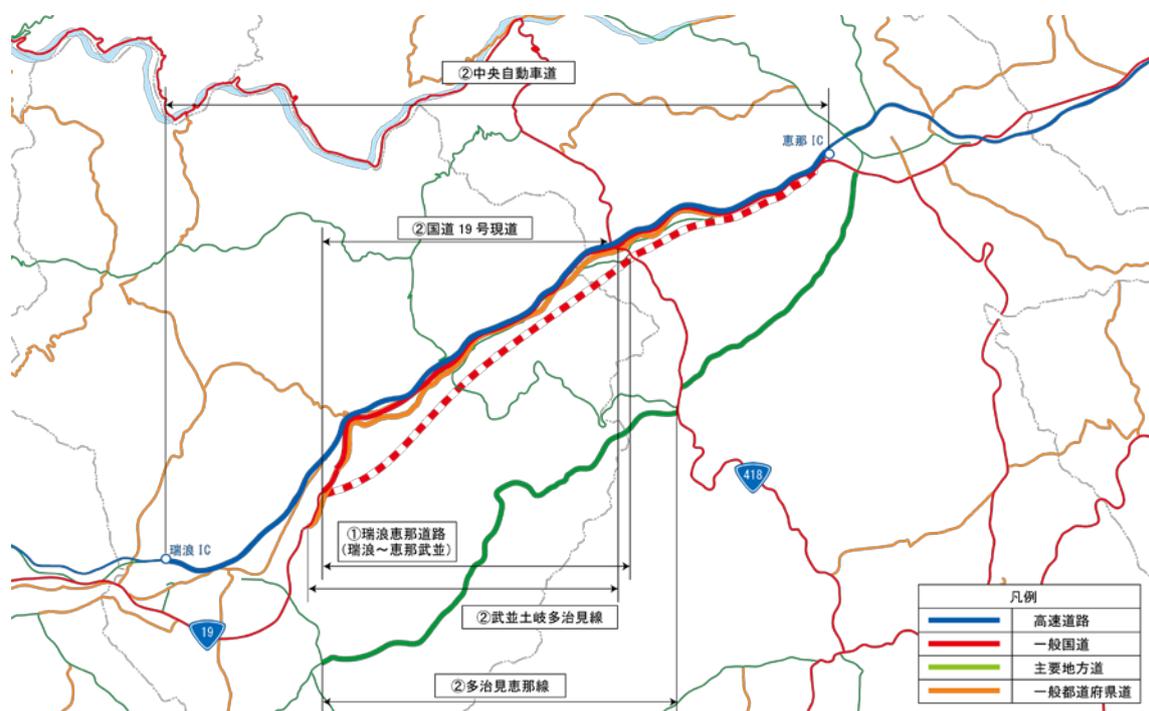
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名: 一般国道19号瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)(残事業)

(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 改築区間 :8.2km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	21,300	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	11	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	39.31	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道19号 :7.8km	交通量	[台/日]	16,300	2,800
		走行時間	[分]	18	13
		走行時間費用	[億円/年]	57.95	12.78
	中央自動車道 :18.1km	交通量	[台/日]	38,300	34,900
		走行時間	[分]	15	15
		走行時間費用	[億円/年]	113.10	101.03
	(県)武並土岐多治見線 :10.0km	交通量	[台/日]	2,500	100
		走行時間	[分]	42	31
		走行時間費用	[億円/年]	22.65	0.47
	(主)多治見恵那線 :10.5km	交通量	[台/日]	3,100	1,600
		走行時間	[分]	21	20
		走行時間費用	[億円/年]	12.56	6.14
③その他道路合計 :2453.7km	走行時間費用	[億円/年]	7,788.64	7,813.27	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 :2508.3km	走行時間短縮便益 [億円/年]		7,994.90	7,973.00	21.90

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

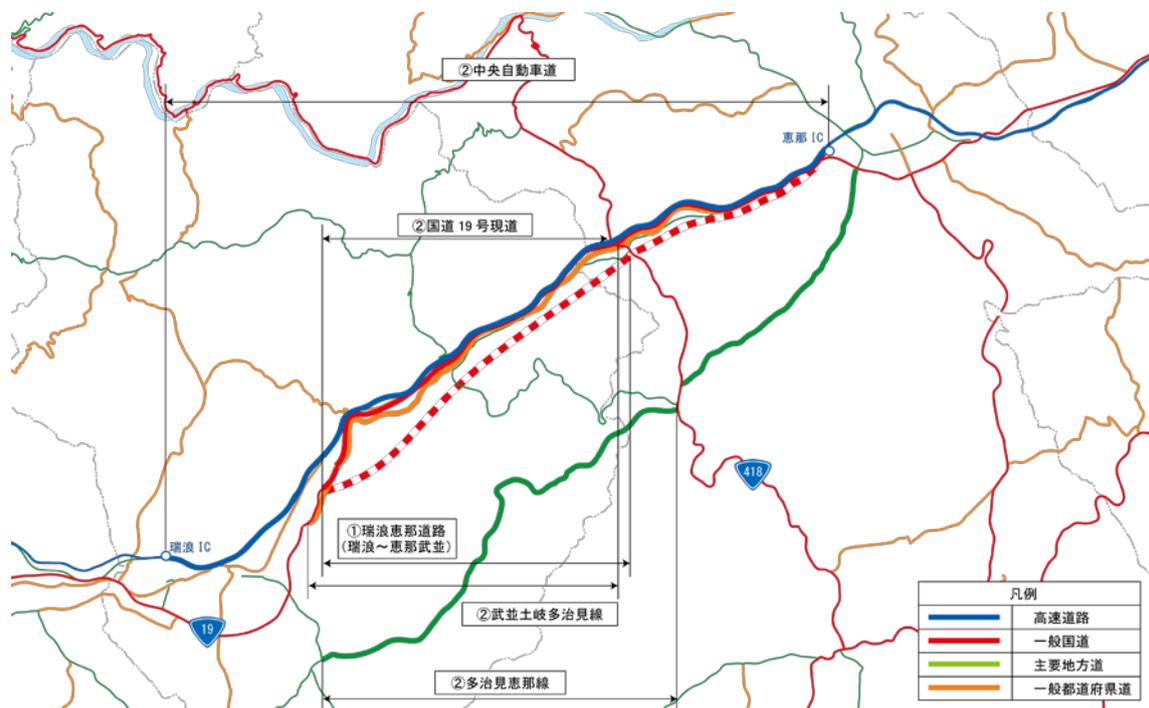
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名: 一般国道19号瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和元年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他(<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
転換率式を用いた配分		<input type="checkbox"/>	
Q-V式と転換率式の併用による配分		<input checked="" type="checkbox"/>	
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		<input type="checkbox"/>	
簡易手法		<input type="checkbox"/>	
簡易手法の採択理由		小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他(<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
その他(<input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通の考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

事業名:一般国道19号瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)

(4)

		項目	チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由および考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道19号 瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)
(事業全体)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.38	8.2	3.10

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-12年目	H 27	1.1699	103.0	0.46	0.54		
-11年目	H 28	1.1249	102.8	2.78	3.13		
-10年目	H 29	1.0816	103.0	5.16	5.58		
-9年目	H 30	1.0400	103.0	7.96	8.28		
基準年	R 1	1.0000	103.0	11.02	11.02		
-7年目	R 2	0.9615	103.0	20.59	19.80		
-6年目	R 3	0.9246	103.0	31.90	29.49		
-5年目	R 4	0.8890	103.0	35.33	31.41		
-4年目	R 5	0.8548	103.0	34.31	29.33		
-3年目	R 6	0.8219	103.0	32.47	26.69		
-2年目	R 7	0.7903	103.0	24.45	19.33		
-1年目	R 8	0.7599	103.0	19.45	14.78		
供用開始年次	R 9	0.7307	103.0			2.82	2.06
1年目	R 10	0.7026	103.0			2.82	1.98
2年目	R 11	0.6756	103.0			2.82	1.90
3年目	R 12	0.6496	103.0			2.82	1.83
4年目	R 13	0.6246	103.0			2.82	1.76
5年目	R 14	0.6006	103.0			2.82	1.69
6年目	R 15	0.5775	103.0			2.82	1.63
7年目	R 16	0.5553	103.0			2.82	1.56
8年目	R 17	0.5339	103.0			2.82	1.50
9年目	R 18	0.5134	103.0			2.82	1.45
10年目	R 19	0.4936	103.0			2.82	1.39
11年目	R 20	0.4746	103.0			2.82	1.34
12年目	R 21	0.4564	103.0			2.82	1.29
13年目	R 22	0.4388	103.0			2.82	1.24
14年目	R 23	0.4220	103.0			2.82	1.19
15年目	R 24	0.4057	103.0			2.82	1.14
16年目	R 25	0.3901	103.0			2.82	1.10
17年目	R 26	0.3751	103.0			2.82	1.06
18年目	R 27	0.3607	103.0			2.82	1.02
19年目	R 28	0.3468	103.0			2.82	0.98
20年目	R 29	0.3335	103.0			2.82	0.94
21年目	R 30	0.3207	103.0			2.82	0.90
22年目	R 31	0.3083	103.0			2.82	0.87
23年目	R 32	0.2965	103.0			2.82	0.84
24年目	R 33	0.2851	103.0			2.82	0.80
25年目	R 34	0.2741	103.0			2.82	0.77
26年目	R 35	0.2636	103.0			2.82	0.74
27年目	R 36	0.2534	103.0			2.82	0.71
28年目	R 37	0.2437	103.0			2.82	0.69
29年目	R 38	0.2343	103.0			2.82	0.66
30年目	R 39	0.2253	103.0			2.82	0.63
31年目	R 40	0.2166	103.0			2.82	0.61
32年目	R 41	0.2083	103.0			2.82	0.59
33年目	R 42	0.2003	103.0			2.82	0.56
34年目	R 43	0.1926	103.0			2.82	0.54
35年目	R 44	0.1852	103.0			2.82	0.52
36年目	R 45	0.1780	103.0			2.82	0.50
37年目	R 46	0.1712	103.0			2.82	0.48
38年目	R 47	0.1646	103.0			2.82	0.46
39年目	R 48	0.1583	103.0			2.82	0.45
40年目	R 49	0.1522	103.0			2.82	0.43
41年目	R 50	0.1463	103.0			2.82	0.41
42年目	R 51	0.1407	103.0			2.82	0.40
43年目	R 52	0.1353	103.0			2.82	0.38
44年目	R 53	0.1301	103.0			2.82	0.37
45年目	R 54	0.1251	103.0			2.82	0.35
46年目	R 55	0.1203	103.0			2.82	0.34
47年目	R 56	0.1157	103.0			2.82	0.33
48年目	R 57	0.1112	103.0			2.82	0.31
49年目	R 58	0.1069	103.0	-31.70	-3.39	2.82	0.30
合計				194.19	195.99	140.91	46.01
単純事業費計				225.89		140.91	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道19号 瑞浪恵那道路(瑞浪~恵那武並)
(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.38	8.2	3.10

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-12年目	H 27	1.1699	103.0				
-11年目	H 28	1.1249	102.8				
-10年目	H 29	1.0816	103.0				
-9年目	H 30	1.0400	103.0				
基準年	R 1	1.0000	103.0				
-7年目	R 2	0.9615	103.0	20.59	19.80		
-6年目	R 3	0.9246	103.0	31.90	29.49		
-5年目	R 4	0.8890	103.0	35.33	31.41		
-4年目	R 5	0.8548	103.0	34.31	29.33		
-3年目	R 6	0.8219	103.0	32.47	26.69		
-2年目	R 7	0.7903	103.0	24.45	19.33		
-1年目	R 8	0.7599	103.0	19.45	14.78		
供用開始年次	R 9	0.7307	103.0			2.82	2.06
1年目	R 10	0.7026	103.0			2.82	1.98
2年目	R 11	0.6756	103.0			2.82	1.90
3年目	R 12	0.6496	103.0			2.82	1.83
4年目	R 13	0.6246	103.0			2.82	1.76
5年目	R 14	0.6006	103.0			2.82	1.69
6年目	R 15	0.5775	103.0			2.82	1.63
7年目	R 16	0.5553	103.0			2.82	1.56
8年目	R 17	0.5339	103.0			2.82	1.50
9年目	R 18	0.5134	103.0			2.82	1.45
10年目	R 19	0.4936	103.0			2.82	1.39
11年目	R 20	0.4746	103.0			2.82	1.34
12年目	R 21	0.4564	103.0			2.82	1.29
13年目	R 22	0.4388	103.0			2.82	1.24
14年目	R 23	0.4220	103.0			2.82	1.19
15年目	R 24	0.4057	103.0			2.82	1.14
16年目	R 25	0.3901	103.0			2.82	1.10
17年目	R 26	0.3751	103.0			2.82	1.06
18年目	R 27	0.3607	103.0			2.82	1.02
19年目	R 28	0.3468	103.0			2.82	0.98
20年目	R 29	0.3335	103.0			2.82	0.94
21年目	R 30	0.3207	103.0			2.82	0.90
22年目	R 31	0.3083	103.0			2.82	0.87
23年目	R 32	0.2965	103.0			2.82	0.84
24年目	R 33	0.2851	103.0			2.82	0.80
25年目	R 34	0.2741	103.0			2.82	0.77
26年目	R 35	0.2636	103.0			2.82	0.74
27年目	R 36	0.2534	103.0			2.82	0.71
28年目	R 37	0.2437	103.0			2.82	0.69
29年目	R 38	0.2343	103.0			2.82	0.66
30年目	R 39	0.2253	103.0			2.82	0.63
31年目	R 40	0.2166	103.0			2.82	0.61
32年目	R 41	0.2083	103.0			2.82	0.59
33年目	R 42	0.2003	103.0			2.82	0.56
34年目	R 43	0.1926	103.0			2.82	0.54
35年目	R 44	0.1852	103.0			2.82	0.52
36年目	R 45	0.1780	103.0			2.82	0.50
37年目	R 46	0.1712	103.0			2.82	0.48
38年目	R 47	0.1646	103.0			2.82	0.46
39年目	R 48	0.1583	103.0			2.82	0.45
40年目	R 49	0.1522	103.0			2.82	0.43
41年目	R 50	0.1463	103.0			2.82	0.41
42年目	R 51	0.1407	103.0			2.82	0.40
43年目	R 52	0.1353	103.0			2.82	0.38
44年目	R 53	0.1301	103.0			2.82	0.37
45年目	R 54	0.1251	103.0			2.82	0.35
46年目	R 55	0.1203	103.0			2.82	0.34
47年目	R 56	0.1157	103.0			2.82	0.33
48年目	R 57	0.1112	103.0			2.82	0.31
49年目	R 58	0.1069	103.0	-29.60	-3.17	2.82	0.30
合計				168.91	167.66	140.91	46.01

単純事業費計	198.51	140.91
--------	--------	--------

箇所名：一般国道19号 瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)(事業全体・残事業)

便益の現在価値算定表

年度 (基準年) R1	総走行台キロの年次引伸び率 (東海7中分)				GDP テラレタ	割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				交通事故減少便益(億円)		合計 (億円) 現在価値 割引率4%				
	乗用車	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車種	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 (1)×(A)	乗用車種	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (2)×(A)		③	現在価値 (3)×(A)		
供用開始年次	R 9	0.99967	0.98840	1.00813	0.99910	0.7307	103.0	10.38	3.86	7.65	21.90	16.00	1.19	0.23	0.66	2.09	1.52	0.42	0.30	24.40	17.83
1年目	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7026	103.0	10.38	3.81	7.71	21.90	15.33	1.19	0.23	0.67	2.09	1.47	0.42	0.29	24.40	17.14
2年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.6756	103.0	10.38	3.75	7.78	21.90	14.80	1.19	0.23	0.67	2.09	1.41	0.42	0.28	24.41	16.49
3年目	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6496	103.0	10.37	3.69	7.84	21.90	14.23	1.19	0.22	0.68	2.09	1.36	0.41	0.27	24.41	15.86
4年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6246	103.0	10.30	3.66	7.83	21.78	13.60	1.18	0.22	0.67	2.08	1.30	0.41	0.26	24.27	15.16
5年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6006	103.0	10.22	3.62	7.81	21.66	13.01	1.17	0.22	0.67	2.07	1.24	0.41	0.25	24.13	14.49
6年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.5775	103.0	10.14	3.59	7.80	21.53	12.43	1.17	0.22	0.67	2.05	1.19	0.41	0.23	23.99	13.86
7年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5553	103.0	10.07	3.55	7.79	21.41	11.89	1.16	0.21	0.67	2.04	1.13	0.40	0.22	23.85	13.25
8年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5339	103.0	9.99	3.52	7.78	21.28	11.36	1.15	0.21	0.67	2.03	1.08	0.40	0.21	23.71	12.66
9年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5134	103.0	9.92	3.48	7.76	21.16	10.86	1.14	0.21	0.67	2.02	1.04	0.40	0.20	23.58	12.10
10年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.4936	103.0	9.84	3.44	7.75	21.04	10.38	1.13	0.21	0.67	2.01	0.99	0.40	0.20	23.44	11.57
11年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4746	103.0	9.76	3.41	7.74	20.91	9.93	1.12	0.21	0.67	1.99	0.95	0.39	0.19	23.30	11.06
12年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4564	103.0	9.69	3.37	7.73	20.79	9.49	1.11	0.20	0.67	1.98	0.90	0.39	0.18	23.16	10.57
13年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4388	103.0	9.61	3.34	7.72	20.66	9.07	1.10	0.20	0.67	1.97	0.86	0.39	0.17	23.02	10.10
14年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4220	103.0	9.53	3.30	7.70	20.54	8.67	1.10	0.20	0.66	1.96	0.83	0.38	0.16	22.88	9.65
15年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4057	103.0	9.46	3.27	7.69	20.41	8.28	1.09	0.20	0.66	1.95	0.79	0.38	0.15	22.74	9.23
16年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.3901	103.0	9.38	3.23	7.68	20.29	7.92	1.08	0.19	0.66	1.93	0.75	0.38	0.15	22.60	8.82
17年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3751	103.0	9.30	3.19	7.67	20.17	7.56	1.07	0.19	0.66	1.92	0.72	0.38	0.14	22.46	8.43
18年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3607	103.0	9.23	3.16	7.65	20.04	7.23	1.06	0.19	0.66	1.91	0.69	0.37	0.13	22.32	8.05
19年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3468	103.0	9.15	3.12	7.64	19.92	6.91	1.05	0.19	0.66	1.90	0.66	0.37	0.13	22.19	7.69
20年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3335	103.0	9.08	3.09	7.63	19.79	6.60	1.04	0.19	0.66	1.89	0.63	0.37	0.12	22.05	7.35
21年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3207	103.0	9.00	3.05	7.62	19.67	6.31	1.03	0.18	0.66	1.87	0.60	0.36	0.12	21.91	7.02
22年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3083	103.0	8.92	3.02	7.61	19.54	6.03	1.03	0.18	0.66	1.86	0.57	0.36	0.11	21.77	6.71
23年目	R 32	0.99138	0.98806	0.99838	0.99226	0.2965	103.0	8.85	2.98	7.59	19.42	5.76	1.02	0.18	0.65	1.85	0.55	0.36	0.11	21.63	6.41
24年目	R 33	0.99131	0.98794	0.99838	0.99220	0.2851	103.0	8.77	2.95	7.58	19.30	5.50	1.01	0.18	0.65	1.84	0.52	0.36	0.10	21.49	6.13
25年目	R 34	0.99124	0.98781	0.99838	0.99215	0.2741	103.0	8.69	2.91	7.57	19.17	5.25	1.00	0.18	0.65	1.83	0.50	0.35	0.10	21.35	5.85
26年目	R 35	0.99117	0.98768	0.99837	0.99209	0.2636	103.0	8.62	2.87	7.56	19.05	5.02	0.99	0.17	0.65	1.81	0.48	0.35	0.09	21.21	5.59
27年目	R 36	0.99111	0.98756	0.99837	0.99204	0.2534	103.0	8.54	2.84	7.54	18.92	4.80	0.98	0.17	0.65	1.80	0.46	0.35	0.09	21.08	5.34
28年目	R 37	0.99104	0.98743	0.99837	0.99198	0.2437	103.0	8.47	2.80	7.53	18.80	4.58	0.97	0.17	0.65	1.79	0.44	0.35	0.08	20.94	5.10
29年目	R 38	0.99097	0.98731	0.99837	0.99193	0.2343	103.0	8.39	2.77	7.52	18.68	4.38	0.96	0.17	0.65	1.78	0.42	0.34	0.08	20.80	4.87
30年目	R 39	0.99090	0.98718	0.99836	0.99187	0.2253	103.0	8.31	2.73	7.51	18.55	4.18	0.96	0.16	0.65	1.77	0.40	0.34	0.08	20.66	4.65
31年目	R 40	0.99083	0.98705	0.99836	0.99182	0.2166	103.0	8.24	2.70	7.49	18.43	3.99	0.95	0.16	0.65	1.76	0.38	0.34	0.07	20.52	4.45
32年目	R 41	0.99077	0.98693	0.99836	0.99176	0.2083	103.0	8.16	2.66	7.48	18.31	3.81	0.94	0.16	0.65	1.74	0.36	0.33	0.07	20.39	4.25
33年目	R 42	0.99070	0.98680	0.99836	0.99171	0.2003	103.0	8.09	2.63	7.47	18.19	3.64	0.93	0.16	0.64	1.73	0.35	0.33	0.07	20.25	4.06
34年目	R 43	0.99063	0.98668	0.99835	0.99165	0.1926	103.0	8.01	2.59	7.46	18.06	3.48	0.92	0.16	0.64	1.72	0.33	0.33	0.06	20.11	3.87
35年目	R 44	0.99056	0.98655	0.99835	0.99160	0.1852	103.0	7.94	2.56	7.45	17.94	3.32	0.91	0.15	0.64	1.71	0.32	0.33	0.06	19.98	3.70
36年目	R 45	0.99050	0.98642	0.99835	0.99154	0.1780	103.0	7.86	2.52	7.43	17.82	3.17	0.90	0.15	0.64	1.70	0.30	0.32	0.06	19.84	3.53
37年目	R 46	0.99043	0.98630	0.99835	0.99148	0.1712	103.0	7.79	2.49	7.42	17.70	3.03	0.89	0.15	0.64	1.68	0.29	0.32	0.05	19.70	3.37
38年目	R 47	0.99036	0.98617	0.99834	0.99143	0.1646	103.0	7.71	2.46	7.41	17.58	2.89	0.89	0.15	0.64	1.67	0.28	0.32	0.05	19.57	3.22
39年目	R 48	0.99029	0.98605	0.99834	0.99137	0.1583	103.0	7.64	2.42	7.40	17.46	2.76	0.88	0.15	0.64	1.66	0.26	0.31	0.05	19.43	3.08
40年目	R 49	0.99022	0.98592	0.99834	0.99132	0.1522	103.0	7.56	2.39	7.38	17.34	2.64	0.87	0.14	0.64	1.65	0.25	0.31	0.05	19.30	2.94
41年目	R 50	0.99016	0.98579	0.99834	0.99126	0.1463	103.0	7.49	2.35	7.37	17.22	2.52	0.86	0.14	0.64	1.64	0.24	0.31	0.05	19.16	2.80
42年目	R 51	0.99009	0.98567	0.99833	0.99121	0.1407	103.0	7.42	2.32	7.36	17.10	2.41	0.85	0.14	0.63	1.63	0.23	0.31	0.04	19.03	2.68
43年目	R 52	0.99002	0.98554	0.99833	0.99115	0.1353	103.0	7.34	2.29	7.35	16.98	2.30	0.84	0.14	0.63	1.61	0.22	0.30	0.04	18.90	2.56
44年目	R 53	0.98995	0.98541	0.99833	0.99110	0.1301	103.0	7.27	2.26	7.33	16.86	2.19	0.84	0.14	0.63	1.60	0.21	0.30	0.04	18.77	2.44
45年目	R 54	0.98988	0.98529	0.99832	0.99104	0.1251	103.0	7.20	2.22	7.32	16.74	2.09	0.83	0.13	0.63	1.59	0.20	0.30	0.04	18.63	2.33
46年目	R 55	0.98982	0.98516	0.99832	0.99099	0.1203	103.0	7.12	2.19	7.31	16.62	2.00	0.82	0.13	0.63	1.58	0.19	0.30	0.04	18.50	2.23
47年目	R 56	0.98975	0.98504	0.99832	0.99093	0.1157	103.0	7.05	2.16	7.30	16.51	1.91	0.81	0.13	0.63	1.57	0.18	0.29	0.03	18.37	2.12
48年目	R 57	0.98968	0.98491	0.99832	0.99088	0.1112	103.0	6.98	2.12	7.29	16.39	1.82	0.80	0.13	0.63	1.56	0.17	0.29	0.03	18.24	2.03
49年目	R 58	0.98961	0.98478	0.99831	0.99082	0.1069	103.0	6.91	2.09	7.27	16.27	1.74	0.79	0.13	0.63	1.55	0.17	0.29	0.03	18.11	1.94
合計								436.53	146.80	378.27	961.60	329.13	50.16	8.83	32.61	91.61	31.37	17.74	6.13	1070.95	366.63

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道19号	瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)	4	8.2km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				16,850	
	改良費				5,820	
		土工	m ³	1,287,225	743	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³	127,000	1,245	
		法面工	m ²	176,837	681	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	416	重力式擁壁、補強土壁
		管渠工	m			
		函渠工	m	300	183	
		排水工	m	10,805	75	
		中央分離帯工	m	7,682	212	
		雑工	式	1	2,265	
	橋梁費				5,119	
		100m以上	m	3,260	1,093	
		100m未満	m	4,275	4,026	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,533	
		車道舗装	m ²	116,733	1,531	
		その他舗装	m ²	710	2	
	付帯施設費				689	
		交通管理施設工	式	1	298	
		遮音壁	m	800	391	
	その他仮設工・雑工				3,689	
		仮設工	式	1	3,689	
②	用地及補償費				4,160	
	用地費		m ²	334,960	3,170	
		宅地	m ²	8,576	300	
		田畑	m ²	147,794	2,513	
		山林・原野	m ²	178,590	357	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	990	
③	間接経費		式	1	3,490	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				24,500	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道19号	瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)	4	8.2km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	8.2	1,900	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	13,600	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			15,500	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道19号	瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)	4	8.2km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				15,480	
	改良費				5,299	
		土工	m ³	1,287,225	743	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³	127,000	1,245	
		法面工	m ²	176,837	681	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	416	重力式擁壁、補強土壁
		管渠工	m			
		函渠工	m	300	183	
		排水工	m	10,805	75	
		中央分離帯工	m	7,682	212	
		雑工	式	1	1,744	
	橋梁費				5,119	
		100m以上	m	3,260	1,093	
		100m未満	m	4,275	4,026	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,533	
		車道舗装	m ²	116,733	1,531	
		その他舗装	m ²	710	2	
	付帯施設費				689	
		交通管理施設工	式	1	298	
		遮音壁	m	800	391	
	その他仮設工・雑工				2,840	
		仮設工		1	2,840	
②	用地及補償費				3,940	
	用地費		m ²	322,610	2,960	
		宅地	m ²	8,576	300	
		田畑	m ²	135,444	2,303	
		山林・原野	m ²	178,590	357	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	980	
③	間接経費		式	1	2,120	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				21,540	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道19号	瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)	4	8.2km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	8.2	1,900	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	13,600	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			15,500	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）（原案）

担 当 課：

担当課長名：

事業名	一般国道19号 <small>みずなみ えな</small> 瑞浪恵那道路（恵那工区）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：岐阜県恵那市武並町 至：岐阜県恵那市長島町	延長	4. 3 km		
事業概要					
<p>一般国道19号瑞浪恵那道路（恵那工区）は、岐阜県恵那市武並町から恵那市長島町に至る延長4. 3 kmの道路である。</p> <p>本道路は、一般国道19号の交通の安全性と物流の安定性の確保により、沿線地域における生活・産業活動を支援するとともに、速達性・定時性の確保等により、リニア開業を見据えた広域観光連携や、円滑な企業活動、新たな企業立地の進展による民間投資の促進、新たな雇用の創出等を支援するものである。</p>					
H30年度事業化		H26年度都市計画決定			
全体事業費		約170億円	事業進捗率	約1%	供用済延長
			(平成31年3月末時点)		0 km
計画交通量		25, 600台/日			
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1. 9	(残事業)/(事業全体) 366/396 億円	(残事業)/(事業全体) 742/742 億円	令和元年	
	(2. 2)	事業費：294/324億円 維持管理費：72/72億円	走行時間短縮便益：685/685億円 走行経費減少便益：48/48億円 交通事故減少便益：8.0/8.0億円		
	(残事業) 2. 0				
	(2. 2)				
感度分析の結果					
<p>【事業全体】交通量：B/C=1.8~1.9(交通量 ±10%) 【残事業】交通量：B/C=2.0~2.1(交通量 ±10%)</p> <p>事業費：B/C=1.7~2.0(事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.9~2.2(事業費 ±10%)</p> <p>事業期間：B/C=1.8~1.9(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.9~2.2(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保					
<ul style="list-style-type: none"> ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・リニア岐阜県駅(仮称)の東西アクセス軸を強化する路線である。 					
②国土・地域ネットワークの構築					
<ul style="list-style-type: none"> ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる。 					
③個性ある地域の形成					
<ul style="list-style-type: none"> ・主要な観光地（恵那峡等）へのアクセス向上が期待される。 					
④災害への備え					
<ul style="list-style-type: none"> ・第一次緊急輸送道路の中央自動車道と現道の代替路線を形成する。 					
⑤地球環境の保全					
<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる。 					
⑥生活環境の改善・保全					
<ul style="list-style-type: none"> ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 					

関係する地方公共団体等の意見

岐阜県知事の意見：

- ・ 対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。
- ・ 一般国道19号瑞浪恵那道路は、岐阜県リニア中央新幹線活用戦略において、リニア岐阜県駅へのアクセス道路として、2027年の名古屋開業を見据えて整備する第一次整備計画道路に位置付けられており、リニア中央新幹線の開業効果を県内全域に最大限波及させるために、重要な道路と考えていることから、引き続き早期供用に向けた事業の推進をお願いします。
- ・ 事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底したコスト縮減をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ 瑞浪恵那道路沿線に新たな工業団地（恵那西工業団地）が開発され令和3年12月完成予定。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・ 恵那工区の事業進捗率は約1%、用地取得率は0%。（平成31年3月末）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 周辺環境の変化等を踏まえ、早期開通を目指し整備を実施していく。

施設の構造や工法の変更等

- ・ 技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道19号瑞浪環状道路（環状工区）
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性 ■ 便益が費用を上回っている	全体：費用便益比(B/C) = 2.2 経済的純現在価値(B-C) = 183億円 経済的内部収益率(EIRR) = 10.1% 残事業：費用便益比(B/C) = 2.2 経済的純現在価値(B-C) = 185億円 経済的内部収益率(EIRR) = 10.3%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<input type="checkbox"/> 現運等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される <input type="checkbox"/> 現運又は並行区間等における踏切交通運断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される <input type="checkbox"/> 現運等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する <input checked="" type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	区間a（費用便益分析対象エリア）について 混雑損失時間（現況）：15889.5万人・時間/年 混雑損失削減時間：78.4万人・時間/年（15889.5万人・時間/年 ⇒ 15811.1万人・時間/年） 区間b（並行区間）について、（国道19号（向流交差点～横ヶ根交差点）） 並行区間の混雑損失時間（現況）：55.9万人・時間/年 並行区間の混雑損失削減時間：47.5万人・時間/年（55.9万人・時間/年 ⇒ 8.4万人・時間/年） 並行区間の混雑損失削減率：8割削減
物流効率化の指標	<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	リニア岐阜駅（仮称）の東西アクセス軸を強化する路線
1. 活力 都市の再生	<input type="checkbox"/> 現運等における、総重量25tの車両もしくは150規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する <input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である <input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	

	<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の治道まちづくりとの連携あり <input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
<p>国土・地域を以 トワークの構築</p>	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する（A'路線としての位置づけがある場合） <input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心城市間を最短时间内で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心城市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	<p>対象自治体名：恵那市、日常活動圏中心城市：多治見市、改善見込み（国道19号：61分→57分）</p> <p>恵那峡（H29入込客数：47万人）、道の駅らっせいみさと（H29入込客数：62万人）、 瑞浪市農産物等直売所きなあた瑞浪（H29入込客数：55万人）</p>
<p>個性ある地域の 形成</p>	<input type="checkbox"/> 歩行者・自転車 のための生活空 間の形成 <input type="checkbox"/> 無電柱化による 美しい町並みの 形成 <input type="checkbox"/> 安全で安心でき るくらしの確保 <input type="checkbox"/> 安全な生活環境 の確保	
<p>2. 暮らし</p>	<input type="checkbox"/> 歩行者・自転車 のための生活空 間の形成 <input type="checkbox"/> 無電柱化による 美しい町並みの 形成 <input type="checkbox"/> 安全で安心でき るくらしの確保 <input type="checkbox"/> 安全な生活環境 の確保	
<p>3. 安全</p>	<input type="checkbox"/> 歩行者・自転車 のための生活空 間の形成 <input type="checkbox"/> 無電柱化による 美しい町並みの 形成 <input type="checkbox"/> 安全で安心でき るくらしの確保 <input type="checkbox"/> 安全な生活環境 の確保	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道19号	瑞浪恵那道路 (恵那工区)	L=4.3Km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
25,600	4	中部地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和元年度		
単純合計	157億円	81億円	237億円
うち残事業分	155億円	81億円	236億円
基準年における 現在価値(C)	128億円	26億円	154億円
うち残事業分	126億円	26億円	153億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和元年度			
供用年	令和9年度			
単年便益 (初年便益)	21億円	1.5億円	0.17億円	23億円
基準年における 現在価値(B)	313億円	22億円	2.6億円	337億円
うち残事業分	313億円	22億円	2.6億円	337億円

③ 結果

費用便益比(事業全体)	2.2
経済的純現在価値(事業全体)	183億円
経済的内部収益率(事業全体)	10.1%
費用便益比(残事業)	2.2
経済的純現在価値(残事業)	185億円
経済的内部収益率(残事業)	10.3%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析(事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	25,600	±10%	2.1 ~ 2.3
事業費	157億円	±10%	2.0 ~ 2.4
事業期間	9年	±20%	2.1 ~ 2.2

④ 感度分析(残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	25,600	±10%	2.1 ~ 2.3
事業費	155億円	±10%	2.0 ~ 2.4
事業期間	7年	±20%	2.1 ~ 2.2

交通状況の変化

様式-3①

事業名: 一般国道19号瑞浪恵那道路(恵那工区)(事業全体)

(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 改築区間 : 4.3km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	25,600	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	6	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	30.67	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道19号 : 5.0km	交通量	[台/日]	16,100	5,900
		走行時間	[分]	10	8
		走行時間費用	[億円/年]	31.06	8.64
	中央自動車道 : 18.1km	交通量	[台/日]	36,900	34,900
		走行時間	[分]	15	15
		走行時間費用	[億円/年]	108.46	101.03
	(県)武並土岐多治見線 : 2.5km	交通量	[台/日]	3,900	1,200
		走行時間	[分]	9	7
		走行時間費用	[億円/年]	9.04	1.66
	(主)多治見恵那線 : 6.5km	交通量	[台/日]	9,800	5,500
		走行時間	[分]	16	14
		走行時間費用	[億円/年]	30.40	13.75
③その他道路合計 : 2471.9km	走行時間費用	[億円/年]	7,815.21	7,817.25	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 2508.3km		走行時間短縮便益 [億円/年]	7994.17	7973.00	21.17

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

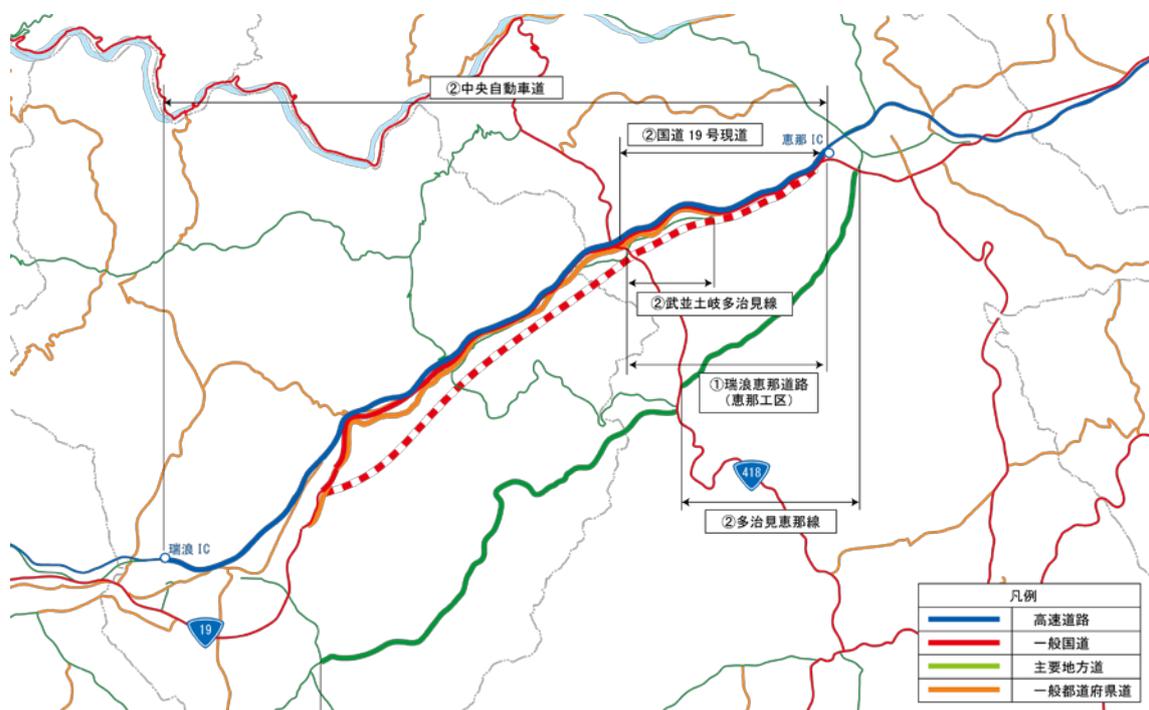
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名: 一般国道19号瑞浪恵那道路(恵那工区)(残事業)

(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 改築区間 : 4.3km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	25,600	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	6	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	30.67	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道19号 : 5.0km	交通量	[台/日]	16,100	5,900
		走行時間	[分]	10	8
		走行時間費用	[億円/年]	31.06	8.64
	中央自動車道 : 18.1km	交通量	[台/日]	36,900	34,900
		走行時間	[分]	15	15
		走行時間費用	[億円/年]	108.46	101.03
	(県)武並土岐多治見線 : 2.5km	交通量	[台/日]	3,900	1,200
		走行時間	[分]	9	7
		走行時間費用	[億円/年]	9.04	1.66
	(主)多治見恵那線 : 6.5km	交通量	[台/日]	9,800	5,500
		走行時間	[分]	16	14
		走行時間費用	[億円/年]	30.40	13.75
③その他道路合計 : 2471.9km	走行時間費用	[億円/年]	7,815.21	7,817.25	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 2508.3km		走行時間短縮便益 [億円/年]	7994.17	7973.00	21.17

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

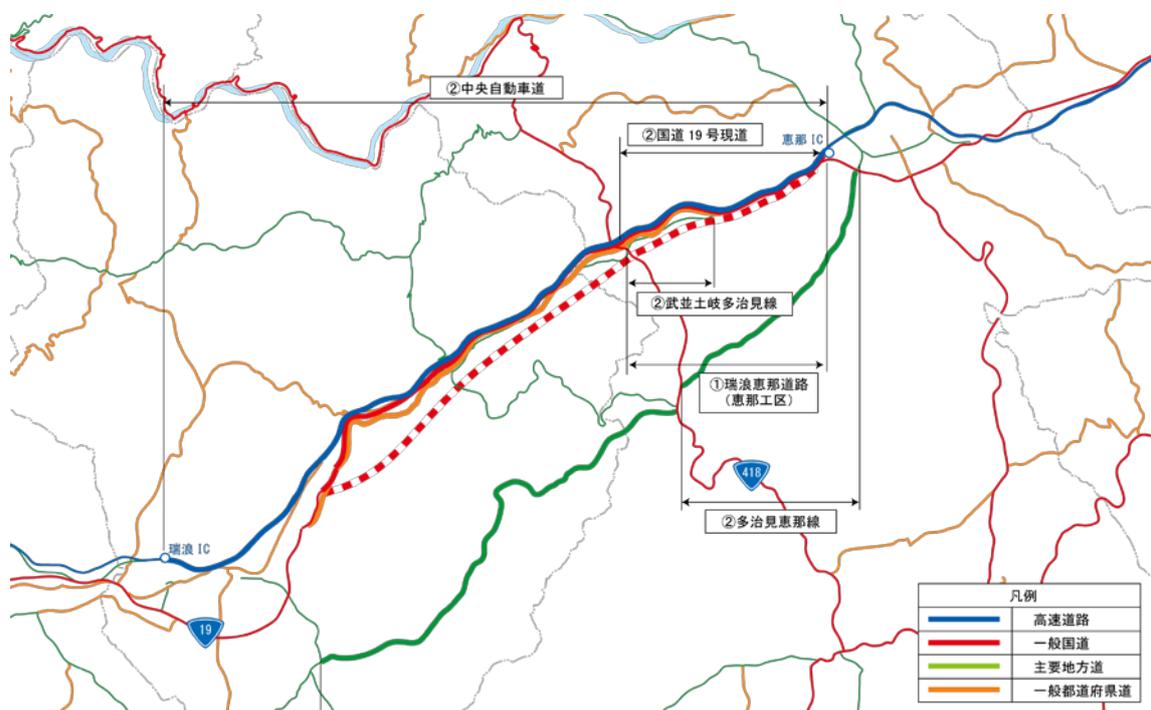
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名: 一般国道19号瑞浪恵那道路(恵那工区)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和元年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他(<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
転換率式を用いた配分		<input type="checkbox"/>	
Q-V式と転換率式の併用による配分		<input checked="" type="checkbox"/>	
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		<input type="checkbox"/>	
簡易手法		<input type="checkbox"/>	
簡易手法の採択理由		小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他(<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
その他(<input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通の考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

事業名:一般国道19号瑞浪恵那道路(恵那工区)

(4)

		項目	チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由および考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道19号 瑞浪恵那道路(恵那工区)(事業全体)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.41		4.3	1.78
-9年目	H 30	1.0400	103.0	0.46	0.48		
基準年	R 1	1.0000	103.0	1.36	1.36		
-7年目	R 2	0.9615	103.0	5.70	5.48		
-6年目	R 3	0.9246	103.0	13.64	12.61		
-5年目	R 4	0.8890	103.0	13.64	12.13		
-4年目	R 5	0.8548	103.0	28.40	24.28		
-3年目	R 6	0.8219	103.0	33.85	27.82		
-2年目	R 7	0.7903	103.0	32.23	25.47		
-1年目	R 8	0.7599	103.0	27.22	20.68		
供用開始年次	R 9	0.7307	103.0			1.62	1.18
1年目	R 10	0.7026	103.0			1.62	1.14
2年目	R 11	0.6756	103.0			1.62	1.09
3年目	R 12	0.6496	103.0			1.62	1.05
4年目	R 13	0.6246	103.0			1.62	1.01
5年目	R 14	0.6006	103.0			1.62	0.97
6年目	R 15	0.5775	103.0			1.62	0.93
7年目	R 16	0.5553	103.0			1.62	0.90
8年目	R 17	0.5339	103.0			1.62	0.86
9年目	R 18	0.5134	103.0			1.62	0.83
10年目	R 19	0.4936	103.0			1.62	0.80
11年目	R 20	0.4746	103.0			1.62	0.77
12年目	R 21	0.4564	103.0			1.62	0.74
13年目	R 22	0.4388	103.0			1.62	0.71
14年目	R 23	0.4220	103.0			1.62	0.68
15年目	R 24	0.4057	103.0			1.62	0.66
16年目	R 25	0.3901	103.0			1.62	0.63
17年目	R 26	0.3751	103.0			1.62	0.61
18年目	R 27	0.3607	103.0			1.62	0.58
19年目	R 28	0.3468	103.0			1.62	0.56
20年目	R 29	0.3335	103.0			1.62	0.54
21年目	R 30	0.3207	103.0			1.62	0.52
22年目	R 31	0.3083	103.0			1.62	0.50
23年目	R 32	0.2965	103.0			1.62	0.48
24年目	R 33	0.2851	103.0			1.62	0.46
25年目	R 34	0.2741	103.0			1.62	0.44
26年目	R 35	0.2636	103.0			1.62	0.43
27年目	R 36	0.2534	103.0			1.62	0.41
28年目	R 37	0.2437	103.0			1.62	0.39
29年目	R 38	0.2343	103.0			1.62	0.38
30年目	R 39	0.2253	103.0			1.62	0.36
31年目	R 40	0.2166	103.0			1.62	0.35
32年目	R 41	0.2083	103.0			1.62	0.34
33年目	R 42	0.2003	103.0			1.62	0.32
34年目	R 43	0.1926	103.0			1.62	0.31
35年目	R 44	0.1852	103.0			1.62	0.30
36年目	R 45	0.1780	103.0			1.62	0.29
37年目	R 46	0.1712	103.0			1.62	0.28
38年目	R 47	0.1646	103.0			1.62	0.27
39年目	R 48	0.1583	103.0			1.62	0.26
40年目	R 49	0.1522	103.0			1.62	0.25
41年目	R 50	0.1463	103.0			1.62	0.24
42年目	R 51	0.1407	103.0			1.62	0.23
43年目	R 52	0.1353	103.0			1.62	0.22
44年目	R 53	0.1301	103.0			1.62	0.21
45年目	R 54	0.1251	103.0			1.62	0.20
46年目	R 55	0.1203	103.0			1.62	0.19
47年目	R 56	0.1157	103.0			1.62	0.19
48年目	R 57	0.1112	103.0			1.62	0.18
49年目	R 58	0.1069	103.0	-21.47	-2.30	1.62	0.17
合計				135.04	128.02	80.91	26.42
単純事業費計				156.51		80.91	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道19号 瑞浪恵那道路(恵那工区)(残事業)

年次	年度	割引率	GDP デフレ-タ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.41		4.3	1.78
-9年目	H 30	1.0400	103.0				
基準年	R 1	1.0000	103.0				
-7年目	R 2	0.9615	103.0	5.70	5.48		
-6年目	R 3	0.9246	103.0	13.64	12.61		
-5年目	R 4	0.8890	103.0	13.64	12.13		
-4年目	R 5	0.8548	103.0	28.40	24.28		
-3年目	R 6	0.8219	103.0	33.85	27.82		
-2年目	R 7	0.7903	103.0	32.23	25.47		
-1年目	R 8	0.7599	103.0	27.22	20.68		
供用開始年次	R 9	0.7307	103.0			1.62	1.18
1年目	R 10	0.7026	103.0			1.62	1.14
2年目	R 11	0.6756	103.0			1.62	1.09
3年目	R 12	0.6496	103.0			1.62	1.05
4年目	R 13	0.6246	103.0			1.62	1.01
5年目	R 14	0.6006	103.0			1.62	0.97
6年目	R 15	0.5775	103.0			1.62	0.93
7年目	R 16	0.5553	103.0			1.62	0.90
8年目	R 17	0.5339	103.0			1.62	0.86
9年目	R 18	0.5134	103.0			1.62	0.83
10年目	R 19	0.4936	103.0			1.62	0.80
11年目	R 20	0.4746	103.0			1.62	0.77
12年目	R 21	0.4564	103.0			1.62	0.74
13年目	R 22	0.4388	103.0			1.62	0.71
14年目	R 23	0.4220	103.0			1.62	0.68
15年目	R 24	0.4057	103.0			1.62	0.66
16年目	R 25	0.3901	103.0			1.62	0.63
17年目	R 26	0.3751	103.0			1.62	0.61
18年目	R 27	0.3607	103.0			1.62	0.58
19年目	R 28	0.3468	103.0			1.62	0.56
20年目	R 29	0.3335	103.0			1.62	0.54
21年目	R 30	0.3207	103.0			1.62	0.52
22年目	R 31	0.3083	103.0			1.62	0.50
23年目	R 32	0.2965	103.0			1.62	0.48
24年目	R 33	0.2851	103.0			1.62	0.46
25年目	R 34	0.2741	103.0			1.62	0.44
26年目	R 35	0.2636	103.0			1.62	0.43
27年目	R 36	0.2534	103.0			1.62	0.41
28年目	R 37	0.2437	103.0			1.62	0.39
29年目	R 38	0.2343	103.0			1.62	0.38
30年目	R 39	0.2253	103.0			1.62	0.36
31年目	R 40	0.2166	103.0			1.62	0.35
32年目	R 41	0.2083	103.0			1.62	0.34
33年目	R 42	0.2003	103.0			1.62	0.32
34年目	R 43	0.1926	103.0			1.62	0.31
35年目	R 44	0.1852	103.0			1.62	0.30
36年目	R 45	0.1780	103.0			1.62	0.29
37年目	R 46	0.1712	103.0			1.62	0.28
38年目	R 47	0.1646	103.0			1.62	0.27
39年目	R 48	0.1583	103.0			1.62	0.26
40年目	R 49	0.1522	103.0			1.62	0.25
41年目	R 50	0.1463	103.0			1.62	0.24
42年目	R 51	0.1407	103.0			1.62	0.23
43年目	R 52	0.1353	103.0			1.62	0.22
44年目	R 53	0.1301	103.0			1.62	0.21
45年目	R 54	0.1251	103.0			1.62	0.20
46年目	R 55	0.1203	103.0			1.62	0.19
47年目	R 56	0.1157	103.0			1.62	0.19
48年目	R 57	0.1112	103.0			1.62	0.18
49年目	R 58	0.1069	103.0	-21.47	-2.30	1.62	0.17
合計				133.21	126.18	80.91	26.42
単純事業費計				154.68		80.91	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(引当後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道19号 瑞浪恵那道路(恵那工区)(事業全体・残事業)

年度 (基準年)	R1	総走行台キロの年次引伸び率 (東海7中分)			割引率 (A)	GDP テラレタ	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				現在価値 (①)×(A)		現在価値 (②)×(A)		交通事致減少便益(億円)		合計 (億円)
		乗用車	小型貨物	普通貨物			全車	乗用車	小型貨物	普通貨物	計	乗用車	小型貨物	普通貨物	計	乗用車	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (③)×(A)	
供用開始年次	R 9	0.99967	0.98840	1.00813	0.99910	0.7307	103.0	11.89	5.29	4.13	21.31	15.57	1.04	0.39	0.07	1.50	1.10	0.17	0.13	22.99	16.80
1年目	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7026	103.0	11.89	5.21	4.16	21.27	14.94	1.04	0.38	0.07	1.50	1.05	0.17	0.12	22.94	16.12
2年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.6756	103.0	11.89	5.14	4.20	21.22	14.33	1.04	0.38	0.08	1.49	1.01	0.17	0.12	22.89	15.46
3年目	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6496	103.0	11.88	5.06	4.23	21.17	13.75	1.04	0.37	0.08	1.48	0.97	0.17	0.11	22.83	14.83
4年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6246	103.0	11.80	5.01	4.22	21.03	13.13	1.03	0.37	0.08	1.48	0.92	0.17	0.11	22.68	14.16
5年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6006	103.0	11.71	4.96	4.22	20.89	12.54	1.03	0.36	0.08	1.47	0.88	0.17	0.10	22.52	13.53
6年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.5775	103.0	11.62	4.91	4.21	20.74	11.98	1.02	0.36	0.08	1.45	0.84	0.17	0.10	22.37	12.92
7年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5533	103.0	11.53	4.86	4.20	20.60	11.44	1.01	0.36	0.08	1.44	0.80	0.17	0.09	22.21	12.33
8年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5339	103.0	11.45	4.81	4.20	20.46	10.92	1.00	0.35	0.08	1.43	0.76	0.17	0.09	22.06	11.78
9年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5134	103.0	11.36	4.77	4.19	20.31	10.43	0.99	0.35	0.08	1.42	0.73	0.17	0.09	21.90	11.24
10年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.4936	103.0	11.27	4.72	4.18	20.17	9.96	0.99	0.35	0.07	1.41	0.70	0.17	0.08	21.75	10.73
11年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4746	103.0	11.18	4.67	4.18	20.03	9.51	0.98	0.34	0.07	1.40	0.66	0.16	0.08	21.59	10.25
12年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4564	103.0	11.10	4.62	4.17	19.89	9.08	0.97	0.34	0.07	1.39	0.63	0.16	0.07	21.43	9.78
13年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4388	103.0	11.01	4.57	4.16	19.74	8.66	0.96	0.34	0.07	1.37	0.60	0.16	0.07	21.28	9.34
14年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4220	103.0	10.92	4.52	4.16	19.60	8.27	0.96	0.33	0.07	1.36	0.58	0.16	0.07	21.12	8.91
15年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4057	103.0	10.83	4.47	4.15	19.46	7.89	0.95	0.33	0.07	1.35	0.55	0.16	0.06	20.97	8.51
16年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.3901	103.0	10.75	4.42	4.14	19.31	7.53	0.94	0.33	0.07	1.34	0.52	0.16	0.06	20.81	8.12
17年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3751	103.0	10.66	4.38	4.14	19.17	7.19	0.93	0.32	0.07	1.33	0.50	0.16	0.06	20.66	7.75
18年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3607	103.0	10.57	4.33	4.13	19.03	6.86	0.93	0.32	0.07	1.32	0.48	0.16	0.06	20.50	7.39
19年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3468	103.0	10.48	4.28	4.12	18.89	6.55	0.92	0.31	0.07	1.31	0.45	0.15	0.05	20.35	7.06
20年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3335	103.0	10.40	4.23	4.12	18.74	6.25	0.91	0.31	0.07	1.29	0.43	0.15	0.05	20.19	6.73
21年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3207	103.0	10.31	4.18	4.11	18.60	5.96	0.90	0.31	0.07	1.28	0.41	0.15	0.05	20.04	6.42
22年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3083	103.0	10.22	4.13	4.10	18.46	5.69	0.89	0.30	0.07	1.27	0.39	0.15	0.05	19.88	6.13
23年目	R 32	0.99138	0.98806	0.99838	0.99226	0.2965	103.0	10.13	4.08	4.10	18.31	5.43	0.89	0.30	0.07	1.26	0.37	0.15	0.04	19.73	5.85
24年目	R 33	0.99131	0.98794	0.99838	0.99220	0.2851	103.0	10.05	4.03	4.09	18.17	5.18	0.88	0.30	0.07	1.25	0.36	0.15	0.04	19.57	5.58
25年目	R 34	0.99124	0.98781	0.99838	0.99215	0.2741	103.0	9.96	3.99	4.08	18.03	4.94	0.87	0.29	0.07	1.24	0.34	0.15	0.04	19.41	5.32
26年目	R 35	0.99117	0.98768	0.99837	0.99209	0.2636	103.0	9.87	3.94	4.07	17.89	4.71	0.86	0.29	0.07	1.23	0.32	0.15	0.04	19.26	5.08
27年目	R 36	0.99111	0.98756	0.99837	0.99204	0.2534	103.0	9.78	3.89	4.07	17.74	4.50	0.86	0.29	0.07	1.22	0.31	0.15	0.04	19.11	4.84
28年目	R 37	0.99104	0.98743	0.99837	0.99198	0.2437	103.0	9.70	3.84	4.06	17.60	4.29	0.85	0.28	0.07	1.20	0.29	0.14	0.04	18.95	4.62
29年目	R 38	0.99097	0.98731	0.99837	0.99193	0.2343	103.0	9.61	3.79	4.05	17.46	4.09	0.84	0.28	0.07	1.19	0.28	0.14	0.04	18.80	4.40
30年目	R 39	0.99090	0.98718	0.99836	0.99187	0.2253	103.0	9.52	3.74	4.05	17.32	3.90	0.83	0.28	0.07	1.18	0.27	0.14	0.03	18.64	4.20
31年目	R 40	0.99083	0.98705	0.99836	0.99182	0.2166	103.0	9.44	3.70	4.04	17.18	3.72	0.83	0.27	0.07	1.17	0.25	0.14	0.03	18.49	4.01
32年目	R 41	0.99077	0.98693	0.99836	0.99176	0.2083	103.0	9.35	3.65	4.04	17.04	3.55	0.82	0.27	0.07	1.16	0.24	0.14	0.03	18.34	3.82
33年目	R 42	0.99070	0.98680	0.99836	0.99171	0.2003	103.0	9.26	3.60	4.03	16.90	3.38	0.81	0.26	0.07	1.15	0.23	0.14	0.03	18.18	3.64
34年目	R 43	0.99063	0.98668	0.99835	0.99165	0.1926	103.0	9.18	3.55	4.02	16.76	3.23	0.80	0.26	0.07	1.14	0.22	0.14	0.03	18.03	3.47
35年目	R 44	0.99056	0.98655	0.99835	0.99160	0.1852	103.0	9.09	3.50	4.02	16.62	3.08	0.80	0.26	0.07	1.13	0.21	0.14	0.03	17.88	3.31
36年目	R 45	0.99050	0.98642	0.99835	0.99154	0.1780	103.0	9.01	3.46	4.01	16.48	2.93	0.79	0.25	0.07	1.11	0.20	0.14	0.02	17.73	3.16
37年目	R 46	0.99043	0.98630	0.99835	0.99148	0.1712	103.0	8.92	3.41	4.01	16.34	2.80	0.78	0.25	0.07	1.10	0.19	0.13	0.02	17.57	3.01
38年目	R 47	0.99036	0.98617	0.99834	0.99143	0.1646	103.0	8.84	3.36	4.00	16.20	2.67	0.77	0.25	0.07	1.09	0.18	0.13	0.02	17.42	2.87
39年目	R 48	0.99029	0.98605	0.99834	0.99137	0.1583	103.0	8.75	3.32	3.99	16.06	2.54	0.77	0.24	0.07	1.08	0.17	0.13	0.02	17.27	2.73
40年目	R 49	0.99022	0.98592	0.99834	0.99132	0.1522	103.0	8.67	3.27	3.99	15.92	2.42	0.76	0.24	0.07	1.07	0.16	0.13	0.02	17.12	2.61
41年目	R 50	0.99016	0.98579	0.99834	0.99126	0.1463	103.0	8.58	3.23	3.98	15.78	2.31	0.75	0.24	0.07	1.06	0.16	0.13	0.02	16.97	2.48
42年目	R 51	0.99009	0.98567	0.99833	0.99121	0.1407	103.0	8.50	3.18	3.97	15.65	2.20	0.74	0.23	0.07	1.05	0.15	0.13	0.02	16.82	2.37
43年目	R 52	0.99002	0.98554	0.99833	0.99115	0.1353	103.0	8.41	3.13	3.97	15.51	2.10	0.74	0.23	0.07	1.04	0.14	0.13	0.02	16.68	2.26
44年目	R 53	0.98995	0.98541	0.99833	0.99110	0.1301	103.0	8.33	3.09	3.96	15.38	2.00	0.73	0.23	0.07	1.03	0.13	0.13	0.02	16.53	2.15
45年目	R 54	0.98988	0.98529	0.99832	0.99104	0.1251	103.0	8.24	3.04	3.95	15.24	1.91	0.72	0.22	0.07	1.02	0.13	0.12	0.02	16.38	2.05
46年目	R 55	0.98982	0.98516	0.99832	0.99099	0.1203	103.0	8.16	3.00	3.95	15.11	1.82	0.71	0.22	0.07	1.01	0.12	0.12	0.01	16.23	1.95
47年目	R 56	0.98975	0.98504	0.99832	0.99093	0.1157	103.0	8.08	2.95	3.94	14.97	1.73	0.70	0.22	0.07	1.00	0.12	0.12	0.01	16.09	1.86
48年目	R 57	0.98968	0.98491	0.99832	0.99088	0.1112	103.0	8.00	2.91	3.93	14.84	1.65	0.70	0.21	0.07	0.99	0.11	0.12	0.01	15.94	1.77
49年目	R 58	0.98961	0.98478	0.99831	0.99082	0.1069	103.0	7.91	2.87	3.93	14.70	1.57	0.69	0.21	0.07	0.97	0.10	0.12	0.01	15.80	1.69
合計							500.06	201.06	204.15	204.15	905.27	313.11	43.78	14.78	3.66	62.22	21.71	7.42	2.57	974.91	337.39

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道19号	瑞浪恵那道路(恵那工区)	4	4.3km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				10,625	
	改良費				6,620	
		土工	m ³	754,074	2,819	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	82,796	280	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	489	重力式擁壁、補強土壁
		管渠工	m			
		函渠工	m	144	313	
		排水工	m	9,283	258	
		中央分離帯工	m	4,531	364	
		雑工	式	1	2,098	
	橋梁費				2,093	
		100m以上	m			
		100m未満	m	146	2,093	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,671	
		車道舗装	m ²	69,297	1,612	
		その他舗装	m ²	5,574	58	
	付帯施設費				242	
		交通管理施設工	式	1	181	
		遮音壁	m	480	62	
②	用地及補償費				3,952	
	用地費		m ²	177,837	2,147	
		宅地	m ²	11,958	424	
		田畑	m ²	92,705	146	
		山林・原野	m ²	73,174	1,576	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	1,805	
③	間接経費		式	1	2,423	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				17,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道19号	瑞浪恵那道路(恵那工区)	4	4.3km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	4.3	1,000	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	7,900	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			8,900	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道19号	瑞浪恵那道路(恵那工区)	4	4.3km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				10,625	
	改良費				6,620	
		土工	m3	754,074	2,819	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m ²	82,796	280	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	489	重力式擁壁、補強土壁
		管渠工	m			
		函渠工	m	144	313	
		排水工	m	9,283	258	
		中央分離帯工	m	4,531	364	
		雑工	式	1	2,098	
	橋梁費				2,093	
		100m以上	m			
		100m未満	m	146	2,093	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,671	
		車道舗装	m ²	69,297	1,612	
		その他舗装	m ²	5,574	58	
	付帯施設費				242	
		交通管理施設工	式	1	181	
		遮音壁	m	480	62	
②	用地及補償費				3,952	
	用地費		m ²	177,837	2,147	
		宅地	m ²	11,958	424	
		田畑	m ²	92,705	146	
		山林・原野	m ²	73,174	1,576	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	1,805	
③	間接経費		式	1	2,223	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				16,800	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道19号	瑞浪恵那道路(恵那工区)	4	4.3km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	4.3	1,000	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	7,900	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			8,900	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上